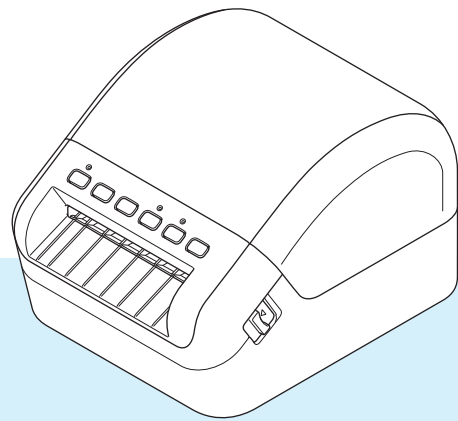


ユーザーズガイド

Label Printer
QL-1115NWB



最初に「安全にお使いいただくために」をよく読んでから、正しい設置手順について「かんたん設置ガイド」を読んでください。なお、本書はお読みになった後もいつでも見るできるよう大切に保管してください。

はじめに

重要なお知らせ

- 本書の内容および本機の仕様は予告なく変更されることがあります。
- ブラザー工業株式会社は、本書に記載されている仕様および内容を予告なく変更する権利を保有し、出版物の誤植等の誤りを含む（ただし必ずしもこれに限定されない）記載内容によって生じた、いかなる損害（間接損害を含む）についても責任を負いません。
- 本書に掲載されている画面イメージは、お使いのパソコンのオペレーティングシステム、製品モデルおよびソフトウェアのバージョンによって異なる場合があります。
- 安全に正しくお使いいただけるよう、ご使用になる前に必ず本機に付属されているすべての文書をお読みください。
- 本書に掲載されているラベルプリンターのイラストは、お使いのラベルプリンターのものとは異なる場合があります。
- ご利用できる付属品は国によって異なる場合があります。

取扱説明書の種類について

本機をご利用するための取扱説明書、および本書の最新版は、弊社サポートサイト：
<http://www.brother.co.jp/support/> からダウンロードすることができます。

安全にお使いいただくために ¹	安全情報が記載されています。本機をご使用になる前にお読みください。
かんたん設置ガイド ¹	本機の使用についての基本的な情報と、困ったときの対処方法が記載されています。
ユーザーズガイド（本書） ²	ユーザーズガイドには本機の設定や操作、ネットワークの接続と設定、困ったときの対処方法、お手入れの手順などが記載されています。

¹ 同梱されている紙面のマニュアル

² 弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）で、PDF 形式でマニュアルを公開しています。

本書で使用されている記号

本書では、以下の記号が使われています。

 警告	警告や指示を無視して製品を取り扱うと、死亡または重傷につながる危険の可能性を示します。
 注意	回避しないと、軽度または中程度の負傷につながる危険の可能性を示します。
重要	従うべき情報または指示を示します。これを無視した場合、損傷したりまたは正常な動作が妨げられたりするおそれがあります。
 メモ	本機をよりよく知っていただくための情報や手順、または機能的に使用していただくための情報や手順を表しています。

その他のご注意

DT ロールおよび DK ロール

- ブラザー純正品をご使用ください（**DT**、**DK**、**DK** マークが付いています）。指定品以外の付属品や消耗品を使用しないでください。
- ラベルを貼る場所の表面が濡れていたり、汚れていたり、油がついていたりすると、ラベルがはがれやすくなります。表面を拭いてから貼ってください。
- DT ロールおよび DK ロールは感熱紙 / フィルムを使用しております。紫外線・風・雨などにさらすと色があせたり、はがれたりする可能性があります。
- 直射日光・高温・湿気・ほこりを避けてください。冷暗所で保管してください。開封後はできるだけはやくご使用ください。
- 印字面を爪や金属で傷つけたり、水・汗・ハンドクリームなどが付着した手で触れたりしないでください。変色や色あせの原因となります。
- 人・動物・植物にラベルを貼らないでください。また、許可なく公共または私有のものにラベルを貼らないでください。
- DT ロールおよび DK ロールの最後の部分は設計上ラベルスプールに貼り付いていないため、最後のラベルを正しくカットできない場合があります。この場合、残ったラベルを取り除き、新しい DT ロールおよび DK ロールを入れてから最後のラベルをやり直してください。
メモ：そのためパッケージに記載されているラベル枚数よりも多く含まれています。
- ラベルをはがす際に、ラベルの一部が表面に残る場合があります。
- CD/DVD ラベルを使用する前に、ラベルの貼付けに関する CD/DVD プレーヤーの取扱説明書の指示に必ず従ってください。
- スロットローディング式の CD/DVD プレーヤーにはラベルを使用しないでください。
- CD/DVD に貼りつけた後は、ラベルをはがさないでください。薄い表面層がはがれてディスクが破損する可能性があります。
- インクジェットプリンター用に設計された CD/DVD に CD/DVD ラベルを貼り付けしないでください。ラベルがディスクから簡単にはがれ、そのディスクを使用するとデータが失われたり破損したりする可能性があります。
- CD/DVD ラベルを貼るときは、CD/DVD ラベルロールに付属のアプリケーターをお使いください。そうしないと、CD/DVD プレーヤーが損傷する可能性があります。
- ユーザーは CD/DVD ラベルの貼付に責任を負うものとします。ブラザー工業株式会社は、CD/DVD ラベルの不適切な使用に起因するデータの紛失または損傷について一切責任を負いません。
- DT ロールおよび DK ロールを落下させないように注意してください。
- DT ロールおよび DK ロールは感熱紙 / フィルムを使用しています。ラベルおよび印字の両方が日光と熱で退色します。
耐久性が必要となる屋外での使用には、DT ロールおよび DK ロールを使用しないでください。
- 場所、材質、環境により、ラベルがはがれにくくなったり、変色や、他の物に色移りすることがあります。ラベルを貼る前に周囲の条件や材質を確かめてください。ラベルを貼り付ける前に、貼り付けたい面の目立たない部分にラベルの小片を貼り付けてテストしてください。
- 印刷結果が期待通りにならない場合は、プリンタードライバーまたはプリンター設定ツールの調整オプションを使用してください。

目次

第 I 編 基本操作

1	本機を設定する	2
	各部の名称.....	2
	前面.....	2
	背面.....	3
	電源コードを接続する.....	3
	DT ロールをセットする.....	4
	DK ロールの使い方.....	7
	電源を入れる / 切る.....	9
2	パソコンから印刷する (P-touch Editor)	10
	ソフトウェアとプリンタードライバをパソコンにインストールする.....	10
	本機とパソコンを接続する.....	11
	USB で接続する.....	11
	Wi-Fi で接続する.....	11
	有線 LAN で接続する.....	15
	Bluetooth で接続する.....	16
	Bluetooth を使用して本機をバーコードリーダーに接続する.....	17
	パソコンから印刷する.....	18
	使用できるアプリケーション.....	18
	パソコンからラベルを作成する.....	19
	ラベルを貼る.....	20
3	本体設定を変更する	21
	プリンター設定ツール.....	21
	プリンター設定ツールをご使用になる前に.....	21
	プリンター設定ツールを使用する.....	22
	通信設定.....	24
	設定ダイアログボックス.....	24
	メニューバー.....	26
	全般タブ.....	28
	有線 LAN/ 無線 LAN タブ.....	29
	Wireless Direct タブ.....	31
	Bluetooth タブ.....	32
	複数のプリンターに設定の変更を適用する.....	33
	本体設定.....	34
	設定ダイアログボックス.....	34
	メニューバー.....	36
	基本設定タブ.....	37
	拡張設定タブ.....	38
	管理設定タブ.....	39
	複数のラベルプリンターに設定の変更を適用する.....	40
	P-touch Template 設定.....	41
	P-touch Template 設定ダイアログボックス.....	42

4 P-touch Template を使用してラベルを印刷する 44

P-touch Template 機能	44
事前準備	45
P-touch Template 設定ツールの設定	45
バーコードリーダーの接続	47
定型テンプレート印刷機能	48
バーコード作成（コピー）印刷機能	50
データベース置換印刷機能	53
ナンバリング（連番）印刷機能	56
テキストナンバリング（連番）	56
バーコードナンバリング（連番）	57
高度な操作でナンバリング（連番）印刷をする	58

5 その他の機能 59

本体設定を確認する	59
クロップ印刷（バーコードラベルを印刷する）	60
クロップ印刷機能で認識できるバーコード	60
クロップ印刷に使用するバーコード原稿を作成する	61
クロップ印刷機能を利用してバーコードラベルを印刷する	64
マストレージモード	66
内容	66
マストレージモードを使う	67
JPEG 印刷	68
分散印刷	69

第 II 編 アプリケーション

6 ラベル作成ソフトウェア「P-touch Editor」の使用方法 74

P-touch Editor を起動する	74
P-touch Editor を使用して印刷する	76
本機にデータを転送する	77

7 ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法 78

P-touch Transfer Manager	78
P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する	78
テンプレートやその他のデータをパソコンからラベルプリンターに転送する	81
ラベルプリンターに保存されたテンプレートやその他データのバックアップ	86
ラベルプリンターデータを削除する	87
転送ファイルの作成とパッケージファイルの転送	88
P-touch Library	89
P-touch Library を起動する	89
テンプレートを開いて編集する	91
テンプレートを印刷する	92
テンプレートを検索する	93

8	ファイル簡易転送ソフトウェア「P-touch Transfer Express」でテンプレートデータを転送する	95
	P-touch Transfer Express の準備	95
	P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する	96
	テンプレートを Transfer Package ファイル (.pdz) として保存する	97
	Transfer Package ファイル (.pdz) と P-touch Transfer Express をユーザーに配布する	99
	Transfer Package ファイル (.pdz) をラベルプリンターに転送する	100
9	P-touch ソフトウェアの更新方法	103
	P-touch Editor を更新する	103
	P-touch Editor とファームウェアの更新	105

第 III 編 ネットワーク

10	はじめに	109
	ネットワーク機能	109
11	ラベルプリンターのネットワーク設定を変更する	110
	ラベルプリンターのネットワーク設定 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ) を変更する	110
	BRAdmin Light ユーティリティを使用する	110
	その他の管理ユーティリティ	112
	Web Based Management (ウェブブラウザ) を使用する	112
	BRAdmin Professional ユーティリティを使用する	112
12	Web Based Management (ウェブブラウザ)	113
	概要	113
	Web Based Management (ウェブブラウザ) を使用してラベルプリンター設定を構成する	114

第 IV 編 付録

13	本機をリセットする	116
	本機のボタンを使用してすべての設定を工場出荷時の設定にリセットする	116
	プリンター設定ツールでデータをリセットする	117
14	お手入れ	118
	本機外観のお手入れ	118
	ラベル出カスロットのお手入れ	118
	ローラーのお手入れ	119
	印字ヘッドのお手入れ	119

15	困ったときは	120
	概要	120
	表示ランプについて	121
	印刷の問題.....	123
	ネットワーク設定の問題	128
	本機がネットワーク経由で印刷できない	
	正常にインストールした後でもネットワーク上に本機が見つからない	130
	セキュリティソフトウェアの問題.....	130
	ネットワーク機器の動作確認.....	131
	バージョン情報	131
16	製品仕様	132
	本機の仕様.....	132
17	弊社ウェブサイトのご案内	134
18	P-touch Transfer Manager 使用時の注意事項	135
	テンプレートデータ作成時の注意事項.....	135
	テンプレートデータ転送時の注意事項.....	135
	テンプレートデータ以外のデータを転送する際の注意事項	136
19	ネットワーク関連の用語と説明	137
	サポートされるプロトコルとセキュリティ機能	137
	ネットワーク接続およびプロトコルの種類	138
	ネットワーク接続方法について	138
	ネットワークの設定について	140
	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイについて	140
	無線ネットワークの用語と概念	142
	セキュリティ用語	142
20	P-touch Template 機能設定用バーコード一覧	146
	P-touch Template 機能の基本的な手順	146
	設定用バーコード一覧.....	147
21	専用のバーコードリーダー（別売品：PA-BR-001）を使用する	150



基本操作

本機を設定する	2
パソコンから印刷する（P-touch Editor）	10
本体設定を変更する	21
P-touch Template を使用してラベルを印刷する	44
その他の機能	59

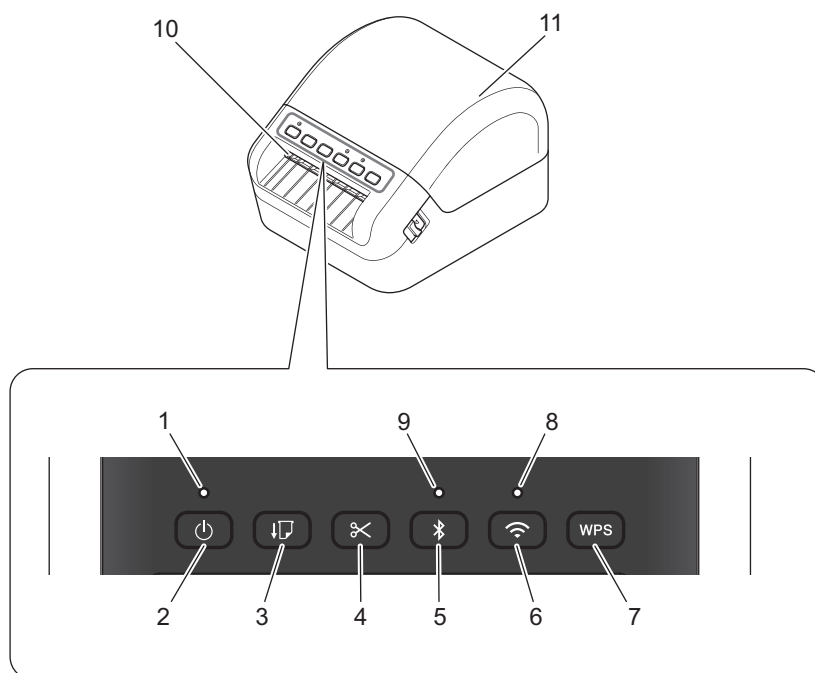
1

本機を設定する

1

各部の名称

前面



1 ステータス表示ランプ

2 電源ボタン

3 FEED ボタン

4 カットボタン

5 Bluetooth ボタン

6 Wi-Fi ボタン

7 WPS ボタン

8 Wi-Fi 表示ランプ

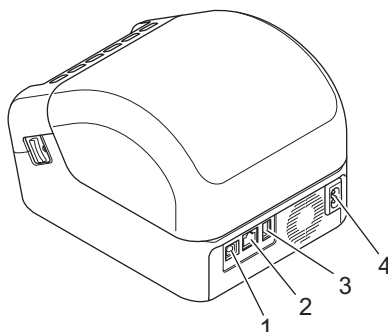
9 Bluetooth 表示ランプ

10 ラベル出カスロット

11 ロールカバー

背面

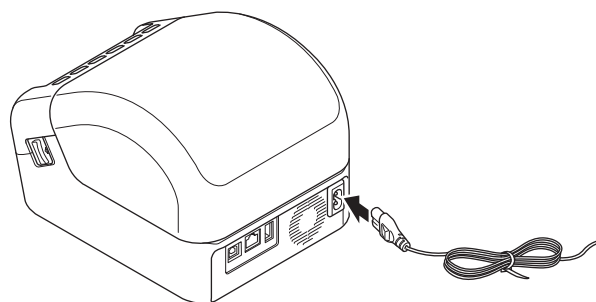
1



- 1 USB ポート
- 2 LAN ポート
- 3 USB ホスト
- 4 AC 電源ポート

電源コードを接続する

電源コードを本機に接続します。家庭用コンセントに電源プラグを差し込みます。

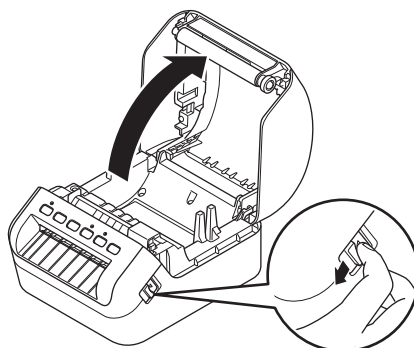


重要

電圧が異なる地域でのご使用は避けてください。対応電圧については、132 ページの「製品仕様」を参照してください。

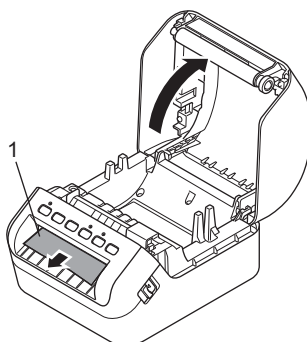
DT ロールをセットする

- 1 必ず本機の電源が入っていないことを確認します。(ステータス表示ランプ確認)
本機の両側面にあるレバーを押し下げ、ロールカバーを開きます。
本機の前面を押さえ、ロールカバーをしっかりと持って開きます。

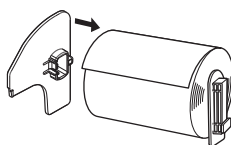


重要

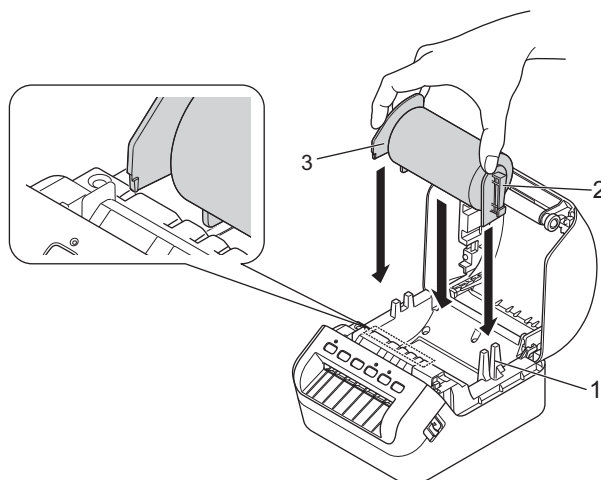
本機をご使用になる前にプラテン保護シートをラベル出力スロット (1) から外します。



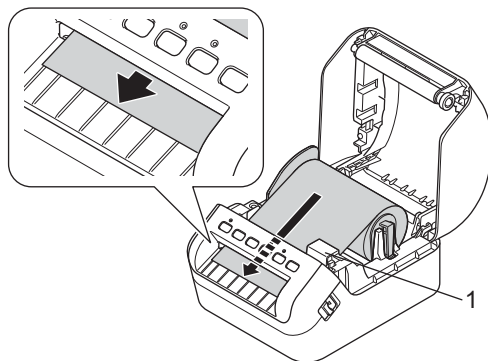
- 2 ロールをロールシャフトに通し、ロールシャフトガイドをカチッと音がするまで奥に差し込んでください。



- ③ 本機のスプールガイドに沿って、ロールを装着します。
- ・ スプールアーム (2) がスプールガイド (1) にしっかりと挿入されていることを確認してください。
 - ・ ロールシャフトガイド (3) が、前方のスプールガイドに挿入されていることを確認してください。

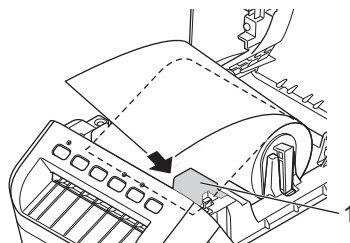


- 4 ロールの先端を、センサー（1）の下に通しラベル出カスロットに通します。
- ・ラベルが歪まないように、ロールの先端がまっすぐ通っているか確認してください。
 - ・右図のようにロールの先端がラベル出カスロットから出るようにしてください。

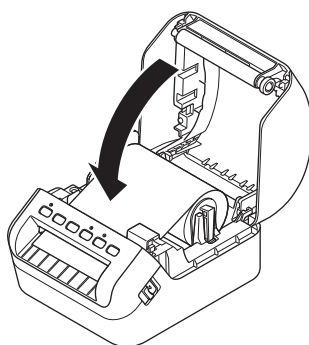


メモ

ロールの先端を挿入するのが困難な場合は、横からセンサー（1）の下に挿入するようにすると簡単に挿入できます。



- 5 ロールカバーを閉めます。左右がカチッとなるまで、強めにロールカバーを押してください。



重要

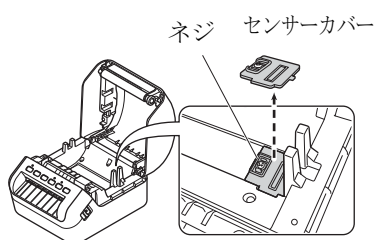
- ・本機に印字したラベルを残さないでください。紙詰まりを引き起こす原因となります。
- ・本機を使用しないときは、ロールカバーを閉じてほこりやごみがたまらないようにしてください。

DK ロールの使い方

本機は、DT ロールだけではなく、他の QL シリーズで使用可能な DK ロールもご使用いただけます。

DK ロールをご使用になる場合

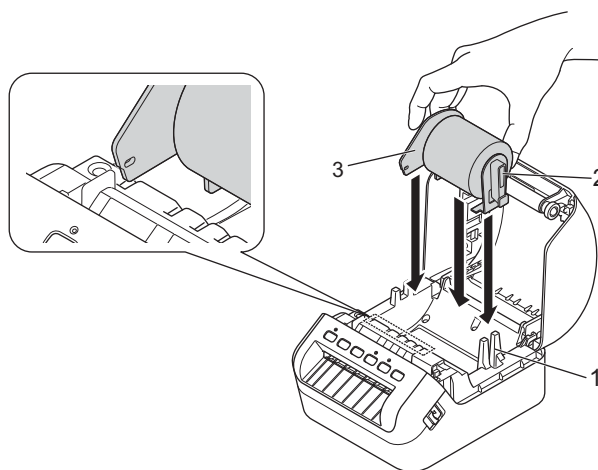
- 1 図の部分のネジをはずし、センサーカバーを取り外してください。



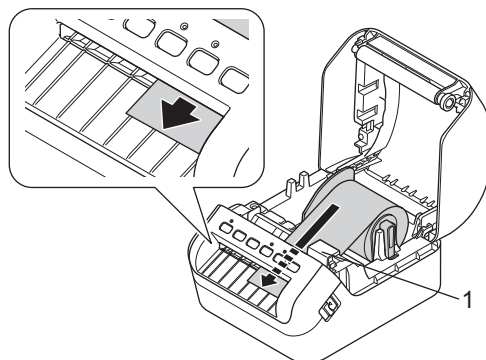
重要

DT ロールをご利用になる時は、このセンサーカバーを取り付ける必要があります。センサーカバーとネジは無くさないように保管ください。

- 2 センサーカバーを取り外した状態で、スプールガイドに沿って、DK ロールを装着します。
 - ・ スプールアーム (2) がスプールガイド (1) にしっかりと挿入されていることを確認してください。
 - ・ ロールシャフトガイド (3) が、前方のスプールガイドに挿入されていることを確認してください。

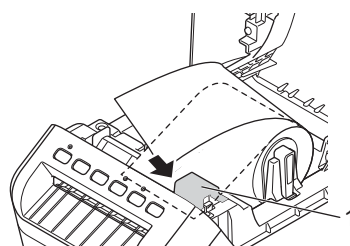


- ③ セットしたロールの先端を、センサー（１）の下に通しラベル出カスロットに通します。

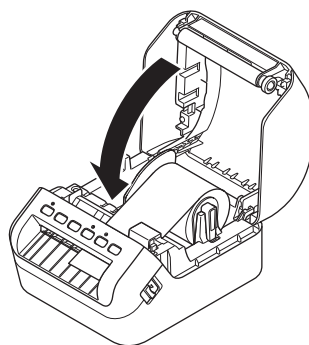


メモ

ロールの先端を挿入するのが困難な場合は、横からセンサー（１）の下に挿入するようにすると簡単に挿入できます。



- ④ ロールカバーを閉めます。左右がカチッとなるまで、強めにロールカバーを押してください。



重要

- ・ 本機に印字したラベルを残さないでください。紙詰まりを引き起こす原因となります。
- ・ 本機を使用しないときは、ロールカバーを閉じてほこりやごみがたまらないようにしてください。

電源を入れる / 切る

オン : (⏻) 電源ボタンを押して、電源を入れます。ステータス表示ランプが緑色に点灯します。

重要

- ・ 長尺紙テープの場合
用紙の先端合わせのため、(✂) カットボタンを押し、用紙をカットします。
 - ・ プレカットラベルの場合
用紙の先端は自動で調整されるので、そのまま印刷してください。
-

オフ : (⏻) 電源ボタンを長押しして、電源を切ります。

重要

本機の電源を切る場合は、オレンジ色のステータス表示ランプが消えるまで電源コードを取り外さないでください。

ソフトウェアとプリンタードライバーをパソコンにインストールする

プリンタードライバー、P-touch Editor、P-touch Update Software、プリンター設定ツール、BRAdmin Light、BRAdmin Professional

- 1 弊社のウェブサイト (<http://install.brother/>) にアクセスし、最新のソフトウェアのインストーラーと製品マニュアルをダウンロードします。
- 2 ダウンロードした EXE ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールを続行します。



メモ

本機とパソコンを無線接続で使用する場合は以下のようにしてください。

- ・ 本機はご購入後初めて電源をオンにする時や本体リセット後初めて電源をオンにする時は、無線設定が容易にできるモードになっています。本機の電源をオンにしてからインストールを始めてください。
- ・ 無線接続設定を行う前に無線ネットワークの SSID（ネットワーク名）とパスワード（ネットワークキー）を確認しておいてください。もし確認できない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

- 3 インストールが完了したらウィンドウを閉じます。



メモ

インストール時に選択した接続方法と異なる接続方法で本機を使用する場合には、再度インストーラーを使って、新しい接続方法を選択してインストールしなおしてください。

本機とパソコンを接続する

本機を接続するには、次のような方法があります：

- USB ケーブル接続

11 ページの「USB で接続する」を参照してください。

- 無線 LAN 接続

11 ページの「Wi-Fi で接続する」を参照してください。

- 有線 LAN 接続

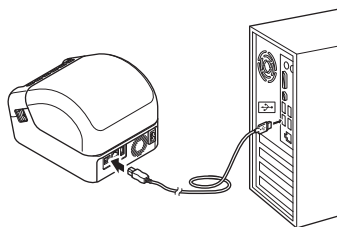
15 ページの「有線 LAN で接続する」を参照してください。

- Bluetooth 接続

16 ページの「Bluetooth で接続する」を参照してください。

USB で接続する

- 1 インストール中に画面で指示があったら、USB ケーブルを接続する前に、必ず本機の電源が入っていないことを確認します。
- 2 USB ケーブルを本機背面の USB ポートに接続して、さらにパソコンの USB ポートに接続します。



- 3 本機の電源を入れます。

Wi-Fi で接続する

Wi-Fi で接続するには次の方法があります：

- インフラストラクチャモード
- Wireless Direct
- WPS (Wi-Fi Protected Setup™)

インフラストラクチャモード

インフラストラクチャモードでは、無線 LAN アクセスポイント / ルーター経由で本機をパソコンに接続できます。

■ 開始する前に

まず、無線 LAN アクセスポイント / ルーターと通信できるように本機の Wi-Fi 設定を変更する必要があります。設定が完了すると、ネットワーク上のパソコンから本機にアクセスできます。

重要

- ・ 本機をネットワークに接続する場合は、インストール前にシステム管理者に問い合わせることをお勧めします。インストールを続行する前に、Wi-Fi 設定を確認する必要があります。
- ・ Wi-Fi 設定を再設定する場合や、本機の Wi-Fi 接続の状態が不明な場合は、本機の Wi-Fi 設定をリセットします。詳細については 116 ページの「本機をリセットする」を参照してください。
- ・ 本機はご購入後初めて電源をオンした時や本体リセット後初めて電源をオンした時は、無線設定が容易にできるモードになっています。本機の電源をオンしてからインストールを始めてください。



メモ

- ・ 無線接続設定を行う前に無線ネットワークの SSID（ネットワーク名）とパスワード（ネットワークキー）を確認しておいてください。
- ・ 通常の印刷で最良の結果を得るには、本機をできるだけ無線 LAN アクセスポイント / ルーター近くに置いてください。2 台の機器の間に大きな障害物や壁、他の電子機器からの干渉がある場合、通信や印刷のデータ転送速度に影響する可能性があります。

■ 本機を無線 LAN アクセスポイント / ルーターに接続する

- ① まず、無線 LAN アクセスポイント / ルーター SSID（ネットワーク名）とパスワード（ネットワークキー）を書き留めます。
- ② 本機の電源を入れます。
- ③ インストールを開始し、画面の指示に従って進めます。



メモ

ネットワークを選択する画面が表示された場合は、書きとめた SSID を選択してください。

- ④ 本機とお使いの無線 LAN アクセスポイント / ルーターの接続が確立されると、同じネットワーク上にあるパソコンから本機にアクセスできるようになります。

Wireless Direct

Wireless Direct を使用すると、無線 LAN アクセスポイント / ルーターなしで本機をパソコンに直接接続できます。プリンターは無線 LAN アクセスポイントとして機能します。

- ① インストール画面に従って、USB 接続を選択してインストールを進めてください。
- ② 本機を Wireless Direct モードに設定します。
 - 1 お使いのパソコンでプリンター設定ツールを起動します。
 - 2 [通信設定] をクリックします。
 - 3 [全般] タブの [通信設定] をクリックします。
 - 4 [インターフェイスの選択] で [インフラストラクチャと Wireless Direct] または [Wireless Direct] を選択し、[Wireless Direct] タブを確認します。
 - 5 Apply ボタンをクリックすると、本機が Wireless Direct モードに設定されます。
 - 6 本機の (📶) Wi-Fi ボタンを 1 秒間長押しして Wi-Fi 機能をオンにします。Wi-Fi 表示ランプが 3 秒ごとに緑色に点滅します。
- ③ パソコンを使用して、本機の SSID を選択します (「DIRECT-*****_QL-1115NWB」、***** は製品シリアル番号の下 5 桁です)。必要に応じて、パスワードを入力します (111***** の ***** は製品シリアル番号の下 5 桁です)。
- ④ PC へのプリンターの追加が必要です。インストール画面の指示に従って説明画面を表示させ、プリンターの追加をしてください。



メモ

- ・ プリンター設定ツールでは、ネットワーク設定の変更を複数のラベルプリンターに適用することもできます。詳細については、33 ページの「複数のプリンターに設定の変更を適用する」を参照してください。
- ・ シリアル番号ラベルは、本機の裏面にあります。
- ・ Wireless Direct を使用している間は、Wi-Fi 経由でパソコンからインターネットに接続することはできません。

WPS (Wi-Fi Protected Setup™)

無線 LAN アクセスポイント / ルーターが WPS に対応している場合は、設定と接続を簡単に行うことができます。

- 1 まず、無線 LAN アクセスポイント / ルーターに WPS の表示があることを確認します。



- 2 無線 LAN アクセスポイント / ルーターと接続できる場所に本機を置きます。接続範囲は、お使いの環境によって異なる場合があります。お使いの無線 LAN アクセスポイント / ルーターの取扱説明書をお読みください。
- 3 本機の WPS ボタンを押します。
接続が確立すると Wi-Fi 表示ランプが緑色に点灯します。



メモ

- ・ 同じネットワーク上にあるパソコンから本機 にアクセスできるようになります。
- ・ 本機は WPS を使用して 2 分間接続を試みます。その間に WPS ボタンを押すと、接続を更に 2 分間試みます。

有線 LAN で接続する



メモ

本機を特定の固定 IP アドレスを使って有線 LAN で通信する場合には、まず USB 接続方式でプリンタードライバーとプリンター設定ツールをインストールして、有線接続設定を行う必要があります。詳細については、10 ページの「ソフトウェアとプリンタードライバーをパソコンにインストールする」を参照してください。

- 1 インストール中に画面で指示があったら、LAN ケーブルを接続する前に、必ず本機の電源が入っていないことを確認します。
- 2 LAN ケーブルを本機背面の LAN ポートに接続します。
- 3 本機の電源を入れます。

ネットワークケーブル

10BASE-T または 100BASE-TX 高速イーサネットネットワーク対応のカテゴリ 5（またはそれ以上）のストレートケーブルをご使用ください。



メモ

安全の為に、LAN ポートに過電圧が加わる恐れのないネットワークに接続してください。

Bluetooth で接続する

- 1 本機の (✱) Bluetooth ボタンを押します。Bluetooth 表示ランプが青色に点灯します。
- 2 インストール画面の指示に従って、インストールと Bluetooth 接続を行います。
- 3 接続先の検索結果が表示されたら、本機を選択します。Bluetooth 通信が開始されます。

Bluetooth を使用して本機をバーコードリーダーに接続する

Bluetooth を使用して本機をバーコードリーダーに接続することができます。



メモ

- ・バーコードリーダーなどの Bluetooth 搭載デバイスの製造元の推奨事項に従って、必要なハードウェアとソフトウェアをインストールします。
- ・Bluetooth 接続設定は、本機がオフになっても保存されます。

■ Bluetooth を使用して本機をバーコードリーダーに接続する

Bluetooth 接続を使用してバーコードを印刷するには、次の手順を行います。

接続が確立されると、本機の電源がオフになるまで接続されたままになり、別のデバイスに接続できなくなります。

- 1 (✳) Bluetooth ボタンを押します。Bluetooth 表示ランプが青色に点灯します。
- 2 接続先の Bluetooth デバイスからペアリングを実行します。
本機の PIN コードの入力を要求される場合、工場出荷時は、本機のシリアルナンバーの下 4 桁に設定されています。PIN コードは通信設定ツールで変更できます。
- 3 [通信設定] の Bluetooth タブ中の [Bluetooth 設定] で、[ペアリング時に本体キーの操作を要求する] チェックボックスが選択されていない場合は、Bluetooth 接続が確立されます。

[ペアリング時に本体キーの操作を要求する] チェックボックスが選択されている場合は、本機の Bluetooth 表示ランプが青色に点滅している間に、本機の (✳) Bluetooth ボタンを押します。

パソコンから印刷する

使用できるアプリケーション

本機を効果的に使用するために、多くのアプリケーションと機能が利用できます。

これらのアプリケーションを使用するには、プリンタードライバーをインストールする必要があります。
弊社のウェブサイト (<http://install.brother/>) にアクセスし、アプリケーションのインストーラーとプリンタードライバーをダウンロードします。

アプリケーション	Windows	機能
P-touch Editor	✓	描画ツールが付属されており、さまざまな異なるフォントやスタイル、フレーム、インポートされた画像、バーコードなどを含む複雑なレイアウトを印刷します。
P-touch Transfer Manager	✓	テンプレートやその他のデータを本機に転送し、データのバックアップをパソコンに保存することができます。 このアプリケーションは P-touch Editor にインストールされています。
P-touch Library	✓	P-touch Editor テンプレートを管理、印刷します。 P-touch Library を使用してテンプレートを印刷することができます。 このアプリケーションは P-touch Editor にインストールされています。
P-touch Update Software	✓	ソフトウェアを最新のバージョンにアップデートします。
プリンター設定ツール	✓	本機のデバイス設定をパソコンから指定します。
無線 LAN 設定ウィザード		本機を無線ネットワークに設定できます。
BRAdmin Light	✓	ネットワーク上のラベルプリンターを検索し、パソコンから基本設定を行うことができます。
BRAdmin Professional	✓	ネットワーク上のラベルプリンターを検索し、パソコンから拡張設定およびアップデートを行うことができます。

機能	Windows	機能
クロップ印刷	✓	A4 サイズの PDF ファイル上に規則的に配置された 1 個以上のバーコードを、自動で検知して、1 つずつ 1 枚のラベルに印刷することができます。
分散印刷	✓	多数のラベルを印刷する場合、複数のラベルプリンターに印刷を分配することができます。 同時に印刷を行うので、印刷時間を短縮することができます。 詳細については、69 ページの「分散印刷」を参照してください。

パソコンからラベルを作成する

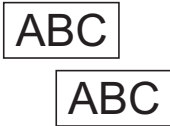
本機にはさまざまな印刷方法があります。
ここでは、P-touch Editor を使用してパソコンから印刷する手順について説明します。

- 1 P-touch Editor を起動し、印刷する文書を開きます。
- 2 ラベルのデザインを作成します。
- 3 カットオプションを確認します。
- 4 [ファイル] を選択し、メニューバーから [印刷] を選択するか、[印刷] アイコンをクリックします。

カットオプション

カットオプションを使用すると、印刷時にアイテムの給紙方法とカット方法を指定できます。プリンタードライバーを使用して、パソコンから印刷するときのカットオプションを選択します。

ラベルカットオプション一覧表

オートカット	カットアットエンド	仕上がりイメージ
×	○	
×	×	
○	○/×	

ラベルを貼る

- 1 ラベルから裏紙をはがします。
- 2 ラベルの位置を決め、指で上から下にしっかりと押さえながらラベルを貼り付けます。



メモ

表面が濡れている、汚れているまたは平らではない場合、ラベルを貼り付けるのが難しい場合があります。そのような場所に貼ると簡単にはがれてしまうことがあります。

プリンター設定ツール

Windows パソコンのプリンター設定ツールを使用して、本機の通信設定、本体設定、および P-touch Template 設定を指定します。



メモ

初期設定のインストーラーを使用してプリンタードライバーをインストールすると、プリンター設定ツールが自動的にインストールされます。詳細については、10 ページの「ソフトウェアとプリンタードライバーをパソコンにインストールする」を参照してください。

重要

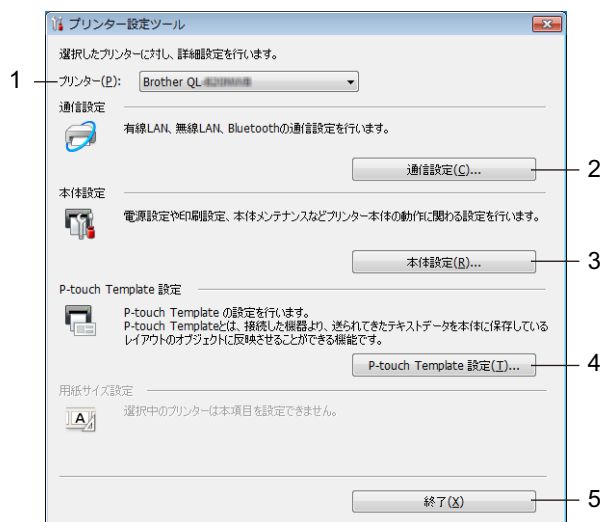
プリンター設定ツールは、対応した弊社のプリンターでのみ使用できます。

プリンター設定ツールをご使用になる前に

- 電源コードが本機と電源コンセントに接続されていることを確認してください。
- プリンタードライバーが正しくインストールされ、印刷できることを確認してください。
- USB ケーブルで本機とパソコンを接続します。

プリンター設定ツールを使用する

- 1 設定するラベルプリンターをパソコンに接続します。
- 2 プリンター設定ツールを起動します。
 - Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：
[スタート] ボタンから [すべてのプログラム] - [Brother] - [Label & Mobile Printer] - [Printer Setting Tool] の順にクリックします。
 - Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：
[アプリ] 画面で、[Printer Setting Tool] をクリックします。
 - Windows 10 / Windows Server 2016 の場合：
[スタート] ボタンから [Brother] - [Printer Setting Tool] の順にクリックします。
メイン画面が表示されます。



- 1 **プリンター**
接続されているラベルプリンターを一覧表示します。
- 2 **通信設定**
有線 LAN、無線 LAN、Bluetooth の通信設定を指定します。
- 3 **本体設定**
電源設定や印刷設定などのプリンター本体設定を指定します。

4 P-touch Template 設定

P-touch Template 設定を指定します。

P-touch Template の詳細については、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://www.brother.co.jp/support/>）から「P-touch テンプレートマニュアル/ コマンドリファレンス」をダウンロードしてください。

5 終了

画面を閉じてください。

- ③ [プリンター] の横に、設定するラベルプリンターが表示されていることを確認します。別のラベルプリンターが表示された場合は、ドロップダウンリストから目的のラベルプリンターを選択します。
- ④ 変更する設定を選択し、ダイアログボックスで設定を指定または変更します。
通信設定の詳細については、24 ページの「通信設定」、34 ページの「本体設定」または 41 ページの「P-touch Template 設定」を参照してください。
- ⑤ [設定]、次に [終了] をクリックして、本機に設定を適用します。
- ⑥ メイン画面の [終了] をクリックして設定を終了します。

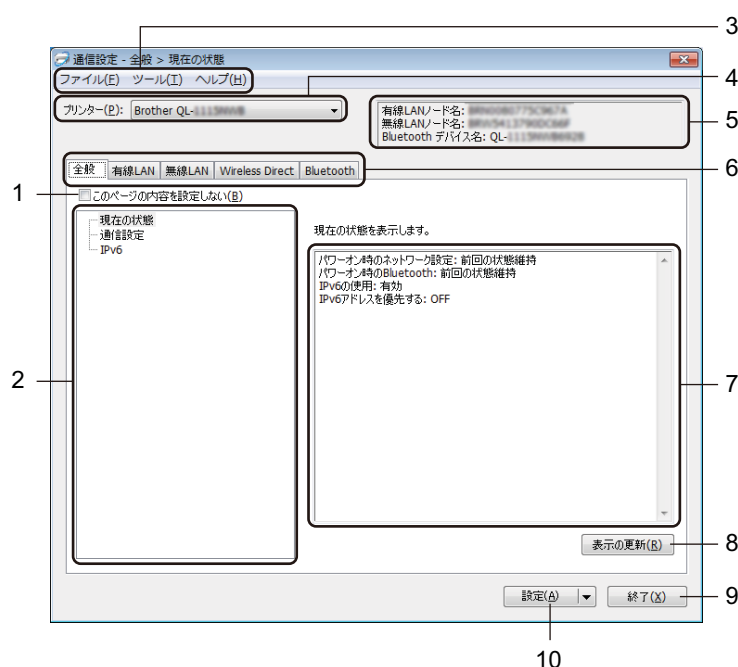
重要

ラベルプリンターがアイドル状態の場合のみ、プリンター設定ツールを使用してラベルプリンターを設定します。ジョブの処理中または印刷中にラベルプリンターを設定しようとすると、ラベルプリンターが誤作動する可能性があります。

通信設定

本機とパソコンを USB ケーブルまたは Bluetooth で接続するときに、プリンター設定ツールの「通信設定」を使用して本機の通信情報を指定または変更します。1 台のラベルプリンターの通信設定を変更できるだけでなく、複数のラベルプリンターに同じ設定を適用することもできます。

設定ダイアログボックス



1 このページの内容を設定しない

このチェックボックスを選択すると、タブに  が表示され、設定を指定または変更できなくなります。

「設定」をクリックしても、 が表示されているタブの設定は本機に適用されません。また、「コマンドファイルに保存」または「エクスポート」コマンドを使用すると、タブの設定は保存されず、エクスポートもされません。

設定をラベルプリンターに適用する、保存する、またはエクスポートするには、チェックボックスのチェックが外れていることを確認してください。

2 項目

「現在の状態」を選択すると、現在の設定が設定表示 / 変更エリアに表示されます。

変更する設定の項目を選択します。

3 メニューバー

コマンドは、各メニュー（ファイル、ツール、ヘルプ）の下に機能別に分類されています。

4 プリンター

接続されているラベルプリンターを一覧表示します。

5 ノード名

ノード名を表示します（ノード名は変更できます）。詳細については、26 ページの「メニューバー」を参照してください。

6 設定タブ

指定または変更できる設定が含まれています。

タブに  が表示されている場合、そのタブの設定は本機に適用されません。

7 設定表示 / 変更エリア

選択された項目の現在の設定を表示します。

8 表示の更新

設定の表示を最新の情報に更新します。

9 終了

〔通信設定〕を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。

重要

設定の変更後、〔設定〕ボタンをクリックせずに〔終了〕をクリックすると、本機には設定が適用されません。

10 設定

本機に設定を適用します。

指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから〔コマンドファイルに保存〕を選択します。保存されたコマンドファイルをマストレージモードで使用して、本機に設定を適用することができます。詳細については、66 ページの「マストレージモード」を参照してください。

重要

〔設定〕をクリックすると、すべてのタブの全設定が本機に適用されます。

〔このページの内容を設定しない〕チェックボックスを選択した場合、そのタブの設定は適用されません。

メニューバー

- ・ プリンターへ設定する

本機に設定を適用します。

- ・ 設定内容をコマンドファイルに保存する

指定された設定内容をコマンドファイルに保存します。ファイルの拡張子は「.bin」です。

保存されたコマンドファイルをマスストレージモードで使用して、本機に設定を適用することができます。詳細については、66 ページの「マスストレージモード」を参照してください。



メモ

「このページの内容を設定しない」チェックボックスを選択した場合、そのタブの設定は保存されません。

重要

- ・ コマンドファイルに次の情報は保存されません。

- ・ ノード名

- ・ IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイ（IP アドレスが [STATIC] に設定されている場合）

- ・ 保存された通信設定コマンドは、本機に設定を適用する場合にのみ使用されます。このコマンドファイルを使用して本機に設定を適用するには、マスストレージモードを使用します。

- ・ 保存されたコマンドファイルには、認証キーとパスワードが含まれています。他のユーザーがアクセスできない場所に保存するなど、保存したコマンドファイルを保護するために必要な対策を講じてください。

- ・ コマンドファイルをモデルの異なるプリンターに送信しないでください。

- ・ インポート

- 現在の PC 無線設定からインポートする

- パソコンから設定をインポートします。



メモ

- ・ パソコンの無線接続設定をインポートするときは、パソコンの管理者権限が必要です。

- ・ パーソナルセキュリティ認証設定（オープンシステム、公開鍵認証、WPA/WPA2-PSK）のみインポートできます。エンタープライズセキュリティ認証（LEAP や EAP-FAST など）、WPA2-PSK（TKIP）、WPA-PSK（AES）の設定はインポートできません。

- ・ お使いのパソコンで複数の無線 LAN が有効になっている場合、検出された最初の無線接続設定（個人設定のみ）がインポートデータとして考慮されます。

- ・ [無線 LAN] タブの [無線設定] 画面にある設定（接続モード、SSID、認証方式、暗号化方式、認証キー）のみインポートできます。

- プロファイルを選択してインポートする

- エクスポートされたファイルをインポートし、その設定を本機に適用します。

- [参照] をクリックし、インポートするファイルを選択します。選択したファイルの設定が設定表示 / 変更エリアに表示されます。



メモ

- ・ ノード名を除いて、ワイヤレス設定やTCP/IP 設定などのすべての設定をインポートできます。
 - ・ 選択したラベルプリンターと互換性のあるプロファイルのみインポートできます。
 - ・ インポートされたプロファイルの IP アドレスが **[STATIC]** に設定されている場合は、ネットワーク上の既存の構成済みラベルプリンターの IP アドレスと重複しないよう、必要に応じて、インポートされたプロファイルの IP アドレスを変更してください。

・ エクスポート

現在の設定をファイルに保存します。

[このページの内容を設定しない] チェックボックスを選択した場合、そのタブの設定は保存されません。

重要

エクスポートされるファイルは暗号化されません。

・ 適用後、プリンターを自動的に再起動する

このチェックボックスを選択すると、通信設定が適用された後、本機が自動的に再起動します。

このチェックボックスを選択していない場合、本機を手動で再起動する必要があります。



メモ

複数のラベルプリンターを設定する場合、このチェックボックスをオフにすることで設定を変更するのに必要な時間を短縮することができます。この場合、各設定が意図したとおりに動作していることを確認できるように、最初のラベルプリンターを設定するときはこのチェックボックスを選択することをお勧めします。

・ プリンター接続時に、自動的に設定対象プリンターを変更する

このチェックボックスを選択した場合、本機がパソコンに接続されると自動的に検出され、現在値が **[現在の状態]** 画面に表示されます。



メモ

接続されているラベルプリンターのモデルが、**[プリンター]** のドロップダウンリストに表示されているモデルと異なる場合は、すべてのタブで利用できる設定が接続されているラベルプリンターの内容に変わります。

・ ノード名 /Bluetooth デバイス名の変更

ノード名を変更することができます。

・ 通信設定を工場出荷時に戻す

通信設定を工場出荷時の設定に戻します。

・ ヘルプの表示

ヘルプを表示します。

全般タブ

通信設定

- ・ **パワーオン時のネットワーク設定**

本機の電源が入っているときに無線 LAN 経由で接続するための条件を指定します。

[常に無線 LAN]、[常に有線 LAN]、または [前回の状態維持] を選択します。

- ・ **インターフェースの選択**

[インフラストラクチャまたはアドホック]、[インフラストラクチャと Wireless Direct] または [Wireless Direct] を選択します。

- ・ **パワーオン時の Bluetooth**

本機の電源が入っているときに Bluetooth 経由で接続するための条件を指定します。

[常に ON]、[常に OFF]、または [前回の状態維持] を選択します。

IPv6

- ・ **IPv6 の使用**

[有効] または [無効] を選択します。

- ・ **IPv6 アドレスを優先する**

IPv6 アドレスを優先するかを設定します。

有線 LAN/ 無線 LAN タブ

TCP/IP（有線 / 無線）

- ・ IP アドレスの設定

[**AUTO**]、[**BOOTP**]、[**DHCP**]、[**RARP**]、または [**STATIC**] を選択します。

- ・ IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレス

さまざまなネットワーク値を指定します。

これらの設定は、IP アドレスが [**STATIC**] に設定されている場合にのみ入力できます。

- ・ DNS サーバーの設定

[**AUTO**] または [**STATIC**] を選択します。

- ・ プライマリ DNS サーバーアドレス / セカンダリ DNS サーバーアドレス

これらの設定は、DNS サーバーが [**STATIC**] に設定されている場合にのみ入力できます。

IPv6

- ・ 固定 IPv6 アドレス

IPv6 アドレスを指定します。

- ・ このアドレスを有効にする

指定された固定 IPv6 アドレスを有効にします。

- ・ プライマリ DNS サーバー IPv6 アドレス / セカンダリ DNS サーバー IPv6 アドレス

DNS サーバーの IPv6 アドレスを指定します。

- ・ IPv6 アドレスリスト

IPv6 アドレスのリストを表示します。

無線設定

- ・ 接続モード

[**インフラストラクチャ**] または [**アドホック**] を選択します。

- ・ SSID（ネットワーク名）

[**検索**] をクリックすると、利用可能な SSID が別のダイアログボックスに表示されます。

- ・ チャンネル

利用可能なチャンネルを一覧表示します。



メモ

この設定はアドホックモードでのみ有効です。

- ・ 認証方式 / 暗号化方式

認証方式でサポートされている暗号化方式は 30 ページの「接続モードと認証方式 / 暗号化方式」にあるとおりです。

- ・ WEP キー

WEP が暗号化方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。

・ **PSK（事前共有キー）**

WPA/WPA2-PSK が認証方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。

・ **ユーザー ID/ パスワード**

LEAP、EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS または EAP-TLS が認証方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。さらに、EAP-TLS ではパスワードを登録する必要はありませんが、クライアント証明書を登録する必要があります。証明書を登録するには、Web ブラウザから本機に接続し、証明書を指定します。Web ブラウザの使用方法的詳細については、113 ページの「Web Based Management（ウェブブラウザ）」を参照してください。

・ **キーとパスワードを画面に表示する**

このチェックボックスを選択すると、キーとパスワードがプレーンテキスト（暗号化されていないテキスト）で表示されます。

接続モードと認証方式 / 暗号化方式

■ [接続モード] を [アドホック] に設定した場合

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし / WEP

■ [接続モード] を [インフラストラクチャ] に設定した場合

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし / WEP
共通キー認証	WEP
WPA/WPA2-PSK	TKIP+AES / AES
LEAP	CKIP
EAP-FAST/NONE	TKIP+AES / AES
EAP-FAST/MS-CHAPv2	TKIP+AES / AES
EAP-FAST/GTC	TKIP+AES / AES
PEAP/MS-CHAPv2	TKIP+AES / AES
PEAP/GTC	TKIP+AES / AES
EAP-TTLS/CHAP	TKIP+AES / AES
EAP-TTLS/MS-CHAP	TKIP+AES / AES
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	TKIP+AES / AES
EAP-TTLS/PAP	TKIP+AES / AES
EAP-TLS	TKIP+AES / AES

重要

より高いレベルのセキュリティ設定を指定するには：

EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS または EAP-TLS 認証方式で証明書検証を実行する場合、プリンター設定ツールで証明書を指定することはできません。本機をネットワークに接続するように設定した場合、ウェブブラウザから本機にアクセスして証明書を指定します。

Web ブラウザの使用方法的詳細については、113 ページの「Web Based Management（ウェブブラウザ）」を参照してください。

Wireless Direct タブ

Wireless Direct 設定

- ・ SSID/ ネットワークキーの生成

[**AUTO**] または [**STATIC**] を選択します。

- ・ SSID（ネットワーク名）/ ネットワークキー

Wireless Direct モードで使用する SSID（半角 25 文字以下）とネットワークキー（63 文字以下）を指定します。



メモ

工場出荷時の SSID とパスワードは次のとおりです。

SSID : 「DIRECT-*****_QL-1115NWB」。「*****」は、製品シリアル番号の下 5 桁です。
（シリアル番号ラベルは、本機の裏面にあります。）

パスワード : 「111*****」。「*****」は、製品シリアル番号の下 5 桁です。

- ・ チャンネル

Wireless Direct モードに使用するチャンネルを指定します。

Bluetooth タブ

Bluetooth 設定

- ・ **他のデバイスからの検索**
他の Bluetooth デバイスが本機を検出“できる”ようにします。
- ・ **PIN コードを変更する**
このチェックボックスを選択すると、PIN コードを変更できます。
- ・ **PIN コード**
Bluetooth バージョン 2.0 以前のデバイスとペアリングするときに使用する PIN コードを指定します。
- ・ **PIN コードを画面に表示する**
このチェックボックスを選択すると、PIN コードが表示されます。
- ・ **ペアリング時に本体キーの操作を要求する**
このチェックボックスを選択すると、Bluetooth バージョン 2.1 以降のデバイスに対応するボタンを使用して本機のペアリングを実行できます。

自動再接続

- ・ **自動再接続**
以前に接続した iOS 端末に自動的に再接続するかどうかを設定します。

複数のプリンターに設定の変更を適用する

- ① 最初のラベルプリンターに設定を適用した後、パソコンから切断し、2 台目をパソコンに接続します。
- ② [プリンター] ドロップダウンリストから新しく接続したラベルプリンターを選択します。



メモ

[オプション設定] ダイアログボックスの [プリンター接続時に、自動的に設定対象プリンターを変更する] チェックボックスを選択すると、USB ケーブルに接続されたラベルプリンターが自動的に選択されます。詳細については、24 ページの「通信設定」を参照してください。

- ③ [設定] をクリックします。
最初のラベルプリンターに適用された同じ設定が 2 台目のラベルプリンターに適用されます。



メモ

無線 LAN アクセスポイント / ルーターとの接続が正しく設定されていることを確認できるように、最初のラベルプリンターを設定するときは [適用後、プリンターを自動的に再起動する] のチェックボックスを選択することをお勧めします。詳細については、24 ページの「通信設定」を参照してください。

- ④ 設定を変更したいすべてのラベルプリンターに対して手順 ① - ③ を繰り返します。

重要

IP アドレスが [STATIC] に設定されている場合は、後のラベルプリンターの IP アドレスも最初のも
のと同じアドレスに変更されます。必要に応じて IP アドレスを変更します。



メモ

現在の設定をファイルに保存するには、[ファイル] - [エクスポート] をクリックします。

[ファイル] - [インポート] をクリックし、エクスポートした設定ファイルを選択することで、別のラ
ベルプリンターに同じ設定を適用することができます。詳細については、24 ページの「通信設定」を
参照してください。

本体設定

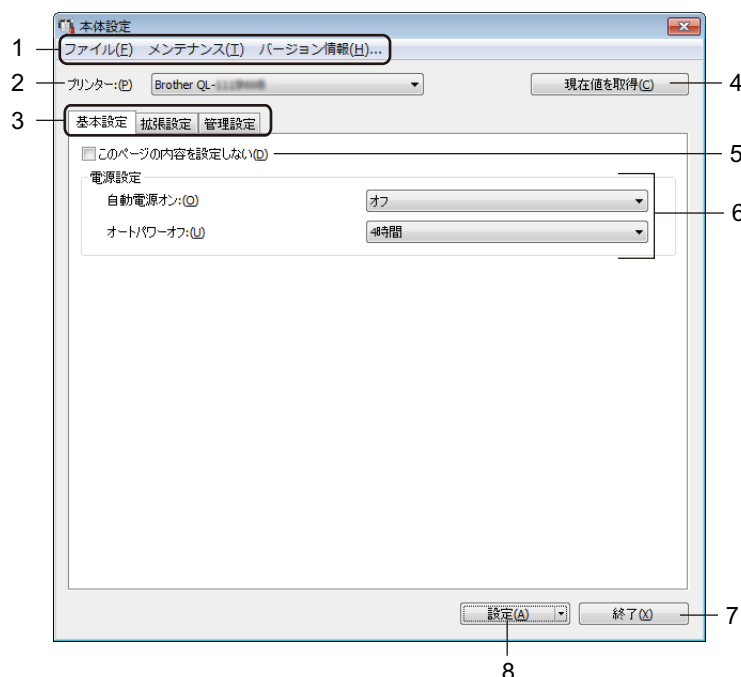
プリンター設定ツールの「**本体設定**」を使用して、本機とパソコンを USB ケーブルまたは Bluetooth で接続するときの印刷設定を指定または変更します。1 台のラベルプリンターの本体設定を変更できるだけでなく、複数のラベルプリンターに同じ設定を適用することもできます。

パソコンのアプリケーションから印刷する場合、プリンタードライバからさまざまな印刷設定を指定できます。ただし、プリンター設定ツールの「**本体設定**」を使用すると、より高度な設定を指定することができます。

「**本体設定**」を開くと、本機の現在の設定内容が読み込まれ、表示されます。現在値を取得できなかった場合は、前の設定が表示されます。現在値を取得できず、以前の設定が指定されていなかった場合、本機の出荷時の設定が表示されます。

3

設定ダイアログボックス



1 メニューバー

リストから各メニューに含まれるコマンドを選択します。

2 プリンター

設定するラベルプリンターを指定します。

3 設定タブ

指定または変更できる設定が含まれています。



メモ

タブに  が表示されている場合、そのタブの設定は指定または変更できません。さらに、[設定] をクリックしても、そのタブの設定は本機に適用されません。また、[コマンドファイルに保存] または [エクスポート] コマンドを使用すると、タブの設定が保存されず、エクスポートもされません。

4 現在値を取得

現在接続されているラベルプリンターから設定を取得し、ダイアログボックスに表示します。 の付いたタブのパラメーター設定も取得されます。

5 このページの内容を設定しない

このチェックボックスをオンにすると、タブに  が表示され、設定を指定または変更できなくなります。

[設定] をクリックしても、 が表示されているタブの設定は本機に適用されません。また、[コマンドファイルに保存] または [エクスポート] コマンドを使用すると、タブの設定は保存されず、エクスポートもされません。

6 パラメーター

現在の設定内容を表示します。

7 終了

[本体設定] を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。

8 設定

本機に設定を適用します。

指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから [コマンドファイルに保存] を選択します。

保存されたコマンドファイルをマスストレージモードで使用して、本機に設定を適用することができます。詳細については、66 ページの「マスストレージモード」を参照してください。

メニューバー

[ファイル] メニュー

- ・ **プリンターへ設定する**
本機に設定を適用します。
- ・ **設定の確認**
現在の設定内容を表示します。
- ・ **設定内容をコマンドファイルに保存する**
指定された設定内容をコマンドファイルに保存します。
- ・ **インポート**
エクスポートされたファイルをインポートします。
- ・ **エクスポート**
現在の設定をファイルに保存します。

[メンテナンス] メニュー

- ・ **本体設定印刷**
現在のファームウェアバージョンと本体設定情報を含むレポートを印刷します。
- ・ **工場出荷設定に戻す**
すべてのラベルプリンターの設定（本体設定、転送データ、ネットワーク設定を含む）を工場出荷時の設定にリセットします。
- ・ **本体設定のみを工場出荷設定に戻す**
本体設定の〔基本設定〕、〔拡張設定〕、〔管理設定〕をすべて工場出荷時の設定にリセットします。
- ・ **テンプレートとデータベースの内容を削除する**
本機に保存されているテンプレートとデータベースの設定を削除します。
- ・ **オプション設定**
〔起動時に現在値を取得できなかった場合、エラーメッセージを表示しない〕チェックボックスを選択すると、次回からメッセージが表示されません。

[バージョン情報] メニュー

バージョン情報を表示します。

基本設定タブ

[電源設定]

- ・ **自動電源オン**

電源コードが電源コンセントに接続されているときに本機の電源を自動的にオンにするかどうかを指定します。

- ・ **オートパワーオフ**

本機を電源コンセントに接続したときに自動的にオフになるまでの時間を指定します。



メモ

無線ネットワーク、有線ネットワーク、または Bluetooth に接続すると、**オートパワーオフ**機能は無効になります。

拡張設定タブ

[セキュリティ]

- ・ **印刷後の印字データ**

印刷後に印字データを削除するかどうかを指定します。

[本体情報を印刷する]

- ・ **内容**

本体情報印刷に含める本体情報を選択します。

[その他]

- ・ **カット設定**

複数のラベルを印刷するときのカット方法を設定します。

- ・ **連番モード**

ナンバリングの方法を設定します。

管理設定タブ

重要

タブを表示するには、パソコンまたはプリンターの管理者権限が必要です。

プリンターの管理者権限は、[プリンターのプロパティ] - [セキュリティ] タブで確認できます。

[印刷設定]

- ・ コマンド系

コマンドモードの種類を選択します。

[セキュリティ]

- ・ **Bluetooth/WLAN 完全無効モード**

Bluetooth または無線 LAN インターフェイスを無効にすることができます。この機能は、信号の送信が許可されていない場所で本機を使用する場合に便利です。

複数のラベルプリンターに設定の変更を適用する

- ① 最初のラベルプリンターに設定を適用した後、パソコンから切断し、2 台目をパソコンに接続します。
- ② [プリンター] ドロップダウンリストから新しく接続したラベルプリンターを選択します。
- ③ [設定] をクリックします。最初のラベルプリンターに適用された同じ設定が 2 台目のラベルプリンターに適用されます。
- ④ 設定を変更したいすべてのラベルプリンターに対して手順 ① - ③ を繰り返します。



メモ

現在の設定をファイルに保存するには、[ファイル] - [エクスポート] をクリックします。

[ファイル] - [インポート] をクリックし、エクスポートした設定ファイルを選択することで、別のラベルプリンターに同じ設定を適用することができます。詳細については、34 ページの「本体設定」を参照してください。

P-touch Template 設定

P-touch Template モードでは、オプションのバーコードリーダー（PA-BR-001）または本機に接続された他のデバイスを使用して、ダウンロードしたテンプレートからテキストおよびバーコードオブジェクトにデータを挿入できます。

ご利用できるオプションや付属品は国によって異なる場合があります。

P-touch Template 機能を指定または変更するには、プリンター設定ツールで **[P-touch Template 設定]** を選択します。

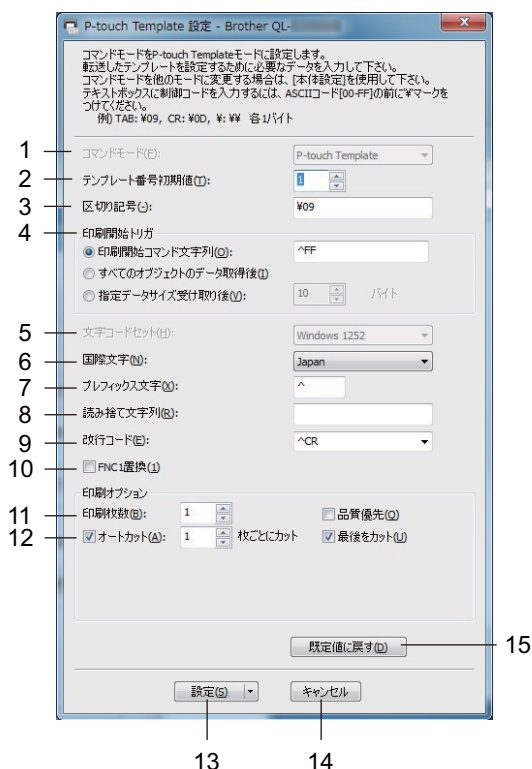


メモ

- ・ P-touch Template モードは、測量機、試験機、コントローラー、プログラマブルロジック機器など、その他の入力デバイスとも互換性があります。
- ・ **P-touch Template の詳細については、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://www.brother.co.jp/support/>）から「P-touch テンプレートマニュアル/ コマンドリファレンス」をダウンロードしてください。**

製品を選択し、[製品マニュアル] を選択します。

P-touch Template 設定ダイアログボックス



1 コマンドモード

P-touch Template モードをデフォルトモードとして指定します。

モードを変更するには、39 ページの「管理設定タブ」を参照してください。

2 テンプレート番号初期値

本機の電源を入れたときに設定されるデフォルトのテンプレート数を指定します。テンプレートを本機に転送したくない場合は、テンプレート数を指定しないでください。

3 区切り記号

ファイル内にあるデータのグループ間の境界を示す記号を表示します。1 ～ 20 文字を指定できます。

4 印刷開始トリガ

複数のオプションから印刷を開始するトリガを指定します。

[印刷開始コマンド文字列]：ここで指定されたコマンド文字を受信すると印刷が開始されます。

[すべてのオブジェクトのデータ取得後]：最後のオブジェクトの区切り文字が受信されると印刷が開始されます。

[指定データサイズ受け取り後]：ここで指定された文字数を受信すると印刷が開始されます。ただし、区切り文字は文字数には含まれません。

5 文字コードセット

選択できません。

6 国際文字

各国の文字セットの一覧を表示します。

選択した国によって、次の 12 コードが切り替わります。

23h 24h 40h 5Bh 5Ch 5Dh 5Eh 60h 7Bh 7Ch 7Dh 7Eh

文字の変更については、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

（<http://www.brother.co.jp/support/>）から「P-touch テンプレートマニュアル/ コマンドリファレンス」

をダウンロードしてください。

7 プレフィックス文字

P-touch Template モードで使用されるコマンドを識別する接頭文字コードを指定します。

8 読み捨て文字列

データが受信されたときにここで指定された文字は印刷されません。1 ～ 20 文字を指定します。

9 改行コード

改行コードは、次のデータをテキストオブジェクトの次の行に移動する必要があることを示すためにデータを入力するときに使用されます。改行コードを選択するか、1 ～ 20 文字を改行コードとして指定することができます。

10 FNC1 置換

GS コードを FNC1 コードに置き換えます。

11 印刷枚数

印刷枚数を設定します。1 ～ 99 の数値を指定できます。

12 カットオプション

ラベルをカットする前に自動的にカットするかどうかや印刷する数を指定します。1 ～ 99 の数値を指定できます。

他のカットオプションも選択できます。

13 設定

本機に設定を適用します。

指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから「コマンドファイルに保存」を選択します。保存されたコマンドファイルをマスストレージモードで使用して、本機に設定を適用することができます。詳細については、66 ページの「マスストレージモード」を参照してください。

14 キャンセル

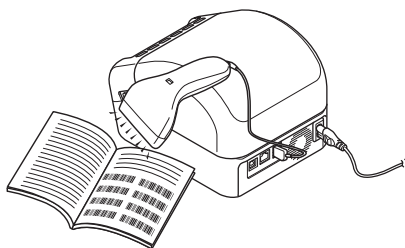
設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定は変更されません。

15 既定値に戻す

P-touch Template 設定画面の設定値をすべて工場出荷時の設定に戻します。

P-touch Template 機能

P-touch Template モードでは、別売品のバーコードリーダー（PA-BR-001）または本機に接続された他のデバイスを使用して、ダウンロードしたテンプレートからテキストおよびバーコードオブジェクトにデータを挿入できます。



基本操作

■ 定型テンプレート印刷機能（48 ページを参照）

使用頻度の高いテンプレートや画像を本機にダウンロードしておくと、バーコードを読み取るだけで印刷できます。

■ バーコード作成（コピー）印刷機能（50 ページを参照）

テンプレートデータを本機にダウンロードしておくと、バーコードを読み取って同じラベルを印刷したり、異なるラベルに読み取ったデータを挿入して印刷します。

■ データベース置換印刷機能（53 ページを参照）

データベースをリンクさせたテンプレートデータを本機にダウンロードしておくと、テンプレートの内容をバーコードで読み取ったデータベースの値に置き換えて印刷します。

応用機能

■ ナンバリング（連番）印刷機能（56 ページを参照）

ダウンロードしたテンプレートのテキストまたはバーコードを自動的に 1 カウントずつ増やしながら印刷します。



メモ

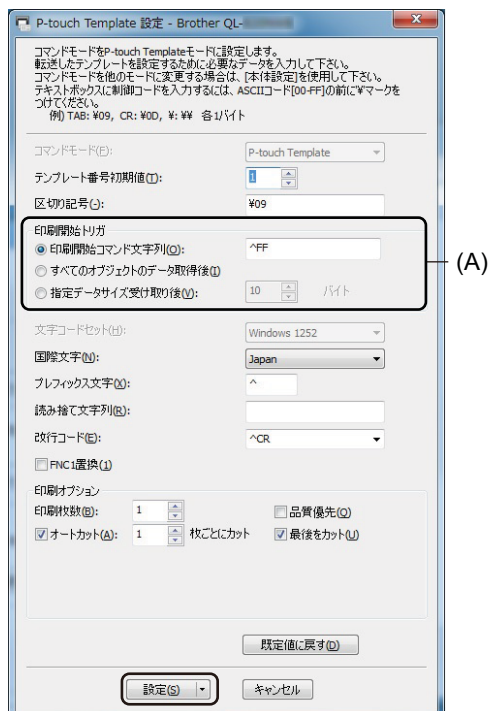
- ・ P-touch Template モードは、秤のような入力装置、計測器、プログラマブルロジックコントローラ（PLC）、またはシーケンサと互換性があります。
 - ・ 詳細については、「P-touch Template マニュアル/ コマンドリファレンス」を参照してください。弊社サポートサイト（<http://www.brother.co.jp/support/>）から最新バージョンをダウンロードできます。
- 製品を選択し、「製品マニュアル」を選択します。

事前準備

バーコードリーダーを本機に接続する前に、P-touch Template 設定（プリンター設定ツール内）を使用してバーコードリーダーの設定を指定します。

P-touch Template 設定ツールの設定

- 1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、本機の電源を入れます。
- 2 プリンター設定ツールを起動します。
 - Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：
[スタート] ボタンから [すべてのプログラム] - [Brother] - [Label & Mobile Printer] - [Printer Setting Tool] をクリックします。
 - Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：
[アプリ] 画面で [Printer Setting Tool] アイコンをクリックします。
 - Windows 10 / Windows Server 2016 の場合：
[スタート] ボタンから [Brother] - [Printer Setting Tool] をクリックします。
- 3 [P-touch Template 設定] をクリックします。
- 4 適切な設定を選択し、[設定] をクリックします。





メモ

- ・ デフォルトでは、バーコードリーダーを使用してコード「^FF」を読み込んだときに印刷が開始されます。（これは、前の画像の（A）で強調表示されている設定で変更できます。）**[指定データサイズ受け取り後]** をチェックしてバイト数を指定すると、指定バイト数のバーコードを読み取り後に自動で印刷させることもできます。
- ・ パソコンから印刷するたびに印刷モード設定がラスターモードに戻るため、設定を再度テンプレートモードに変更する必要があります。
- ・ 本機は電源をオフから再度オンにすると、テンプレートモードで起動します。

バーコードリーダーの接続

信頼性の高い高品質のバーコードリーダーを使用し、仕様を確認してからモデルを選択することをお勧めします。

■ バーコードリーダーの接続方法：

USB ホストインターフェイス、無線 LAN インターフェイス、または Bluetooth インターフェイスを使用します。

■ 推奨されるバーコードリーダーの選択基準：

- ・ USB ホストインターフェイスを使用する場合：キーボードとして識別できる HID クラスのモデル（例えば、品名：PA-BR-001）
- ・ Bluetooth インターフェイスを使用する場合：SPP または OPP プロファイルをサポートする Bluetooth バージョン 2.1 + EDR（クラス 1）モデル



メモ

- ・ P-touch Template モードでは、P-touch Transfer Manager を使用して、パソコンから本機にテンプレートをダウンロードする必要があります。詳細については、78 ページの「ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法」を参照してください。
- ・ バーコードリーダーは通常、英語キーボード用にプログラムされています。初心者の方には、プリフィックス（接頭文字）やサフィックス（接尾文字）が付いていないデータスキャン用にバーコードリーダーをプログラムすることをお勧めします。上級ユーザーの場合は、プリフィックス（接頭文字）とサフィックス（接尾文字）を本機のコマンドとして使用することで P-touch Template モードのソリューションを使いやすくすることができます。
- ・ バーコードリーダーの使用法およびプログラム方法の詳細については、製造元にお問い合わせください。

定型テンプレート印刷機能

頻繁に使用するテンプレートや画像をダウンロードし、バーコードを読み取って印刷するものを選択するだけです。

例：



メモ

- ・各設定に必要な読み取り用バーコードは、146 ページの「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」を参照してください。
- ・グループ化すると、画像として送信されます。

- 1 P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレート（ラベルレイアウト）を（P-touch Editor から）本機に転送します。詳細については、78 ページの「ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法」を参照してください。

メモ

ラベルのテキストをグループ化すると、画像になります。画像にすると文字の編集ができなくなり、よく使うテンプレートを間違えて編集してしまうことを防ぎます。

P-touch Editor のレイアウト画面で、テキストオブジェクトを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。[拡張] タブをクリックし、[文字の編集を禁止する] チェックボックスを選択します。

[拡張] タブが表示されない場合は、[ツール] メニューの [オプション] をクリックし、[全般] タブをクリックして、[その他] にある [オブジェクトのプロパティで拡張ページを表示] チェックボックスを選択します。

このチェックボックスを選択しない場合、オブジェクトは編集可能なテキストに変換されます。

- 2 P-touch Transfer Manager の [転送用データセット] にデータを転送する場合、転送するデータを含むフォルダーを選択します。

メモ

- ・テンプレートが P-touch Transfer Manager の [転送用データセット] に転送されると、[キー割り当て] の数字が自動的に割り当てられます。
- ・本機のボタンを使用して [キー割り当て] の数字を 1 ～ 10 の間で指定できます。
- ・高度な操作では、本機にダウンロードしたテンプレートの [キー割り当て] の数字を 1 ～ 255 の間で指定できますが、異なるバーコードを選択して印刷するには手順 ⑥ の方法で読み取る必要があります。詳細については、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）
(<http://www.brother.co.jp/support/>) から「P-touch テンプレートマニュアル/ コマンドリファレンス」をダウンロードしてください。

製品を選択し、[製品マニュアル] を選択します。

- ・[転送用データセット] にカスタムフォルダーを追加し、転送されたテンプレートをそのカスタムフォルダーにドラッグアンドドロップして、異なるテンプレートセットを管理することができます。

- 3 転送したテンプレートを選択し、[転送] をクリックして、本機の [キー割り当て] 番号にテンプレートをダウンロードします。

- 4 「P-touch Template コマンド（設定の初期化 + 開始）」バーコードを読み取ります。
146 ページの「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」を参照してください。
- 5 「基本設定」にあるバーコードのリストから各設定したい項目のバーコードを読み取ります。



メモ

- ・複数の項目を続けて設定できます。
- ・何も設定しない場合は、P-touch Template の設定に従って印刷されます。P-touch Template 設定の初期値は、「オートカット」が「あり」で 1 枚のラベルが印刷されます。

P-touch Template 設定の詳細については、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://www.brother.co.jp/support/>）から「P-touch テンプレートマニュアル/ コマンドリファレンス」をダウンロードしてください。
製品を選択し、[製品マニュアル] を選択します。

- ・印刷枚数を設定するには、「印刷枚数」バーコードを読み取ったあと、「テンキー入力」バーコードで 3 桁の数字を読み取ってください。

例：

数字の設定は次のように行います：7-[0][0][7]、15-[0][1][5]

- ・枚数を変更する場合は、もう一度、「印刷枚数」バーコードを読み取ってから、3 桁の数字を読み取りなおしてください。

- 6 印刷したいテンプレートデータの [キー割り当て] 番号と同じ番号の「定型テンプレート番号」バーコードを読み取ります。
- 7 指定したラベルが印刷されます。

バーコード作成（コピー）印刷機能

テンプレートデータを本機にダウンロードしておく、と、バーコードを読み取って同じラベルを印刷したり、異なるラベルに読み取ったデータを挿入して印刷します。



メモ

- ・各設定に必要な読み取り用バーコードは、146 ページの「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」を参照してください。
- ・バーコードリーダーで読み取るバーコードとあらかじめ本機に登録しておいたバーコードテンプレートの規格が異なる場合は、バーコードを作成または印刷できないことがあります。
- ・バーコードリーダーでは読み取ることができるバーコードシンボルや規格でも、本機でサポートされていない場合は、印刷できません。

- 1 P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレート（ラベルレイアウト）を（P-touch Editor から）本機に転送します。詳細については、78 ページの「ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法」を参照してください。



CODE128/9 桁

重要

バーコード記号やプロトコルの要件（特にバーコードリーダーから挿入される文字の最大数と種類）に合わせて、ラベルのラベルサイズとバーコード位置を満たすようなテンプレートを作成してください。挿入されたデータを含むバーコードがラベル印刷可能イメージエリア内に完全に収まらない場合、テンプレートのバーコードを作成または読み取ることはできません。

- 2 P-touch Transfer Manager の「転送用データセット」にデータを転送する場合、転送するデータを含むフォルダーを選択します。



メモ

- ・テンプレートが P-touch Transfer Manager の「転送用データセット」に転送されると、「キー割り当て」の数字が自動的に割り当てられます。
- ・本機にダウンロードしたテンプレートに「キー割り当て」の数字を 1 ～ 10 の間で指定できます。
- ・「転送用データセット」の下にフォルダーを追加し、テンプレートデータを移動し、種類や内容で管理することができます。

- ③ 転送したテンプレートを選択し、[転送] をクリックして、本機の [キー割り当て] 番号にテンプレートをダウンロードします。
- ④ 「P-touch Template コマンド（設定の初期化 + 開始）」バーコードを読み取ります。
詳細については、146 ページの「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」を参照してください。
- ⑤ 「基本設定」の下のバーコードリストから、設定したい項目のバーコードを読み取ります。



メモ

- ・複数の項目を続けて設定できます。
- ・何も設定しない場合は、P-touch Template の設定に従って印刷されます。P-touch Template 設定の初期値は、「オートカット」が「あり」で 1 枚のラベルが印刷されます。

P-touch Template 設定ツールの詳細については、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://www.brother.co.jp/support/>）から「P-touch テンプレートマニュアル/コマンドリファレンス」をダウンロードしてください。

製品を選択し、[製品マニュアル] を選択します。

- ・印刷枚数を設定するには、「印刷枚数」バーコードを読み取ったあと、「テンキー入力」バーコードで 3 桁の数字を読み取ってください。数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。

例：

数字の設定は次のように行います：7→[0][0][7]、15→[0][1][5]

- ・枚数を変更する場合は、もう一度、「印刷枚数」バーコードを読み取ってから、3 桁の数字を読み取りなおしてください。

- ⑥ 「テンプレート選択」バーコードを読み取ってから、印刷したいテンプレートの [キー割り当て] 番号と同じ数字（3 桁）を「テンキー入力」バーコードで読み取ります。
数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。

例：

3 桁の数字の設定は次のように行います：7→[0][0][7]、15→[0][1][5]



メモ

P-touch Editor を使用して、手順 ⑥ で使用するバーコードだけでラベルを作成して印刷することができます。

例：



^TS007



^TS015

- 7 手順⑥で選択したテンプレートのバーコードに挿入したいデータが含まれているバーコードを読み取ります。

例：



(CODE128/9 桁)

- 8 「印刷開始」のバーコードを読み取ります。
- 9 印刷されたテンプレートのバーコードには、手順⑦でスキャンされたバーコードからのデータが含まれています。

例：



データベース置換印刷機能

データベースをリンクさせたテンプレートデータを本機にダウンロードしておく、テンプレートの内容をバーコードで読み取ったデータベースの値に置き換えて印刷します。



メモ

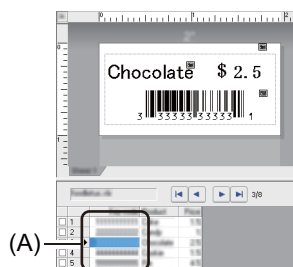
- ・ 本機は、リンクされたデータベースの左端の列（A）を認識します。したがって、バーコードで読み取るキーワードは、データベースのこの列にある必要があります。
- ・ リンクされたデータベースの左端の列（A）のデータは、バーコードで読み取られるキーワードと一致する必要があります。
- ・ P-touch Editor と本機は、リンクされたデータベースの各フィールドの 1 行目のデータしか読み取ることができません。このため、一番左の列（A）に 2 行以上のデータ行を持つデータベースを使用することはお勧めしません。
- ・ 各設定に必要な読み取り用バーコードは、146 ページの「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」を参照してください。

- 1 P-touch Editor を使用してテンプレートを作成し、データベースファイルに接続します。テンプレート内のテキストおよびバーコードオブジェクトに必要な数の列をリンクできます。



メモ

キーワードが左端の列（A）に含まれていることを確認します。印字ラベルにそのデータが必要ない場合は、テンプレートのテキストまたはバーコードオブジェクトを（A）にリンクさせないでください。



設定の詳細については、[**P-touch Editor ヘルプ**] を参照してください。

- 2 P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレート（ラベルレイアウト）を（P-touch Editor から）本機に転送します。詳細については、78 ページの「ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法」を参照してください。リンクされたデータベースファイルも転送されます。
- 3 テンプレートが P-touch Transfer Manager の「転送用データセット」に転送されると、[キー割り当て] の数字が自動的に割り当てられます。



メモ

「転送用データセット」の下にフォルダーを追加し、転送されたテンプレートをそのフォルダーに移動し、種類や内容で管理することができます。

- 4 転送されたテンプレートを選択し、[転送] をクリックして、本機の [キー割り当て] 番号にテンプレートをダウンロードします。
- 5 「P-touch Template コマンド」バーコードを読み取ります。
詳細については、146 ページの「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」を参照してください。
- 6 「基本設定」の下のバーコードリストから、設定したい項目のバーコードを読み取ります。



メモ

- ・複数の項目を続けて設定できます。
- ・何も設定しない場合は、P-touch Template の設定に従って印刷されます。P-touch Template 設定の初期値は、「オートカット」が「あり」で 1 枚のラベルが印刷されます。

P-touch Template 設定ツールの詳細については、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://www.brother.co.jp/support/>）から「P-touch テンプレートマニュアル/コマンドリファレンス」をダウンロードしてください。

製品を選択し、[製品マニュアル] を選択します。

- ・印刷枚数を設定するには、「印刷枚数」バーコードを読み取ったあと、「テンキー入力」バーコードで 3 桁の数字を読み取ってください。数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。

例：

数字の設定は次のように行います：7→[0][0][7]、15→[0][1][5]

- ・枚数を変更する場合は、もう一度、「印刷枚数」バーコードを読み取ってから、3 桁の数字を読み取りなおしてください。

- 7 「テンプレート選択」バーコードを読み取ってから、印刷したいテンプレートの [キー割り当て] 番号と同じ数字（3 桁）を「テンキー入力」バーコードで読み取ります。
数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。
ダウンロードしたテンプレートは、3 桁の数字がスキャンされた後に自動的に選択されます。

例：

数字の設定は次のように行います：7→[0][0][7]、15→[0][1][5]

 メモ

手順 ⑥ で使用するための 1 つのバーコードを P-touch Editor を使用して作成し、印刷しておくことができます。

例：



- ⑧ 手順④からダウンロードされたデータベースで検索するキーワードが含まれているバーコードを読み取ります。

例：



- 9 読み取られたキーワードでデータベースの検索を開始するコマンドを送信するために、「デリミタ」バーコードをスキャンします。

- 10 「印刷開始」のバーコードを読み取ります。

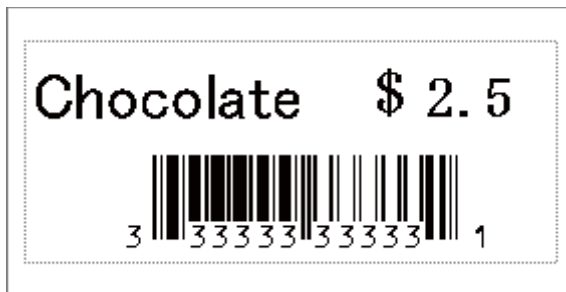
メモ

手順 ⑨ と ⑩ で使用するための 1 つのバーコードを P-touch Editor を使用して作成、印刷しておくことができます。

例：



- 11 本機は、読み取ったキーワードで検索したデータベースファイルの値に置き換えてテンプレートを印刷します。

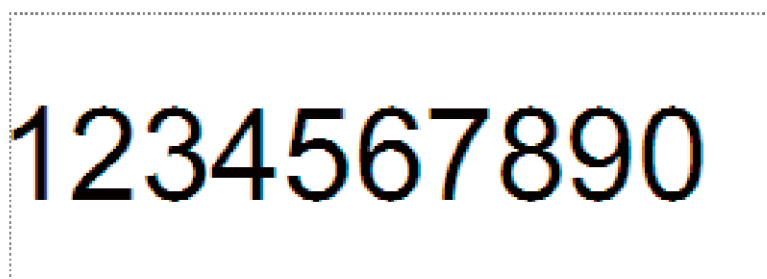


ナンバリング（連番）印刷機能

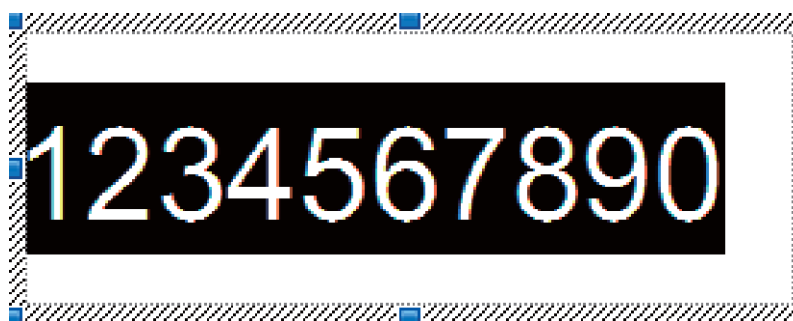
ダウンロードしたテンプレートのテキストまたはバーコードを自動的に最大 999 の印刷枚数まで、1 カウントずつ増やしながら印刷します。ナンバリング（連番）印刷するテキストおよびバーコードオブジェクトを選択してください。

テキストナンバリング（連番）

- 1 P-touch Editor を使用して、テンプレートを開き、ナンバリング（連番）印刷したいテキストオブジェクトを選択します。
例：



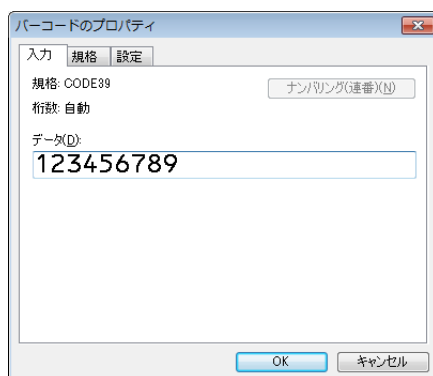
- 2 ナンバリング（連番）印刷したいテキストオブジェクト内をハイライト表示するか、または数字や文字の上にカーソルをドラッグさせます（最大 15 個までの数字や文字）。選択した部分がナンバリング範囲となります。



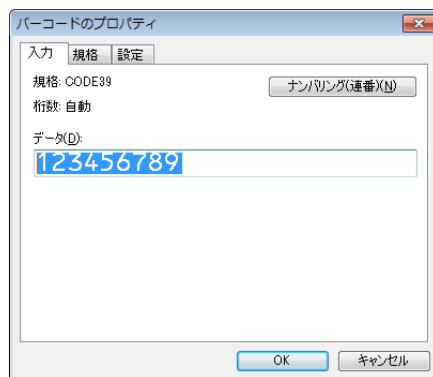
- 3 ハイライトされたナンバリング範囲の上で右クリックし、[ナンバリング（連番）] を選択します。

バーコードナンバリング（連番）

- 1 P-touch Editor を使用して、テンプレートを開き、ナンバリング（連番）印刷したいバーコードオブジェクトを選択します。
- 2 選択したバーコードオブジェクト上で右クリックして「プロパティ」を選択します。
「バーコードのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。



- 3 「入力」タブをクリックし、ナンバリング（連番）印刷したいバーコードオブジェクト内をハイライト表示するか、または数字や文字の上にカーソルをドラッグさせます（最大 15 個までの数字や文字）。選択した部分がナンバリング範囲となります。



メモ

「ナンバリング（連番）」ボタンは、数字や文字をハイライトさせると有効になります。

- 4 [ナンバリング (連番)] をクリックし、[OK] をクリックします。

高度な操作でナンバリング (連番) 印刷をする

- 1 P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレート (ラベルレイアウト) を (P-touch Editor から) 本機に転送します。詳細については、78 ページの「ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法」を参照してください。
- 2 高度な操作でナンバリング (連番) を行うために本機を設定します。146 ページの「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」を参照してください。
 - 「ナンバリング印刷枚数コマンド」バーコードを読み取り、印刷したい枚数を「テンキー入力」バーコードで 3 桁の数字を読み取ります。例：
5 枚印刷したい場合は、3 桁の数字の設定はバーコードで、[0] [0] [5] と読み取ります。



メモ

- ・ P-touch Template モードの基本的な操作手順に従って、印刷を開始します。詳細については、48 ページの「定型テンプレート印刷機能」から 53 ページの「データベース置換印刷機能」までを参照してください。
- ・ 各ラベルがナンバリング (連番) 印刷され、そのカウントは本機に保存されます。
- ・ テキストまたはバーコードオブジェクトを元の値に戻すには、「テンプレートデータの初期化」バーコードを読み取ります。

本体設定を確認する

本機をパソコンに接続しなくても、設定レポートを印刷できます。



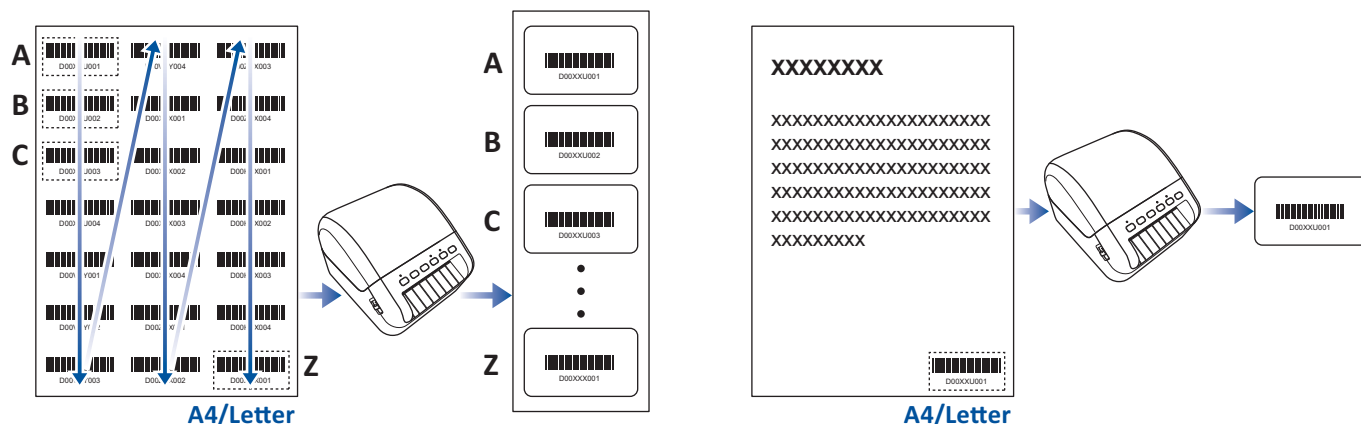
メモ

本体情報には、次の情報が含まれています：ファームウェアバージョン、本体設定情報、シリアル番号、ネットワーク設定情報など。（情報の内容は機種によって異なります。）

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 ロールをセットしてください。(S<) カットボタンを2秒以上長押ししてレポートを印刷します。

クロップ印刷（バーコードラベルを印刷する）

A4 またはレターサイズの PDF ファイルから 1 つまたは複数のバーコードを印刷できます。クロップ印刷機能では、指定したバーコードを自動的に識別して個別に切り取り、印刷できます。



メモ

- ・ この機能は Windows プリンタードライバーからの印刷時のみ有効です。P-touch Editor から実行することはできません。
- ・ クロップ印刷機能の精度は、ユーザーの環境、印刷する用紙、およびラベルの内容に左右されます。はっきりとした白黒のバーコードをお勧めします。条件が整っていない場合は、ラベルが正常に印刷されなかったり、元のデータと異なることがあります。詳細については、サポートサイト (support.brother.co.jp) にアクセスしてください。

クロップ印刷機能で認識できるバーコード

- Code 39/Code 3 of 9
- ITF/ITF-14/Interleaved 2 of 5
- GS1-128 (UCC/EAN-128)
- Codabar (Code 2 of 7、NW-7)
- CODE 93
- CODE 128
- UPC-A
- UPC-E
- JAN-8/EAN-8
- JAN-13/EAN-13
- QR コード¹
- Datamatrix/GS1 Datamatrix¹
- PDF417¹
- MaxiCode¹

¹ 発送ラベルで利用可能

バーコードの仕様

項目	仕様
縦幅	5 mm 以上
横幅	一番細い細線が 0.5 mm 以上
余白	一番細い細線の 10 倍以上
色	黒
下地色	白
1 セルの最小サイズ (最も太いバー)	0.5 mm 以上

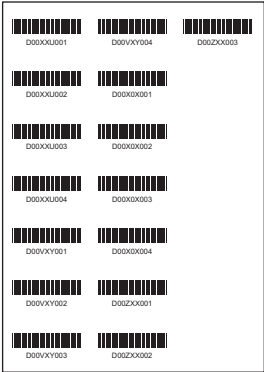
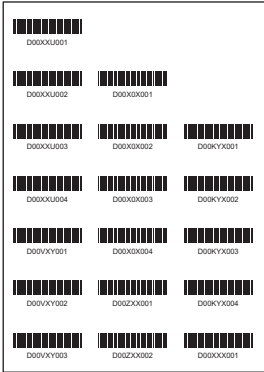
クロップ印刷に使用するバーコード原稿を作成する

クロップ印刷機能を使用するには、バーコード文書を作成し、PDF ファイルとして保存します。最終的なバーコードの PDF ファイルが次の要件を満たすようにしてください。

バーコード原稿の条件

項目	条件
バーコード数	PDF1 ページあたり 1 個以上（最大 99 個）
バーコードの種類	原稿に含まれるバーコードはクロップ印刷で認識できるバーコードのうち 1 種類のみです。
バーコードの配置	認識されたバーコードが傾いていないことが必要です。また、左端、上端揃えで整列している必要があります。 バーコードは必ず、左上隅から始めて、その列に上から順番に配置し、次に右隣の列の最上部から同じ要領で配置してください。

バーコードの配置

認識できる配置	認識できない配置
	条件を満たしていない例 (上端が揃っていない) 

発送ラベルのバーコードの条件

項目	状態
バーコード数の合計	1 ～ 9 個
バーコードの種類	クロップ印刷機能に対応したバーコードのみを使用してください。
バーコードの配置	バーコードはまっすぐに配置してください。

発送ラベルのバーコードのレイアウト

クロップ処理は、以下のいずれかの条件を満たす場合に実行されます。

- ラベルが罫線で囲まれている。
- ラベル幅全体にわたる横線を含んでいる。
- ラベルの高さ全体にわたる縦線を含んでいる。

正しいバーコードのレイアウト

1 OF 1

Barcode 1

Barcode 2

Barcode 3

Barcode 4

Box 1 of 1 - 2.5lb

Barcode 5

Barcode 6

PLEASE LEAVE THIS LABEL UNCOVERED

1 OF 1

Barcode 1

Barcode 2

Box 1 of 1 - 2.5lb

Barcode 3

Barcode 4

PLEASE LEAVE THIS LABEL UNCOVERED

クロップ印刷機能を利用してバーコードラベルを印刷する



メモ

プリンターが、USB ケーブルまたはネットワーク接続でパソコンまたは携帯端末に接続されていることを確認してください。

- ① 印刷するバーコード原稿の PDF ファイルを開きます。
- ② [ファイル] - [印刷] をクリックします。
- ③ [プリンター] のドロップダウンリストから、本機を選択します。
- ④ [ページサイズ処理] で、[実際のサイズ] を選択します。
- ⑤ [向き] は、[縦] を選択します。
- ⑥ [プロパティ] をクリックします。
- ⑦ [基本設定] タブをクリックし、次のいずれかを行ってください。
 - ダイカットラベルを使用する場合は、[指定枚数ごとにカット] のチェックボックスのチェックを外します。
 - 無定長ラベルを使用する場合は、[指定枚数ごとにカット] のチェックボックスを選択します。



- 8 [クロップ印刷] タブをクリックし、[ドキュメントに含まれるバーコードを印刷する] を選択します。



- 9 商品ラベルの場合は [商品ラベルを印刷する] を選択し、発送ラベルの場合は [発送ラベルを印刷する] を選択します。
- 10 [用紙サイズド] ロップダウンリストからラベルまたは用紙サイズを選択します。
[発送ラベルを印刷する] オプションを選択すると、102mm 以上の幅の用紙のみが表示されます。



メモ

クロップデータの元のサイズに合うように、最も近いラベルサイズを選択します。大量のラベルを印刷する前に、試し印刷することをお勧めします。

- 11 [OK] をクリックします。
- 12 アプリケーションの印刷画面から印刷を実行します。

重要

- ・ バーコード原稿を拡大・縮小しないでください。拡大・縮小すると、バーコードが認識されないことがあります。
- ・ Acrobat Reader から印刷する場合は、以下の設定をします。
 - [ページサイズ処理] セクションで、[PDF のページサイズに合わせて用紙を選択] チェックボックスのチェックを外します。
 - [向き] は、[縦] を選択します。

マストストレージモード

内容

マストストレージ機能を使用すると、プリンタードライバーをインストールすることなく、USB インターフェースを使用して本機にファイルを送信できます。

この機能は、次の場合に便利です。

- ソフトウェアツールを使用せずに、管理者から配布されたコマンドファイル（.bin ファイル形式）に保存された印刷設定を適用したり、テンプレート（.blf ファイル形式）を本機に追加する
- プリンタードライバーをインストールせずにコマンドを実行する
- データの印刷および送信をする USB ホスト機能を備えたオペレーティングシステム（Windows オペレーティングシステム以外を含む）を搭載したデバイスを使用する

マストレージモードを使う

- 1 必ず本機の電源が入っていないことを確認します。
- 2 (Ⓢ) Wi-Fi ボタンと (Ⓛ) 電源ボタンを同時に長押しします。
本機がマストレージモードで起動し、ステータス表示ランプが緑色に点灯します。
- 3 パソコンまたはデバイスを USB 経由で本機に接続します。
本機のマストレージ領域は、パソコンまたはデバイスの画面上にフォルダーとして表示されます。



メモ

マストレージ領域が自動的に表示されない場合は、パソコンまたはデバイスのオペレーティングシステムの操作説明書でマストレージ領域にアクセスする方法を参照してください。

- 4 コピーするファイルをマストレージエリアにドラッグアンドドロップします。
- 5 WPS ボタンを押します。
コマンドファイル内のコマンドが実行され、ステータス表示ランプがオレンジ色で 1 回点滅します。
完了すると、ステータス表示ランプが緑色に点灯します。
- 6 マストレージモードをオフにするには、本機の電源を切ります。

重要

- ・ 本機がオフになると、マストレージモードは無効になり、マストレージ領域内のファイルはすべて削除されます。
- ・ この機能は .bin と .blf ファイルをサポートしています。他のファイル形式はサポートされていません。
- ・ マストレージ領域にフォルダーを作成しないでください。フォルダーが作成されても、フォルダー内のファイルにアクセスすることはできません。
- ・ マストレージ領域の容量は 2.5 MB です。2 MB を超えるファイルは正しく動作しない可能性があります。
- ・ 複数のファイルがコピーされた場合、コマンドの実行順序は保証されません。
- ・ 本機がマストレージモードで動作している間は、有線 LAN、Bluetooth、無線 LAN は使用できません。
- ・ コピーしたファイルを実行しているときは、マストレージ領域の他のファイルにアクセスしないでください。



メモ

.blf ファイルの作成方法の詳細については、88 ページの「転送ファイルの作成とパッケージファイルの転送」を参照してください。

JPEG 印刷

プリンタードライバーを使用せずに画像データ（JPEG）を印刷することができます。

メモ

- ・ マスストレージ機能を使用して JPEG 画像を印刷することができます。
- ・ オブジェクトプッシュプロファイル（OPP）は、Bluetooth 接続による印刷で使用されます。
- ・ 本機は、カラー JPEG 画像をディザリング処理で「白黒」画像に変換します。
- ・ すでに「白黒」の JPEG 画像を送信すると、このディザリング処理によって印刷された画像がぼやけてしまうことがあります。
- ・ 画質を向上させるには、JPEG 画像の前処理をオフにしてください。

- JPEG 画像以外は印刷できません。（拡張子が .jpg のファイルに限る）
- 最大ファイルサイズは 5 MB です。
（マスストレージ機能を使用する場合は 2 MB）
- 最大解像度は次のとおりです。
高さ × 幅 = 12000 × 1164 ドット
制限を超えると、本機で受信したデータは破棄され、印刷もされません。
- 印刷サイズの単位は 1 ピクセル = 1 ドットです。
- 本機は、画像を印刷するためにバイナリ処理（単純バイナリ）を実行します。
- 画像は、受信データの高さ と 幅 の比率で印刷されます。

分散印刷

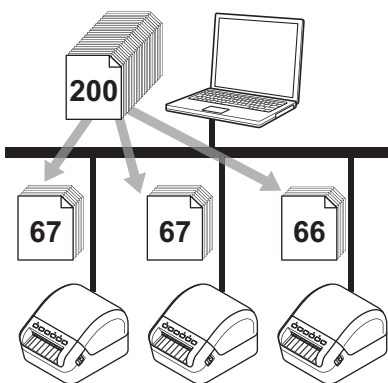
多数のラベルを印刷する場合、USB またはネットワーク接続を経由して接続された複数のラベルプリンターに印刷を配分することができます。

同時に印刷を行うので、印刷時間を短縮することができます。



メモ

ページ数は、選択したラベルプリンター間で自動的に分割されます。指定されたページ数がラベルプリンター間で均等に分割できない場合、ダイアログボックスに一覧表示される順に割り当てられます。

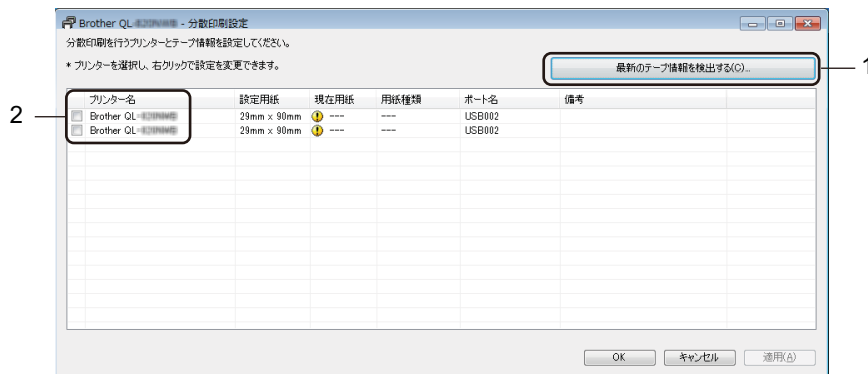


- 1 P-touch Editor の [ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
- 2 [プロパティ ...] をクリックします。

- ③ [拡張設定] タブをクリックし、[分散印刷を適用する] チェックボックスを選択して、[設定] をクリックします。



4 [分散印刷設定] ダイアログボックスで、分散印刷に使用するラベルプリンターを選択します。



1. [最新のテープ情報を検出する] をクリックします。
[現在用紙] および [用紙種類] の下に検出された現在の本体情報が表示されます。
2. [プリンター名] の横にあるチェックボックスで使用するものを選択します。

メモ

- ・ 選択したラベルの幅が [現在の用紙] に表示されている幅と異なる場合、 アイコンが表示されます。
[設定用紙] で指定したラベル幅でラベルプリンターをロードします。
- ・ 複数のラベルプリンターが接続されている場合は、そのポート名を使用して、必要なラベルプリンターを見つけることができます。ポート名の BRNxxxxxxxxxxxx の xxxxxxxxxxxx は、本機の MAC アドレス / イーサネットアドレスを示します。MAC アドレス / イーサネットアドレスは、本機のセットアップ情報を印刷することで確認できます。詳細については、59 ページの「本体設定を確認する」を参照してください。

5 ラベルサイズを指定します。

■ ラベルプリンターが1つだけ選択されている場合

手順 ④ の [分散印刷設定] ダイアログボックスで、設定を指定するラベルプリンターを選択し、ダブルクリックするか、または右クリックして [設定] をクリックします。[設定用紙] ドロップダウンリストから、ラベルサイズを選択します。



メモ

手順 ④ の [分散印刷設定] ダイアログボックスに表示される情報は、[備考] 欄で入力できます。

■ 複数のラベルプリンターが選択されている場合

手順 ④ の [分散印刷設定] ダイアログボックスで、設定を指定するラベルプリンター（複数）を選択し、右クリックして [設定] をクリックします。[設定用紙] ドロップダウンリストから、ラベルサイズを選択します。同じラベルサイズ設定が、選択したすべてのラベルプリンターに適用されます。



メモ

複数台を設定する場合は、[印刷設定] と [備考] 欄は使用できません。

6 [OK] をクリックして、ラベルサイズ設定画面を閉じます。

7 [OK] をクリックして、[分散印刷設定] 画面を閉じます。

8 [OK] をクリックして、[プロパティ] 画面を閉じます。
分散印刷設定が終了しました。

9 P-touch Editor の [印刷] ボタンをクリックすると、分散印刷が開始されます。



メモ

- ・ USB ハブまたはプリントサーバーを使用して接続されているラベルプリンターの情報が検出できない場合があります。印刷する前に、手動で設定を入力し、ラベルプリンターで印刷できるかどうかを確認します。
- ・ 実際にお使いの環境で接続テストを実行することをお勧めします。情報技術管理者または管理者に確認してください。



アプリケーション

ラベル作成ソフトウェア「P-touch Editor」の使用方法	74
ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」と ラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法	78
ファイル簡易転送ソフトウェア「P-touch Transfer Express」でテンプレートデータを転送する	95
P-touch ソフトウェアの更新方法	103

ラベル作成ソフトウェア「P-touch Editor」 の使用方法

パソコンでラベルプリンターを使用するには、ラベル作成ソフトウェア「P-touch Editor」とプリンタードライバをインストールする必要があります。

最新のドライバとソフトウェアをダウンロードするには、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://www.brother.co.jp/support/>）にアクセスしてください。

製品を選択し、[ソフトウェアダウンロード] を選択します。

P-touch Editor を起動する

1 P-touch Editor を起動します。

■ Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：

[スタート] ボタンから、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch Editor 5.2] をクリックするか、またはデスクトップの [P-touch Editor 5.2] アイコンをダブルクリックします。

■ Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：

[アプリ] 画面で [P-touch Editor 5.2] をクリックするか、またはデスクトップの [P-touch Editor 5.2] をダブルクリックします。

■ Windows 10 / Windows Server 2016 の場合：

[スタート] ボタンから、[Brother P-touch] - [P-touch Editor 5.2] をクリックするか、またはデスクトップの [P-touch Editor 5.2] をダブルクリックします。

2 P-touch Editor が起動したら、新しいレイアウトを作成するか既存のレイアウトを開くかを選択します。

メモ

起動時の P-touch Editor の動作を変更するには、P-touch Editor のメニューバーで [ツール] - [オプション] をクリックして、[オプション] ダイアログボックスを表示します。左側で、[全般] 見出しを選択してから、[起動時の設定] 下の [動作] リストボックスで希望の設定を選択します。デフォルト設定は、[新規ビューを表示] です。

③ 表示されたオプションを1つ選択します。

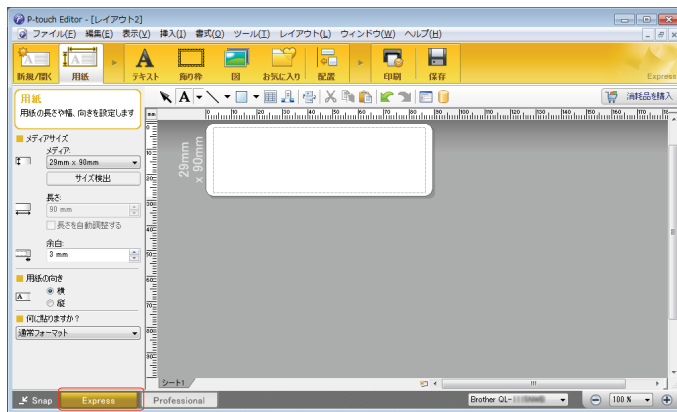


- 1 新しいレイアウトを作成するには、[新しいレイアウト] をダブルクリックするか、[新しいレイアウト] を選択して [→] をクリックします。
- 2 プリセットレイアウトを使用して新しいレイアウトを作成するには、希望のカテゴリボタンをダブルクリックするか、希望のカテゴリボタンを選択して [→] をクリックします。
- 3 プリセットレイアウトをデータベースに接続するには、[データベースを接続する] の隣のチェックボックスを選択します。
- 4 既存のレイアウトを開くには、[開く] をクリックします。

P-touch Editor を使用して印刷する

■ Express モード

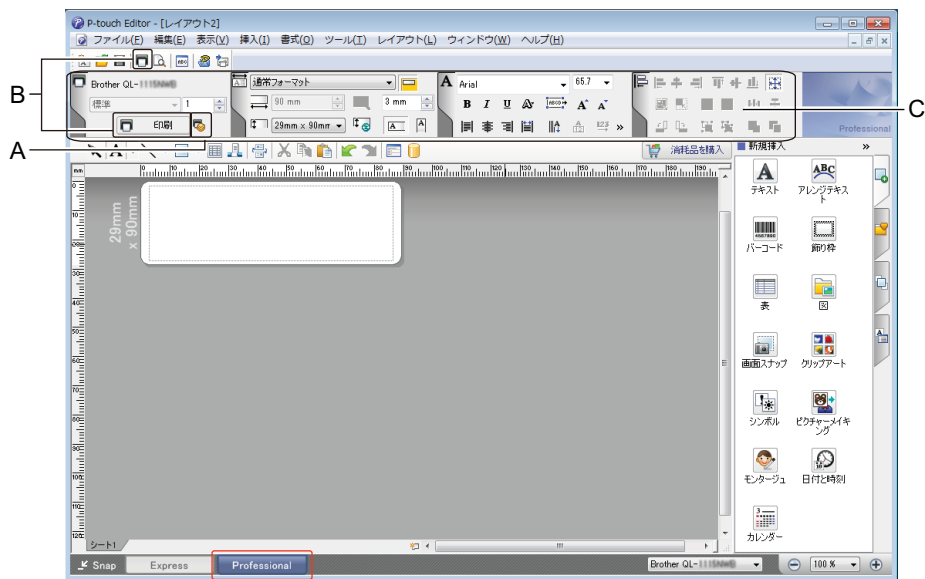
このモードでは、テキストや画像を含んだレイアウトを素早く作成できます。



印刷する前に「印刷」画面で印刷設定を実施してください。メニューバーの「ファイル」から「印刷」を選択するか、または「印刷」アイコンをクリックすることで印刷できます。

■ Professional モード

このモードでは、幅広い高度なツールとオプションを使用して、レイアウトを作成できます。



印刷する前に「印刷」画面で印刷設定を実施してください。メニューバーの「ファイル」から「印刷」を選択するか、または「印刷」アイコン（A）をクリックすることで印刷できます。

さらに、「印刷」アイコン（B）をクリックすると、印刷設定を変更せずに印刷を開始できます。

テキストなどオブジェクトの属性を設定するには、プロパティパレット（C）を表示させます。

メニューバーの「表示」から「プロパティパレット」をクリックし、表示させたいプロパティパレットを選択します。

画面上に表示されたタブをクリックすると、プロパティパレットが表示されます。

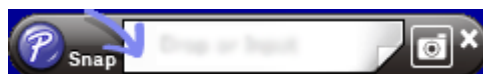
■ Snap モード

このモードでは、パソコンの画面表示の全部または一部を取り込み、画像として印刷し、今後使用するために保存することができます。

- 1 [Snap] モード選択ボタンをクリックします。
[Snap モードの説明] ダイアログボックスが表示されます。



- 2 [OK] をクリックします。
Snap モードパレットが表示されます。



本機にデータを転送する

本機にデータを転送するには、P-touch Transfer Manager を使用してください。詳細については、78 ページの「P-touch Transfer Manager」を参照してください。

ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法

P-touch Transfer Manager

このプログラムを使用して、テンプレートやその他のデータをラベルプリンターに転送し、データのバックアップをパソコンに保存することができます。

まず、P-touch Transfer Manager はラベルプリンターにデータを転送し、次に P-touch Template はテンプレートに挿入されて印刷されるテキストデータを送信します。P-touch Template 機能の詳細については、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://www.brother.co.jp/support/>）から「P-touch テンプレートマニュアル/ コマンドリファレンス」をダウンロードしてください。製品を選択し、[製品マニュアル] を選択します。

P-touch Template を使用するには転送機能が必要です。

テンプレートデータはネットワーク経由でも転送できます。

P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する

P-touch Transfer Manager を使用するには、まず P-touch Editor で作成したテンプレートを P-touch Transfer Manager に転送する必要があります。

- ① P-touch Editor で、目的のテンプレートを開きます。
 - ② [ファイル] - [テンプレートの転送] - [転送] をクリックします。
- P-touch Transfer Manager が起動すると、メイン画面が表示されます。

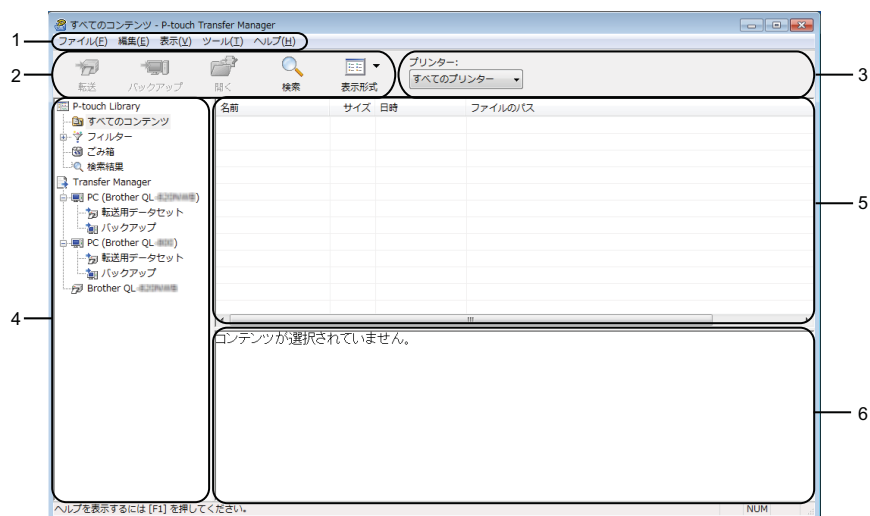


メモ

次の方法で P-touch Manager を起動することもできます。

- ・ **Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合 :**
[スタート] ボタンから、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch ツール] - [P-touch Transfer Manager 2.3] をクリックします。
- ・ **Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合 :**
[アプリ] 画面で [P-touch Transfer Manager 2.3] をクリックします。
- ・ **Windows 10 / Windows Server 2016 の場合 :**
[スタート] ボタンから、[Brother P-touch] 下の [P-touch Transfer Manager 2.3] をクリックします。

メイン画面



1 メニューバー

機能に応じて各メニュータイトル（[ファイル]、[編集]、[表示]、[ツール]、および [ヘルプ]）下にグループ化されたさまざまなコマンドにアクセスできます。

2 ツールバー

頻繁に使用されるコマンドへアクセスできます。

3 プリンターセレクト

データを転送するラベルプリンターを選択することができます。ラベルプリンターを選択すると、送信できるデータだけがデータリストに表示されます。

4 フォルダーリスト

フォルダーとラベルプリンターのリストを表示します。フォルダーを選択すると、選択したフォルダーのテンプレートがテンプレートリストに表示されます。

ラベルプリンターを選択すると、ラベルプリンターに保存されているテンプレートやその他のデータが表示されます。

5 テンプレートリスト

選択されたフォルダー内のテンプレートリストを表示します。

6 プレビュー

テンプレートリストにあるテンプレートのプレビューを表示します。

ツールバーアイコンの説明

アイコン	ボタン名	機能
	転送	テンプレートやその他のデータをパソコンからラベルプリンターに転送します。
	転送ファイル保存 (ラベルプリンターに接続されていない場合)	他のアプリケーションに転送するデータのファイル形式を変更します。 マストレージモード (USB) を使用してラベルを印刷する場合、または BRAdmin Professional (LAN または Wi-Fi) または Mobile Transfer Express (Wi-Fi) を使用してデータを転送する場合に、ファイル名の拡張子に「BLF」を選択します。Transfer Express (USB) を使用してデータを転送する場合は、「PDZ」を選択します。 使用可能なインターフェイスは、使用している機種によって異なります。
	バックアップ	ラベルプリンターに保存されたテンプレートデータやその他データを検索し、パソコンに保存します。
	開く	選択したテンプレートデータを開きます。
	検索	P-touch Library に登録されているテンプレートデータやその他データを検索できます。
	表示形式	ファイル表示形式を変更します。

テンプレートやその他のデータをパソコンからラベルプリンターに転送する

次の手順を使用して、テンプレート、データベース、画像をパソコンからラベルプリンターに転送します。

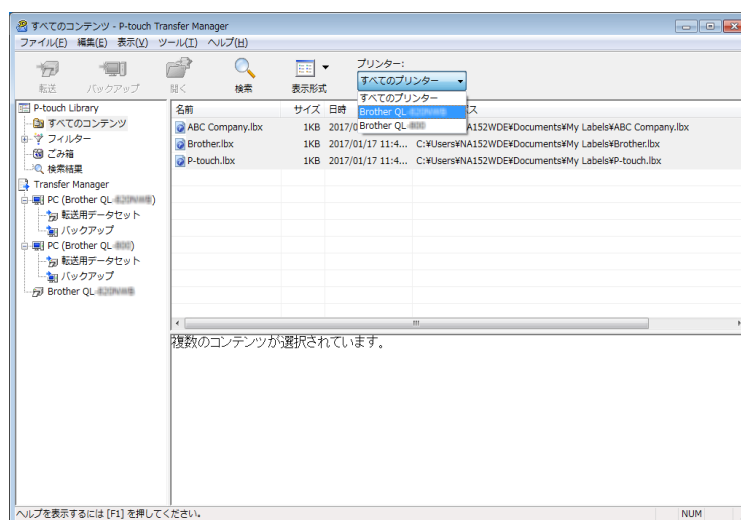
- 1 パソコンとラベルプリンターを USB で接続し、ラベルプリンターの電源を入れます。
フォルダー表示のプリンターアイコンの横にラベルプリンターの機種名が表示されます。
フォルダー表示でラベルプリンターを選択すると、ラベルプリンターに保存されているテンプレートやその他データが表示されます。



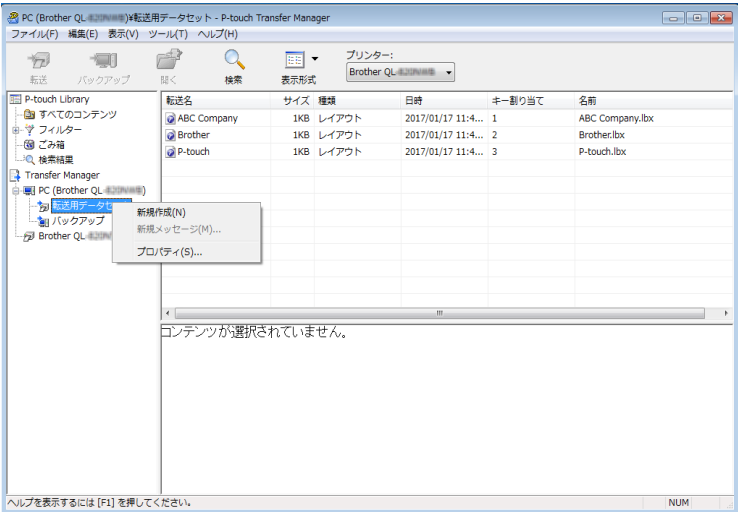
メモ

- ・ ラベルプリンターが切断されているまたはオフラインの場合は、フォルダー表示に表示されません。
- ・ データを転送する前に、USB ケーブルまたは無線接続を使用してパソコンとラベルプリンターが正しく接続されていること、およびラベルプリンターの電源が入っていることを確認してください。

- 2 テンプレートやその他データを転送するラベルプリンターを選択します。



- ③ [転送用データセット] フォルダを右クリックし、[新規作成] を選択して新しいフォルダを作成します。



- ④ 転送するテンプレートなどのデータをドラッグし、新しいフォルダに入れます。

転送機能仕様

データタイプ	転送可能な最大項目数	制限の詳細
テンプレート	255	各テンプレートには最大 50 オブジェクトを収納できます。
データベース	99	■ 転送する 1 テンプレートあたり最大 65,000 行（タイトル行を含む）のデータベースと連携できます。
画像 （ユーザー定義文字） （P-touch Template 機能で使用できま す）	99	■ *.bmp ファイルのみを転送できます。 ■ モノクロ *.bmp ファイルを推奨します。 ■ サイズ制限は 2048 × 2048 ピクセルです。 ■ 幅の広い画像は切り捨てられる場合があります。

メモ

印刷設定レポートを印刷して、転送ファイルメモリー内の空き容量を確認できます。詳細については、59 ページの「本体設定を確認する」を参照してください。

使用可能領域¹については、レポートの [RomFree] を参照してください。

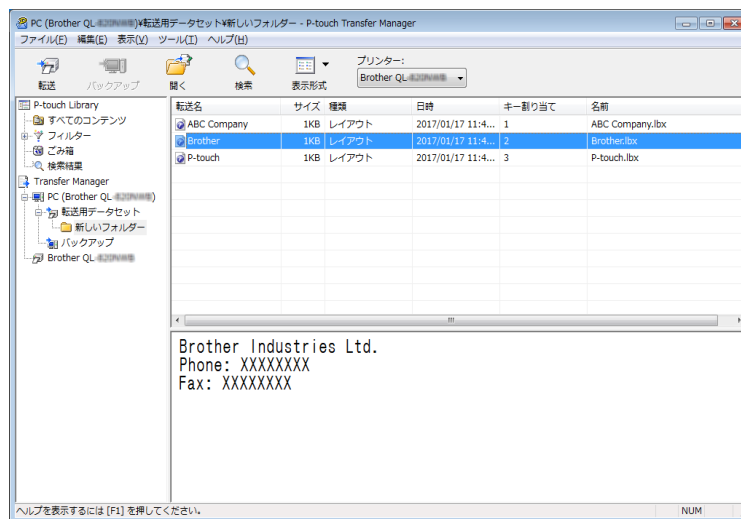
¹ RomFree:***** バイト」に表示される空き容量は、実際の使用可能スペースと異なる場合があります。

次のいずれかを選択すると、テンプレートやその他データを表示することができます。

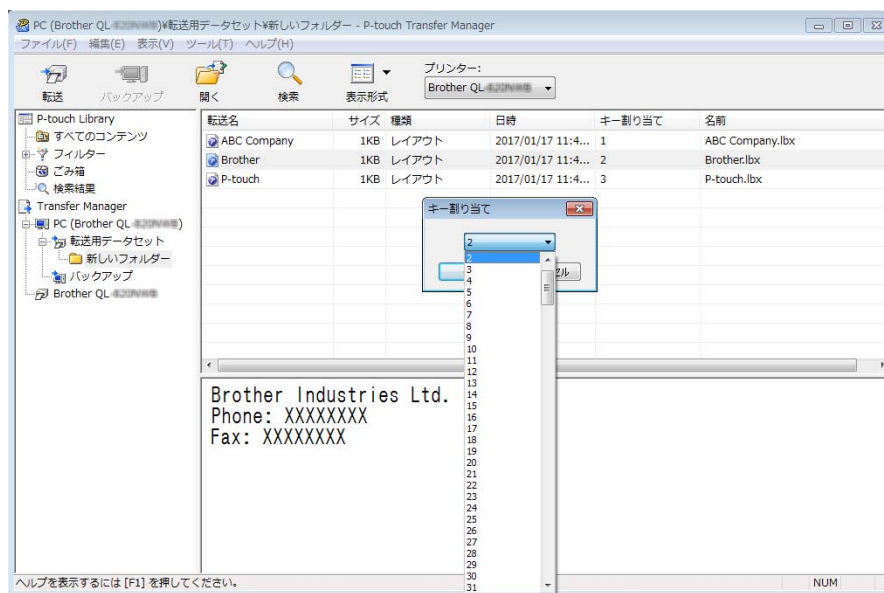
- [転送用データセット] フォルダー内のフォルダー
- [すべてのコンテンツ]
- [レイアウト] などの [フィルター] 下のカテゴリーの 1 つです。

複数のテンプレートやその他データを転送する場合は、転送するすべてのファイルをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。

ファイルを新しいフォルダーに入れると、キー番号（ラベルプリンター内のメモリ位置）が割り当てられます。



- 5 割り当てられているキー番号を変更するには、項目を右クリックして「キー割り当て」を選択し、希望のキー番号を選択します。

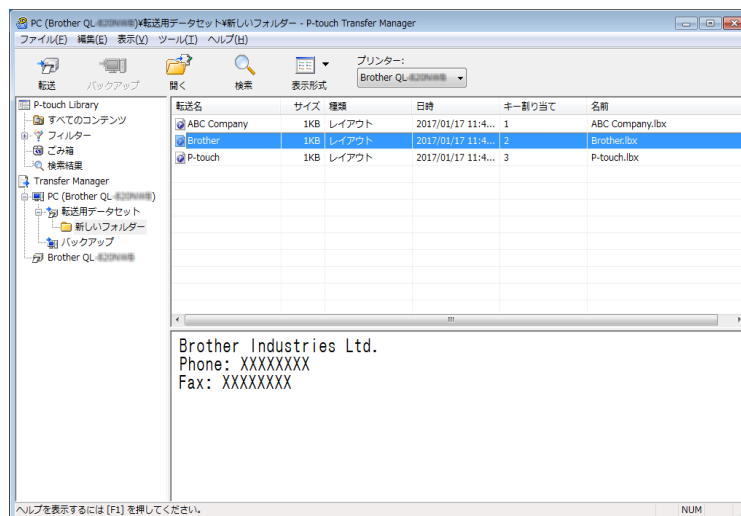


メモ

- データベース内のデータを除いて、ラベルプリンターに転送されるすべてのデータにはキー番号が割り当てられます。
- ラベルプリンターに転送されたテンプレートまたはその他のデータがすでにプリンター内に保存されている他のテンプレートと同じキー番号を持つ場合、新しいテンプレートは古いものを上書きします。テンプレートやその他のデータをバックアップすることで、ラベルプリンターに保存されているテンプレートのキー番号を確認できます。詳細については、86 ページの「ラベルプリンターに保存されたテンプレートやその他のデータのバックアップ」を参照してください。
- ラベルプリンターのメモリがいっぱいの場合は、ラベルプリンターのメモリから 1 つまたは複数のテンプレートを削除します。詳細については、86 ページの「ラベルプリンターに保存されたテンプレートやその他のデータのバックアップ」を参照してください。

- 6 転送するテンプレートまたはその他のデータの名前を変更するには、希望の項目をクリックし、新しい名前を入力します。ラベルプリンターの機種によって、テンプレート名に使用される文字数が制限される場合があります。

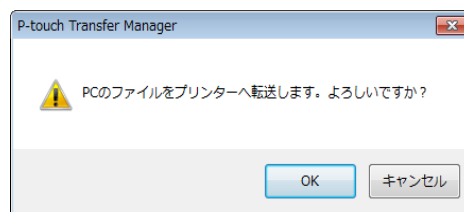
- 7 転送するテンプレートやその他データを含むフォルダーを選択し、[転送] をクリックします。確認メッセージが表示されます。



メモ

- 個々の項目をフォルダーに追加せずにラベルプリンターに転送することもできます。転送するテンプレートやその他データを選択し、[転送] をクリックします。
- 1回の操作で複数の項目とフォルダーを選択して転送できます。

- 8 [OK] をクリックします。



選択した項目がラベルプリンターに転送されます。

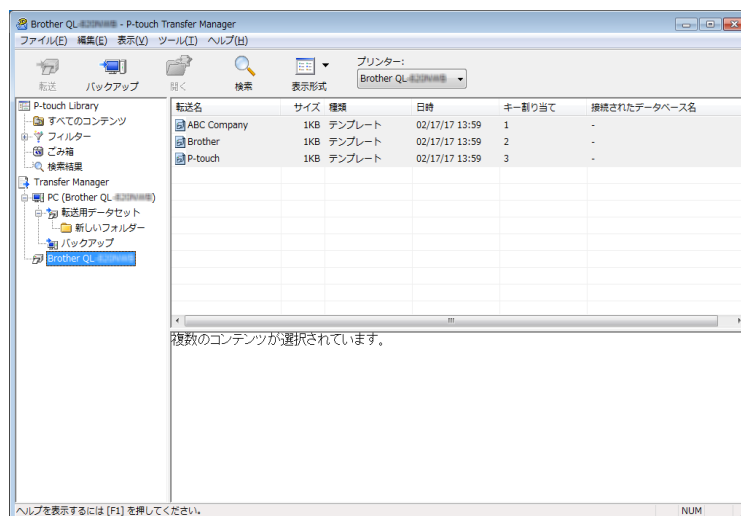
ラベルプリンターに保存されたテンプレートやその他データのバックアップ

次の手順を使用して、ラベルプリンターに保存されたテンプレートデータやその他データを検索し、パソコンに保存します。

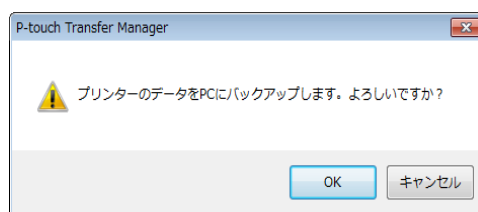
重要

- ・ バックアップされたテンプレートやその他データは、パソコン上で編集することはできません。
- ・ ラベルプリンターの機種によっては、バックアップされたテンプレートまたはデータが、異なる機種間で転送できない場合があります。

- 1 パソコンとラベルプリンターを接続し、ラベルプリンターの電源を入れます。
フォルダー表示のプリンターアイコンの横にラベルプリンターの機種名が表示されます。
フォルダー表示でラベルプリンターを選択すると、ラベルプリンターに保存されているテンプレートやその他データが表示されます。
- 2 バックアップするラベルプリンターを選択し、[バックアップ] をクリックします。
確認メッセージが表示されます。



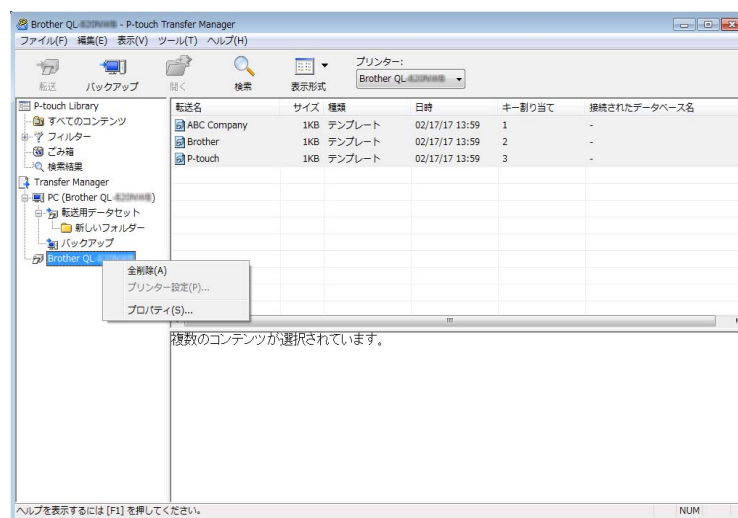
- 3 [OK] をクリックします。
新しいフォルダーがフォルダー表示のラベルプリンター下に作成されます。フォルダー名はバックアップの日時に基づいて付けられます。ラベルプリンターのテンプレートやその他データは、すべて新しいフォルダーに転送され、パソコンに保存されます。



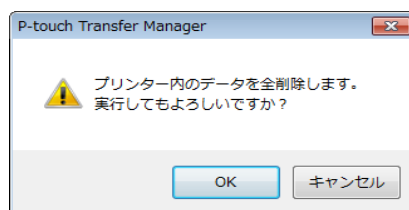
ラベルプリンターデータを削除する

次の手順を使用して、ラベルプリンターに保存されたすべてのテンプレートデータやその他データを削除します。

- 1 パソコンとラベルプリンターを接続し、ラベルプリンターの電源を入れます。
フォルダー表示のプリンターアイコンの横にラベルプリンターの機種名が表示されます。
- 2 ラベルプリンターを右クリックし、[全削除] を選択します。



確認メッセージが表示されます。



- 3 [OK] をクリックします。
ラベルプリンターに保存されているテンプレートやその他データがすべて削除されます。

転送ファイルの作成とパッケージファイルの転送

P-touch Transfer Manager を使用して、P-touch Editor を使用して作成したテンプレートデータを BLF または PDZ 形式で保存できます。これら形式のファイルをパソコンからネットワーク経由でラベルプリンターに転送することができます。また、マストレージモードから BLF 形式のファイルを印刷することもできます。

- 1 P-touch Editor を使用してテンプレートを作成し、P-touch Transfer Manager に転送します。
詳細については、78 ページの「P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する」を参照してください。
- 2 ラベルプリンターをパソコンに接続せずに、[P-touch Transfer Manager] 画面で **転送用データセット** を選択し、次に保存するテンプレートを選択します。



メモ

複数のテンプレートを同時に選択することができます。

- 3 **[ファイル] - [転送ファイル保存]** をクリックします。

重要

[転送ファイル保存] ボタンは、ラベルプリンターがパソコンから切断された場合、またはオフラインの場合にのみ表示されます。



メモ

- ・ **[転送用データセット]** を選択して **[転送ファイル保存]** をクリックすると、フォルダー内のすべてのテンプレートが転送ファイル (.blf) または転送パッケージファイル (.pdz) として保存されます。
- ・ 複数のテンプレートを 1 つの転送ファイル (.blf) または転送パッケージファイル (.pdz) にまとめることができます。

- 4 **[別のファイルタイプで保存]** で、目的のテンプレート形式を選択し、名前を入力してテンプレートを保存します。
マストレージモードを使用して印刷する場合、Wireless Direct または無線 LAN を使用してモバイル端末をラベルプリンターに接続する場合は、BLF 形式を選択します。Bluetooth を使用して接続する場合は PDZ 形式を選択します。
テンプレートは転送ファイル (.blf) または転送パッケージファイル (.pdz) として保存されます。

P-touch Library

このプログラムでは、P-touch Editor テンプレートを管理したり、印刷したりできます。

P-touch Library を起動する

■ Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：

[スタート] ボタンから、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch ツール] - [P-touch Library 2.3] をクリックします。

■ Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：

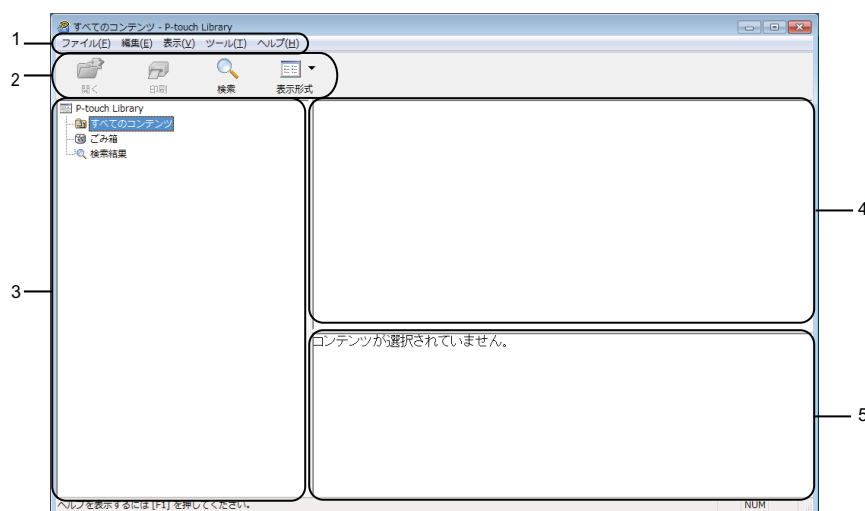
[アプリ] 画面で [P-touch Library 2.3] をクリックします。

■ Windows 10 / Windows Server 2016 の場合：

[スタート] ボタンから、[Brother P-touch] 下の [P-touch Library 2.3] をクリックします。

P-touch Library が起動すると、メイン画面が表示されます。

メイン画面



1 メニューバー

機能に応じて各メニュータイトル（[ファイル]、[編集]、[表示]、[ツール]、および [ヘルプ]）下にグループ化された、利用可能なすべての機能にアクセスできます。

2 ツールバー

頻繁に使用されるコマンドへアクセスできます。

3 フォルダー表示

フォルダーのリストを表示します。フォルダーを選択すると、選択したフォルダーのテンプレートがテンプレートリストに表示されます。

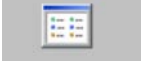
4 テンプレートデータリスト

選択されたフォルダー内のテンプレートリストを表示します。

5 プレビュー

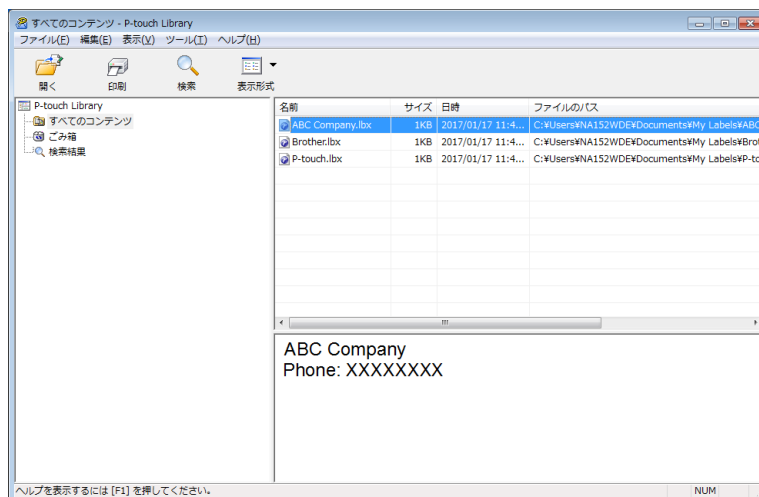
テンプレートリストで選択されたテンプレートのプレビューを表示します。

ツールバーアイコンの説明

アイコン	ボタン名	機能
	開く	選択したテンプレートデータを開きます。
	印刷	ラベルプリンターで選択したテンプレートを印刷します。
	検索	P-touch Library に登録されているテンプレートを検索できます。
	表示形式	ファイル表示形式を変更します。

テンプレートを開いて編集する

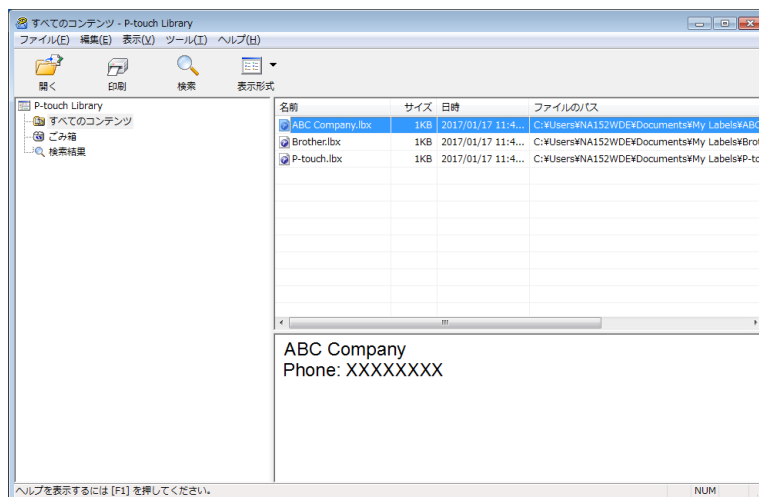
開く、または編集するテンプレートを選択して、[開く] をクリックします。



テンプレートに関連したプログラムが起動して編集が可能になります。

テンプレートを印刷する

印刷するテンプレートを選択して、[印刷] をクリックします。



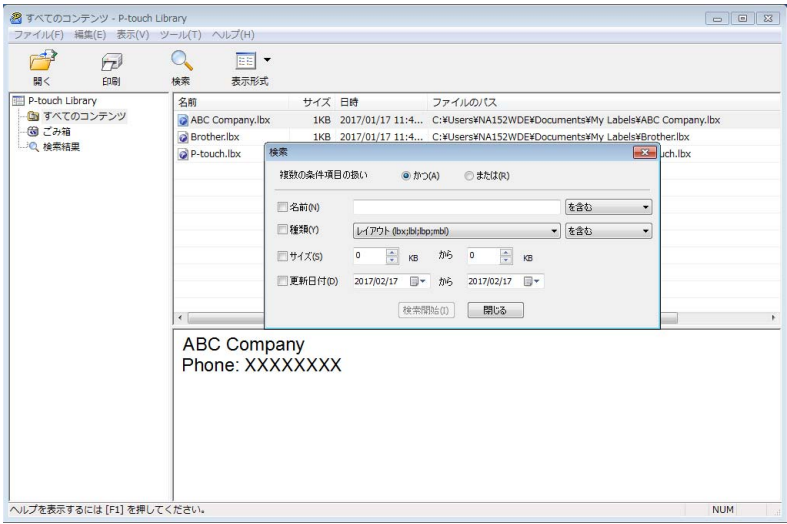
接続しているラベルプリンターから印刷されます。

テンプレートを検索する

P-touch Library に登録されているテンプレートを検索できます。

- 1
- 「検索」をクリックします。

「検索」ダイアログボックスが表示されます。



- 2
- 検索条件を指定します。

次の検索条件が使用できます。

設定	詳細
複数のパラメーター	複数の基準が指定されたときにプログラムがどのように検索するかを決定します。 [AND] を選択すると、プログラムはすべての条件を満たすファイルを検索します。 [OR] を選択すると、条件のいずれかを満たすファイルが検索されます。
名前	ファイル名を指定してテンプレートを検索します。
タイプ	ファイルタイプを指定してテンプレートを検索します。
サイズ	ファイルサイズを指定してテンプレートを検索します。
日付	ファイル日付を指定してテンプレートを検索します。

- 3
- 「検索を開始」をクリックします。

検索が始まり、検索結果が画面に表示されます。

- 4 **〔検索〕** ダイアログボックスを閉じます。
検索結果を確認するには、フォルダー表示の **〔検索結果〕** をクリックします。



メモ

テンプレートを **〔すべてのコンテンツ〕** フォルダーまたはフォルダーリストにドラッグアンドドロップして、テンプレートを P-touch Library に登録することができます。また、次の手順を使用して、P-touch Editor を設定して、テンプレートを P-touch Library に自動的に登録することもできます。

- 1 P-touch Editor メニューから、**〔ツール〕** - **〔オプション〕** を選択します。
- 2 **〔オプション〕** ダイアログボックスで、**〔全般〕** タブの **〔登録条件の設定〕** をクリックします。
- 3 P-touch Editor で作成したテンプレートを登録するタイミングを選択し、**〔OK〕** をクリックします。

ファイル簡易転送ソフトウェア「P-touch Transfer Express」でテンプレートデータを転送する

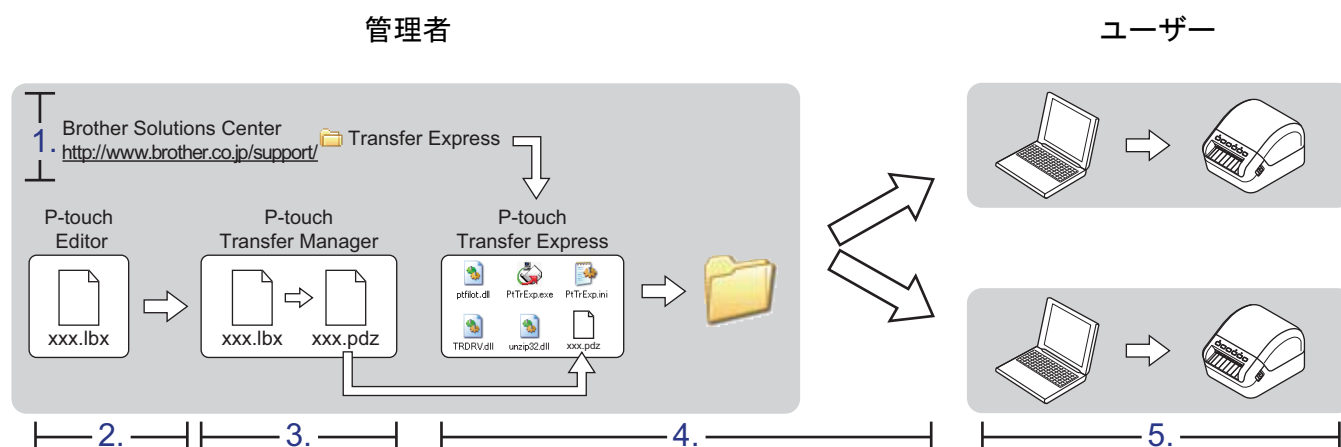
P-touch Transfer Express を使用すると、テンプレートデータをラベルプリンターに転送できます。管理者は、作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Express と一緒にユーザーに配布します。配布されたユーザーは、P-touch Transfer Express を使用して、テンプレートデータをラベルプリンターに直接転送できます。

最新の P-touch Transfer Express は弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://www.brother.co.jp/support/>）からダウンロードできます。

製品を選択し、[ソフトウェアダウンロード] を選択します。

重要

- ・ 新しいテンプレートを転送する場合は、（P-touch Transfer Manager で）使用されていない [キー割り当て] 番号を指定してください。指定した [キー割り当て] 番号が既に使用されている場合、既存のテンプレートは新しいテンプレートで上書きされます。
- ・ この機能には USB 接続が必要です。



P-touch Transfer Express の準備

ユーザーがテンプレートをラベルプリンターに転送するには、P-touch Transfer Express を準備する必要があります。

重要

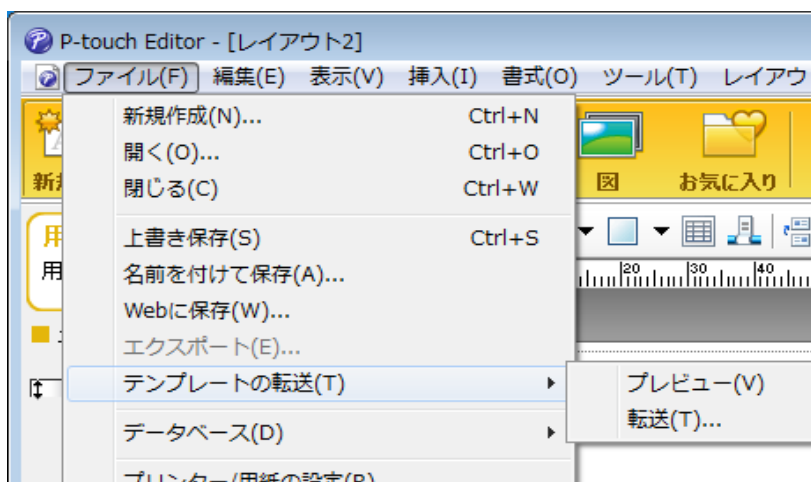
P-touch Transfer Express を使用する前に、プリンタードライバーをインストールする必要があります。

- 1 最新の P-touch Transfer Express は弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://www.brother.co.jp/support/>）からダウンロードできます。
製品を選択し、[ソフトウェアダウンロード] を選択します。

- ② パソコン上の任意の場所に Transfer Express をダウンロードします。
- ③ ダウンロードファイル (.zip) を解凍します。

P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する

- ① P-touch Editor で、目的のテンプレートを開きます。
- ② [ファイル] - [テンプレートの転送] - [転送] をクリックします。



テンプレートが P-touch Transfer Manager に転送されます。
P-touch Transfer Manager が自動的に起動します。

8

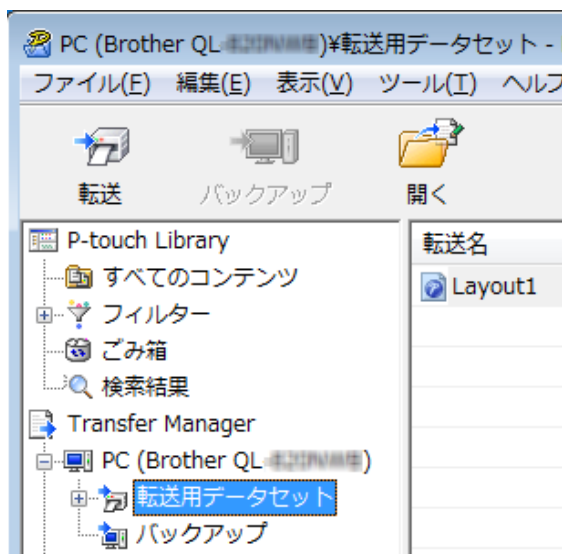
メモ

- ・ **Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：**
[スタート] ボタン - [すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch ツール] - [P-touch Transfer Manager 2.3] をクリックして P-touch Transfer Manager を起動し、.lbx ファイルを P-touch Transfer Manager 画面にドラッグして、テンプレートを P-touch Transfer Manager に転送することもできます。
- ・ **Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：**
[アプリ] 画面で [P-touch Transfer Manager 2.3] をクリックして P-touch Transfer Manager を起動し、.lbx ファイルを P-touch Transfer Manager 画面にドラッグすることで、テンプレートを P-touch Transfer Manager に転送することもできます。
- ・ **Windows 10 / Windows Server 2016 の場合：**
[スタート] ボタン - [Brother P-touch] - [P-touch Transfer Manager 2.3] をクリックして P-touch Transfer Manager を起動し、.lbx ファイルを P-touch Transfer Manager 画面にドラッグして、テンプレートを P-touch Transfer Manager に転送することもできます。

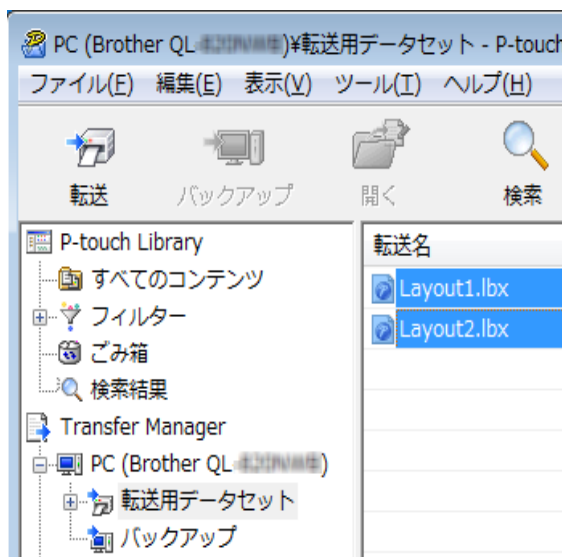
テンプレートを Transfer Package ファイル (.pdz) として保存する

P-touch Transfer Express で使用できる形式でファイルを作成するには、テンプレートを Transfer Package ファイル (.pdz) として保存します。

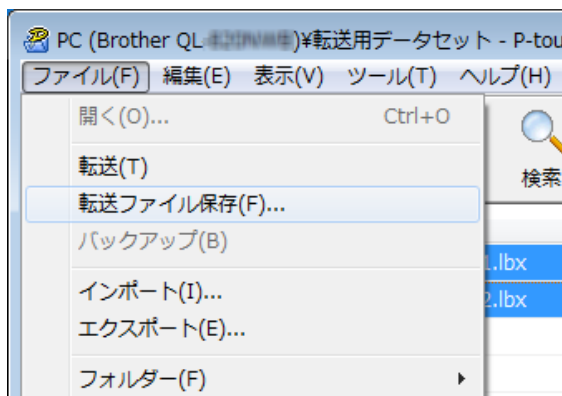
- 1 フォルダー表示で「転送用データセット」を選択します。



- 2 配布するテンプレートを選択します。



③ [ファイル] - [転送ファイル保存] をクリックします。



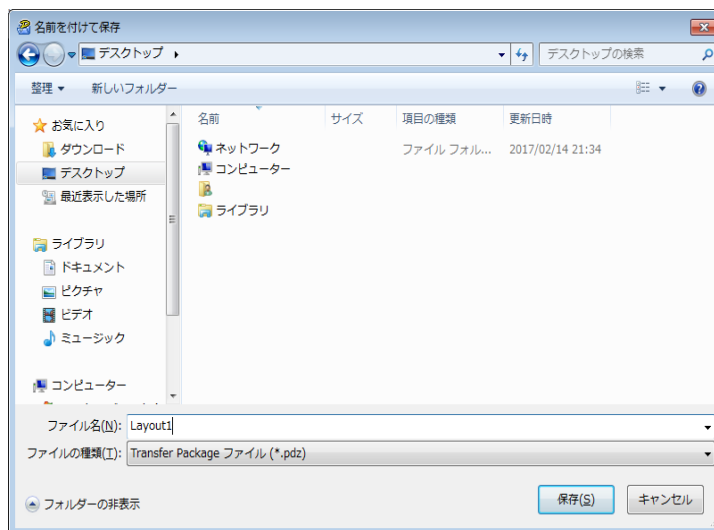
重要

「転送ファイル保存」オプションは、ラベルプリンターがパソコンから切断された場合、またはオフラインの場合にのみ表示されます。

メモ

- ・ [転送用データセット] または作成したフォルダーを選択して [転送ファイル保存] をクリックすると、フォルダー内のすべてのテンプレートが Transfer Package ファイル (.pdz) として保存されます。
- ・ 複数のテンプレートを 1 つの Transfer Package ファイル (.pdz) にまとめることができます。

④ 名前を入力し、[保存] をクリックします。



テンプレートは Transfer Package ファイル (.pdz) として保存されます。

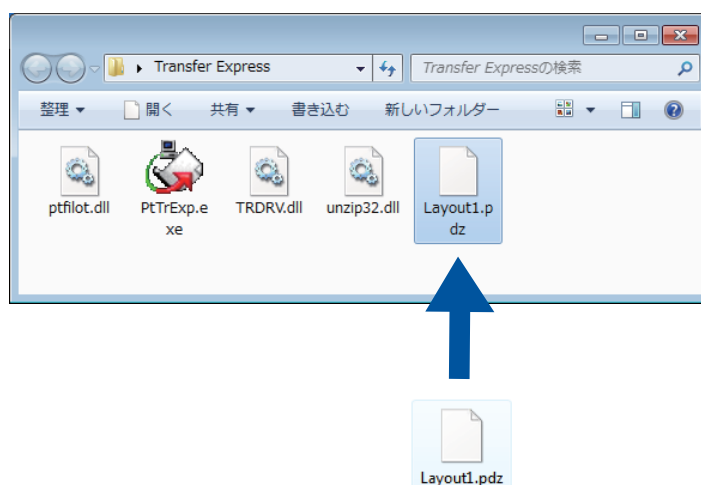
Transfer Package ファイル (.pdz) と P-touch Transfer Express をユーザーに配布する



メモ

ユーザーがすでに P-touch Transfer Express をダウンロードしている場合は、管理者が Transfer Express フォルダをユーザーに送信する必要はありません。この場合、ユーザーはダウンロードしたフォルダーに配布された Transfer Package ファイルを移動し、[PtTrExp.exe] をダブルクリックするだけです。

- 1 Transfer Package ファイル (.pdz) をダウンロードフォルダーに移動します。



- 2 ダウンロードフォルダー内のすべてのファイルをユーザーに配布します。

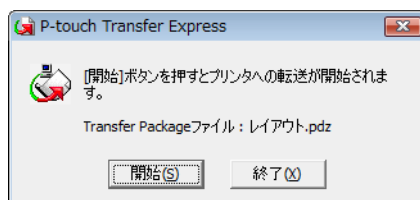
Transfer Package ファイル (.pdz) をラベルプリンターに転送する

管理者から受け取った P-touch Transfer Express アプリケーションを使用して、Transfer Package ファイル (.pdz) をラベルプリンターに転送できます。

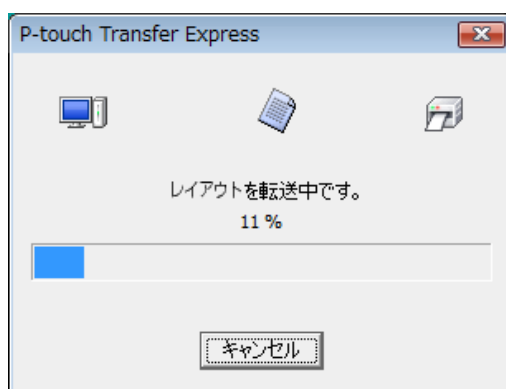
重要

テンプレートを転送するときは電源を切らないでください。

- ① ラベルプリンターの電源を入れます。
- ② USB ケーブルを使用して、ラベルプリンターをパソコンに接続します。
- ③ 管理者から受け取った **[PtTrExp.exe]** ファイルをダブルクリックします。
- ④ Transfer Package ファイル (.pdz) を転送します。
 - 1 つの Transfer Package ファイル (.pdz) を転送する場合
 - 1 **[PtTrExp.exe]** を含むフォルダー内に Transfer Package ファイル (.pdz) が 1 つある場合は、**[転送]** をクリックします。

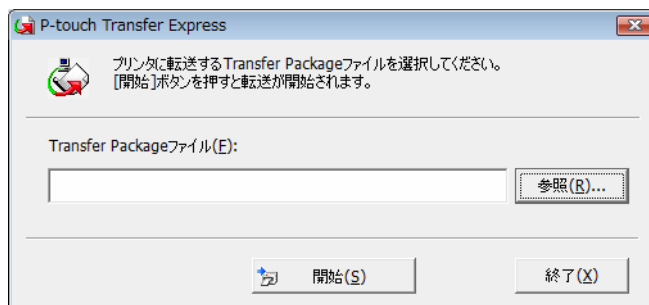


- 2 Transfer Package ファイルの転送が開始されます。

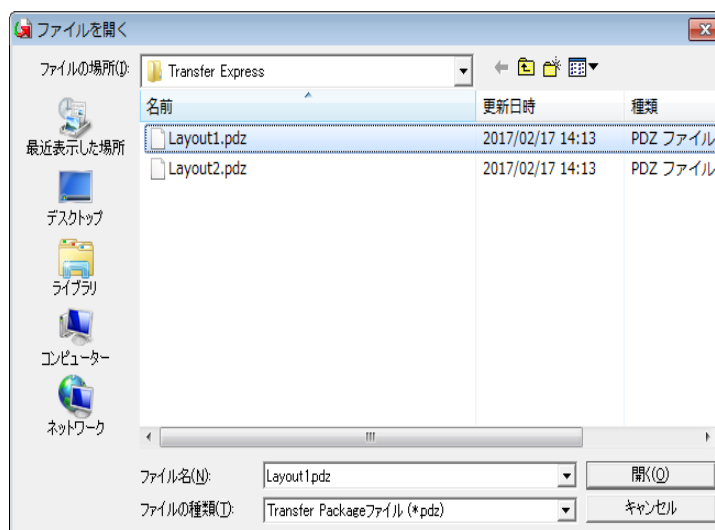


■ 複数の Transfer Package ファイル (.pdz) を転送する場合

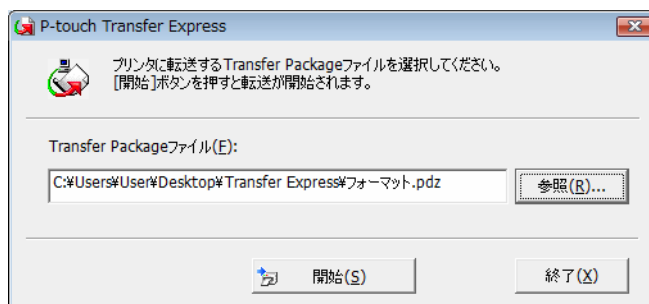
- 1 [PtTrExp.exe] を含むフォルダー内に Transfer Package ファイル (.pdz) が複数ある場合は、[参照] をクリックします。



- 2 転送する Transfer Package ファイルを選択して、[開く] をクリックします。

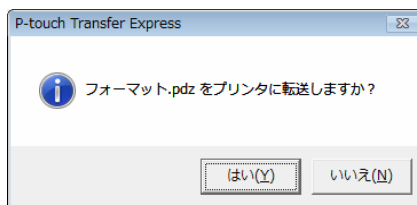


- 3 [開始] をクリックします。

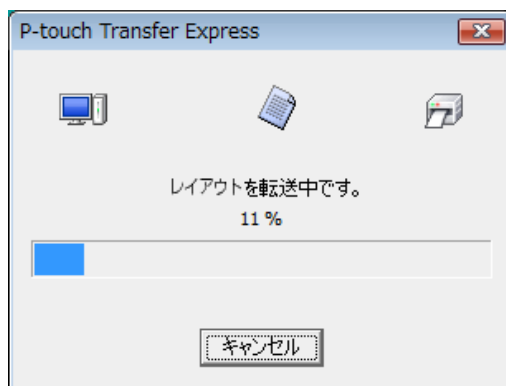


ファイル簡易転送ソフトウェア「P-touch Transfer Express」でテンプレートデータを転送する

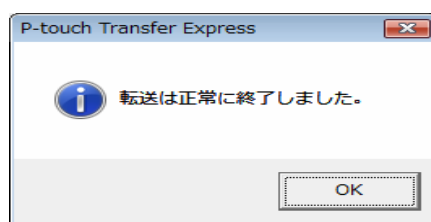
4 「はい」をクリックします。



5 Transfer Package ファイルの転送が開始されます。



5 転送が完了したら「OK」をクリックします。



P-touch Update Software を使用して、ソフトウェアを最新のバージョンにアップグレードできます。



メモ

- ・ 実際のソフトウェアと本書の内容は異なる場合があります。
- ・ データの転送中またはファームウェアの更新中は、電源を切らないでください。

P-touch Editor を更新する

重要

P-touch Editor を更新する前に、プリンタードライバーをインストールしてください。

1

P-touch Update Software を起動します。

■ Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：

[P-touch Update Software] アイコンをダブルクリックします。



メモ

次の方法で P-touch Update Software を起動することもできます。

[スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch Update Software] を選択します。

■ Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：

[アプリ] 画面で [P-touch Update Software] をクリックするか、またはデスクトップの [P-touch Update Software] をダブルクリックします。

■ Windows 10 / Windows Server 2016 の場合：

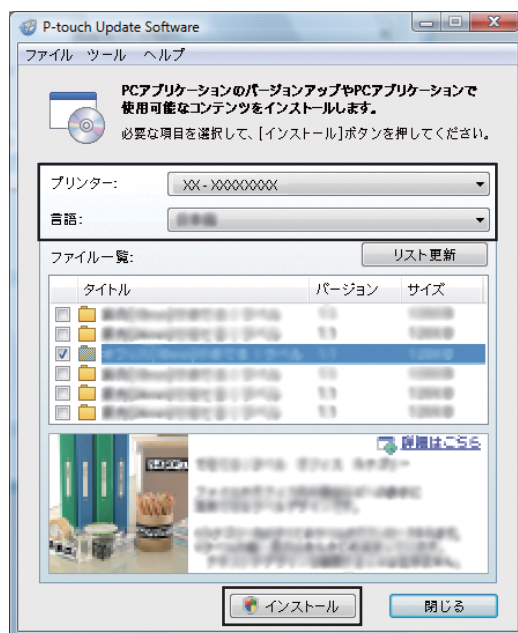
[スタート] ボタンから [Brother P-touch] - [P-touch Update Software] をクリックするか、またはデスクトップの [P-touch Update Software] をダブルクリックします。



2 [PC 系アップデート] アイコンをクリックします。



3 [プリンター] と [言語] を選択し、P-touch Editor の隣にあるチェックボックスを選択し、[インストール] をクリックします。



4 インストールが完了したことを示すメッセージが表示されます。

P-touch Editor とファームウェアの更新

重要

- ・ ファームウェアを更新する前にプリンタードライバーをインストールしてください。
- ・ データの転送中またはファームウェアの更新中は、電源を切らないでください。
- ・ 他のアプリケーションが起動している場合は終了させてください。

① ラベルプリンターの電源を入れ、USB ケーブルに接続します。

② P-touch Update Software を起動します。

■ Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：

[P-touch Update Software] アイコンをダブルクリックします。



メモ

次の方法で P-touch Update Software を起動することもできます。[スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch Update Software] を選択します。

■ Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：

[アプリ] 画面で [P-touch Update Software] をクリックするか、またはデスクトップの [P-touch Update Software] をダブルクリックします。

■ Windows 10 / Windows Server 2016 の場合：

[スタート] ボタンから [Brother P-touch] - [P-touch Update Software] をクリックするか、またはデスクトップの [P-touch Update Software] をダブルクリックします。



③ [本体系アップデート] アイコンをクリックします。



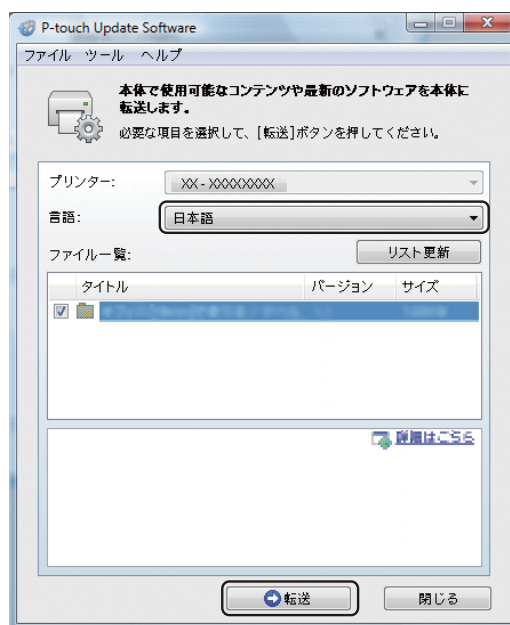
④ [プリンター] を選択し、[本体は正しく接続されています] メッセージが表示されたことを確認して、[OK] をクリックします。



- 5 [言語] を選択し、更新するファームウェアの隣にあるチェックボックスを選択し、[転送] をクリックします。

重要

データ転送中にラベルプリンターの電源を切ったり、ケーブルを抜かないでください。



- 6 更新する内容を確認し、[転送] をクリックして更新を開始します。ファームウェアのアップデートが開始されます。

重要

更新中にラベルプリンターの電源を切ったり、ケーブルを抜かないでください。



ネットワーク

はじめに	109
ラベルプリンターのネットワーク設定を変更する	110
Web Based Management (ウェブブラウザ)	113

10 はじめに

ネットワーク機能

ご使用のラベルプリンターは、内部ネットワーク印刷サーバーを使用して、IEEE 802.11b/g/n 無線ネットワークまたは Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX Auto Negotiation 有線ネットワークで共有できます。印刷サーバーは、実行中の OS に応じて、TCP/IP に対応するネットワーク上の様々な機能および接続方式をサポートします。

ラベルプリンターのネットワーク設定（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ）を変更する

BRAdmin Light ユーティリティを使用する

BRAdmin Light ユーティリティは、弊社のネットワークに接続可能なデバイスの初期設定用に設計されています。また、TCP/IP 環境で弊社製品を検索してステータスを表示し、IP アドレスなどの基本ネットワーク設定を構成することもできます。

BRAdmin Light をインストールする

- 1 弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://www.brother.co.jp/support/>）にアクセスし、ソフトウェアのインストーラーとドキュメントをダウンロードします。
- 2 ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、画面の手順に従ってインストールを行います。インストールする項目を選択するダイアログボックスで、BRAdmin Light を選択します。



メモ

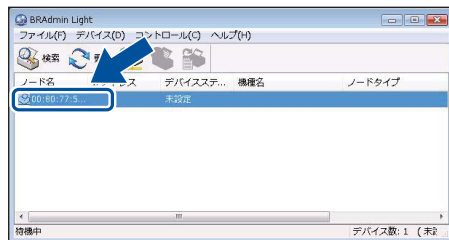
- ・ より高度なラベルプリンターの管理を必要とする場合、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://www.brother.co.jp/support/>）から最新の Brother BRAdmin Professional ユーティリティをダウンロードしてご使用ください。
- ・ ファイアウォール、アンチスパイウェア、またはアンチウィルスソフトウェアを使用している場合、それらを一時的に無効にします。印刷が可能であることを確認した後で、再び有効にします。
- ・ ノード名が現在の BRAdmin Light 画面に表示されます。ラベルプリンターのプリントサーバーのデフォルトのノード名は「BRWxxxxxxxxxxxx」または「BRNxxxxxxxxxxxx」です。（「xxxxxxxxxxxx」は、ラベルプリンターの MAC アドレス / イーサネットアドレスに基づいています。）

BRAdmin Light を使用して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する

- 1 BRAdmin Light ユーティリティを起動します。
 - Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合 :
[スタート] - [すべてのプログラム] - [Brother] - [BRAdmin Light] - [BRAdmin Light] をクリックします。
 - Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合 :
[アプリ] 画面で [BRAdmin Light] アイコンをクリックします。
 - Windows 10 / Windows Server 2016 の場合 :
[スタート] ボタンから、[Brother] 下の [BRAdmin Light] をクリックします。
- 2 BRAdmin Light が新しいデバイスを自動的に検索します。

ラベルプリンターのネットワーク設定を変更する

- ③ 設定されていないデバイスをダブルクリックします。



メモ

DHCP/BOOTP/RARP サーバーを使用しない場合、デバイスは BRAdmin Light ユーティリティ画面に [未設定] と表示されます。

- ④ [IP 取得方法] を [STATIC] に設定します。プリントサーバーの [IP アドレス]、[サブネットマスク]、および [ゲートウェイ] の設定（必要な場合）を入力します。



- ⑤ [OK] をクリックします。
- ⑥ IP アドレスを設定すると、デバイスリストに Brother プリントサーバーが表示されます。

その他の管理ユーティリティー

本機は、BRAdmin Light ユーティリティー以外に次の管理ユーティリティーで使用できます。これらのユーティリティーを使用して、ネットワーク設定を変更できます。

Web Based Management（ウェブブラウザ）を使用する

標準のウェブブラウザを使用すると、HTTP（ハイパーテキストトランスファープロトコル）を使用して印刷サーバーの設定を変更できます。詳細については、114 ページの「Web Based Management（ウェブブラウザ）を使用してラベルプリンター設定を構成する」を参照してください。

BRAdmin Professional ユーティリティーを使用する

BRAdmin Professional は、ネットワークに接続された弊社デバイスのより高度な管理用ユーティリティーです。このユーティリティーはネットワーク上で弊社の製品を検索し、見やすいエクスプローラー型画面でデバイスのステータスを表示できます。この画面では、色を変えて各デバイスのステータスを表示します。ローカルエリアネットワーク（LAN）の Windows からデバイスファームウェアを更新できるほか、ネットワークと本体設定も構成できます。BRAdmin Professional はネットワーク上で弊社のデバイスの動作を記録し、ログデータをエクスポートすることもできます。

詳細とダウンロードについては、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://www.brother.co.jp/support/>）にアクセスしてください。



メモ

- ・ 弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://www.brother.co.jp/support/>）から BRAdmin Professional ユーティリティーの最新版をダウンロードしてご使用ください。
- ・ ファイアウォール、アンチスパイウェア、またはアンチウィルスソフトウェアを使用している場合、それらを一時的に無効にします。印刷が可能であることを確認した後で、再び有効にします。
- ・ ノード名が現在の BRAdmin Professional 画面に表示されます。デフォルトのノード名は、「BRWxxxxxxxxxxxx」または「BRNxxxxxxxxxxxx」です。（「xxxxxxxxxxxx」は、ラベルプリンターの MAC アドレス / イーサネットアドレスに基づいています。）

概要

標準のウェブブラウザを使用して、HTTP でネットワーク上のラベルプリンターを管理できます。Web Based Management を使用すると、次の操作が可能です。

- 本機のステータス情報の表示
- TCP/IP 情報などのネットワーク設定の変更
- ラベルプリンターと印刷サーバーのソフトウェアバージョン情報の表示
- ネットワークと本機の設定詳細の変更



メモ

Microsoft Internet Explorer 9/10/11 を推奨します。

いずれのブラウザを使用している場合でも、JavaScript およびクッキーが常に有効であることを確認してください。

Web Based Management を使用するには、ネットワークで TCP/IP が使用され、本機とパソコンが有効な IP アドレスを持っている必要があります。

Web Based Management (ウェブブラウザ) を使用してラベルプリンター設定を構成する

標準のウェブブラウザを使用すると、HTTP (ハイパーテキストトランスファープロトコル) を使用して印刷サーバーの設定を変更できます。

- 1 ブラウザーのアドレスバーに、本機の IP アドレス (またはサーバー名) を入力します。
例: `http://192.168.1.2`



メモ

パソコンで hosts ファイルを編集した場合、またはドメインネームシステムを使用している場合、印刷サーバーの DNS 名を入力することもできます。印刷サーバーは TCP/IP および NetBIOS をサポートしているので、印刷サーバーの NetBIOS 名を入力することもできます。NetBIOS 名は本機の設定ページに表示されています。NetBIOS 名には、ノード名の最初の 15 文字が割り当てられます。デフォルトでは、「BRNxxxxxxxxxxx」として表示されます。「xxxxxxxxxxx」はイーサネットアドレスです。

- 2 これで印刷サーバーの設定を変更できます。



メモ

パスワードを設定する

Web Based Management への不正アクセスを防止するために、ログインパスワードを設定することを推奨します。

- 1 [ネットワーク管理者] をクリックします。
- 2 使用するパスワードを入力します (32 文字まで)。
- 3 [新しいパスワードの確認] にパスワードを再入力します。
- 4 [OK] をクリックします。
次回 Web Based Management にアクセスするときは、[ログイン] にパスワードを入力し、 をクリックします。
設定後、 をクリックしてログアウトします。

ログインパスワードを設定していない場合、本機のウェブページの [パスワードを設定してください] をクリックすることで、パスワードを設定することもできます。



付録

本機をリセットする	116
お手入れ	118
困ったときは	120
製品仕様	132
弊社ウェブサイトのご案内	134
P-touch Transfer Manager 使用時の注意事項	135
ネットワーク関連の用語と説明	137
P-touch Template 機能設定用バーコード一覧	146
専用のバーコードリーダー（別売品：PA-BR-001）を使用する	150

13 本機をリセットする

本機の動作がうまくいかない場合やすべての保存済みラベルファイルを削除したい場合は、初期設定に戻すことができます。

本機のボタンを使用してすべての設定を工場出荷時の設定にリセットする

本機をリセットするには、次の手順を実施します。

- ① 本機の電源を切ります。
- ② (⌂) カットボタンを押しながら、(⏻) 電源ボタンを長押しします。
ステータス表示ランプがオレンジ色に点灯し、Wi-Fi 表示ランプが緑色で点滅します。
- ③ (⏻) 電源ボタンを押し続けたままリセット内容を選択してください。
 - 通信設定をリセットする場合、(⌂) カットボタンを2回押します。ステータス表示ランプがオレンジ色に点灯します。
 - 転送データと本体設定をリセットする場合、(⌂) カットボタンを4回押します。ステータス表示ランプがオレンジ色に点灯し、Wi-Fi 表示ランプが緑色に点灯します。
 - 本体設定を含むすべての設定をリセットして工場出荷時の設定にする場合、(⌂) カットボタンを6回押します。ステータス表示ランプがオレンジ色に、Wi-Fi 表示ランプが緑色に点灯し、Bluetooth 表示ランプが青色に点灯します。
- ④ (⏻) 電源ボタンを離すと、ステータス表示ランプがオレンジ色に、Wi-Fi 表示ランプが緑色に、Bluetooth 表示ランプが青色にそれぞれ4回点滅します。その後、ステータス表示ランプがオレンジ色に、Wi-Fi 表示ランプが緑色に、Bluetooth 表示ランプが青色に点灯します。

プリンター設定ツールでデータをリセットする

パソコンからプリンター設定ツールを使用して次の操作を本機に行えます。

- テンプレートデータやデータベースを削除する
- 通信設定をリセットする
- 本体設定を工場出荷時にリセットする

詳細については、21 ページの「本体設定を変更する」を参照してください。

14 お手入れ

14

性能を維持するために、定期的に本機のお手入れを行ってください。



メモ

本機をお手入れするときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

本機外観のお手入れ

本機のほこりや汚れは乾いた柔らかい布でふき取ってください。

汚れがひどいときは、水でぬらして固く絞った布でふき取ってください。



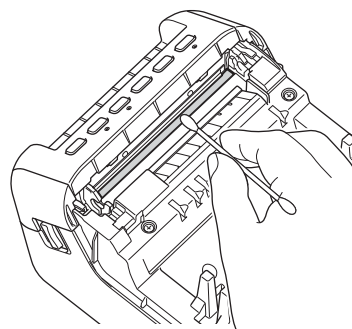
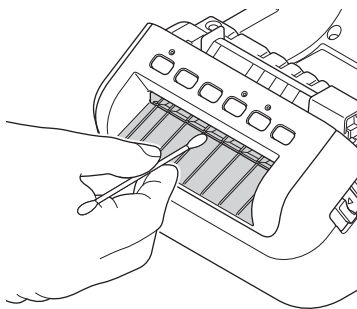
メモ

シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤は使用しないでください。

本機の表面が変形したり、損傷を受ける可能性があります。

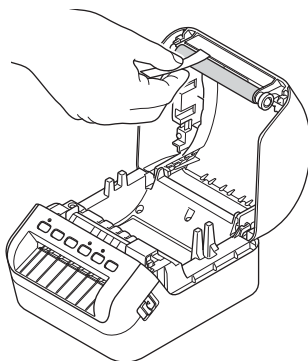
ラベル出カスロットのお手入れ

ラベル出カスロットに付着した粘着物が原因で本機にラベルが詰まる場合は、電源コードを本機から抜いて、アルコールで湿らせた布または綿棒を使用して、粘着物を除去してください。



ローラーのお手入れ

ローラーを掃除する際は、DT あるいは DK ラベルをカットし、ラベルの裏面をはがして、ラベルの粘着面をローラーに貼り付け、汚れをはがし取ってください。



印字ヘッドのお手入れ

本機で使用する DT ロールおよび DK ロール（感熱記録紙タイプ）は、印字ヘッドを自動的に清掃するように設計されています。DT ロールおよび DK ロールが印刷およびラベルフィード中に印字ヘッドを通過すると、印字ヘッドがクリーニングされます。

15 困ったときは

概要

本章では、ラベルプリンターの使用時によくある問題を解決する方法について説明します。ラベルプリンターに問題が起きた場合は、初めに次の内容について、正しく対応しているかどうかを確認してください。

- ラベルプリンターに、電源コードを接続する。詳細については、3 ページの「電源コードを接続する」を参照してください。
- すべての保護材をラベルプリンターから取り外す。
- 正しいプリンタードライバーをインストールし、選択する。詳細については、10 ページの「ソフトウェアとプリンタードライバーをパソコンにインストールする」を参照してください。
- ラベルプリンターをパソコンに接続する。詳細については、11 ページの「本機とパソコンを接続する」を参照してください。
- ロールカバーを完全に閉じる。
- ロールを正しく挿入する。詳細については、4 ページの「DT ロールをセットする」または7 ページの「DK ロールの使い方」を参照してください。

まだ問題が解決しない場合、本章の困ったときの対処方法をお読みください。本章を読んだ後でも問題が解決しない場合は、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://www.brother.co.jp/support/>）をご覧ください。

表示ランプについて

表示ランプは本機の状態を示します。

- / ● / ● / ● 表示色でランプが点灯している。
- / ● / ● / ● 表示色でランプが点滅している。
- ☉ 表示ランプが消灯、または各色で点灯・点滅している。
- ランプが消灯している

ステータス 表示ランプ	Wi-Fi 表示 ランプ	Bluetooth 表 示ランプ	内容
●	●	●	電源 オフ
●	☉	☉	アイドルモード
			初期化処理中モード
			テープ送りモード
			印刷中モード
			カット中モード
			マストレージモード
	●		Wi-Fi で接続されている
	● (1 秒間に 1 回)	☉	WPS 設定中モード
	● (3 秒間に 1 回)		WLAN 設定はオンだが、接続されていない
	●		Wi-Fi オフ
	☉	●	Bluetooth で接続されている
	☉	●	Bluetooth ペ어링中
●	☉	☉	データ受信 ジョブキャンセル中
	●	●	マストレージモードに移行中

ステータス表示ランプ	Wi-Fi 表示ランプ	Bluetooth 表示ランプ	内容
			ロールカバーが開いています。正しく閉めてください。
	 (1 秒に 1 回)		リセットモードが起動しています。詳細については、116 ページの「本機のボタンを使用してすべての設定を工場出荷時の設定にリセットする」を参照してください。
			システムオフモード中
			0.5 秒ごとにオレンジ色に点滅する場合は、本機がクーリング中です。
			プリンターの検索中
			データ上書きモード
			ブートモード ブラザーコールセンターにお問い合わせください。
 (2 秒間に 1 回)			ロール切れ
			ロールがセットされていない
			非対応のロールがセットされている
			フィードエラー
			本機を使用中にロールカバーが開いた
			送信エラー
			メモリの容量が不足している
			アクセスポイント接続エラー
 (2 秒間に 2 回)			セキュリティエラー
			カッターエラー
			マストレージエラー
			USB ホスト電源の過大電圧エラー
 (2.5 秒間に 3 回)			USB ホスト非対応機器接続エラー
			USB ホストの HUB 接続エラー
 (急速に点滅)			システムエラー
			エラーの原因を特定するには、  電源ボタン以外のボタンを押します。点滅のパターンが変わり、エラーの原因が示されます。ブラザーコールセンターにお問い合わせください。

¹ 急速とは、0.3 秒ごとを意味します。

印刷の問題

問題点	対処方法
ステータス表示ランプが点灯しない。	電源コードが正しく差し込まれていますか？ 電源コードが差し込まれていることを確認してください。正しく差し込まれている場合は、別のコンセントに差し込んでみてください。
印刷できない。印刷エラーが表示される。	- USB ケーブルや LAN ケーブル、電源コードが外れていませんか？ しっかり接続されているか確認してください。 - ロールが正しくセットされていますか？ 正しくセットされていない場合は、ロールを取り外して、セットしなおしてください。 - ロールを使い切っていませんか？ ロールが残っているか確認してください。 - ロールカバーが開いていませんか？ ロールカバーが閉じているか確認してください。 - 印刷エラーや送信エラーが発生していませんか？ 本機の電源を切り、再び電源を入れてください。それでもエラーが表示される場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。 - 本機が USB ハブを経由してパソコンに接続されている場合は、パソコンに直接接続してください。パソコンに直接接続していてもエラーが表示される場合は、別の USB ポートに接続してください。
印字ラベルにスジが残る、文字が汚い、ラベルが正しく給紙されない。	印字ヘッドまたはローラーが汚れていませんか？ 印字ヘッドは通常の使用では汚れませんが、ローラーからの糸くずまたは汚れが印字ヘッドに付着することがあります。 このような場合は、ローラーを清掃してください。 詳細については、119 ページの「ローラーのお手入れ」を参照してください。
データ送信エラーがパソコンに表示される。	- 正しいポートが選択されていますか？ プリンターのプロパティ画面で、ポートタブの“印刷するポート”リストで正しいポートが選択されているか確認してください。 - 本機がクーリング中（ステータス表示ランプがオレンジ色に点滅）になっていませんか？ ステータス表示ランプが点滅しなくなるまで待ってから、再び印刷してください。
ラベルがカッター周辺で詰まる。	ブラザーコールセンターにお問い合わせください。
印刷後、ラベルが正しく排出されない。	- ラベルの排出経路がふさがっていないか確認してください。 - ロールを取り外して、セットしなおし、ロールが正しくセットされているか確認してください。 - ロールカバーがきちんと閉じているか確認してください。
現在の印刷ジョブをキャンセルしたい。	本機の電源が入っていることを確認し、(⏻) 電源ボタンを押します。
印刷品質が悪い。	ローラーに汚れや糸くずなどが付着していませんか？ 詳細については、119 ページの「ローラーのお手入れ」を参照してください。

問題点	対処方法
アドイン機能が有効になっているときにロールを交換した後、レイアウトスタイルが更新されない。	・ P-touch Editor を閉じてアドインを終了し、アドインを再度有効にします。
P-touch アドインアイコンが、Microsoft ワードで表示されない。	・ Microsoft ワードを Microsoft Outlook から起動していますか？ ・ Microsoft ワードが Microsoft Outlook のデフォルトエディターとして選択されていますか？ プログラムの制限により、Microsoft ワードアドインは上記の設定では動作しません。Microsoft Outlook を終了し、Microsoft ワードを再起動します。
バッファに受信済みデータあり	印刷データがバッファに残っています。すべてのデータが本機に送信されない場合、印刷が開始されません。 本機の電源を切り、再び電源を入れてください。
ヘッドクーリング中	サーマルヘッドが熱すぎます。 本機が停止して、サーマルヘッドのクーリングが完了した後に印刷を再開します。多数のラベルを印刷すると、ヘッドが熱くなりすぎることがあります。サーマルヘッドが高温になり過ぎると、印刷エリアの外に余分な印刷が発生することがあります。この現象を回避する、または発生頻度を減らすには、本機を密閉された場所ではなく、十分な換気を行える環境でご使用ください。使用する DT ロールおよび DK ロールの種類やラベルに印字する内容によっては、クーリングが発生して通常より印刷時間がかかることがあります。  メモ 高所など空気濃度の薄いところでは、本機を冷やすために利用できる空気が薄いため、このような現象が起きやすくなります。
ロールエラー	以下の項目を確認してください。 ・ 正しい DT ロールまたは DK ロールを使用している。 ・ 十分なラベル残量がある。 ・ DT ロールまたは DK ロールが正しく装着されている。
カッターエラー	カッターエラーが発生した場合は、ロールカバーを閉じたまま、(⏻) 電源ボタンを押します。カッターが正常位置まで戻り、本機の電源が自動的に切れます。本機の電源が切れてから、ラベル出力スロットを点検して、詰まったラベルを取り除きます。
エラーの解除	エラーの解除手順 1 ロールカバーを開け、再び閉めます。 2 エラーが解除されない場合、(✂) カットボタンを押します。 3 それでもエラーが解除されない場合は、本機の電源を切り、電源を入れ直してください。 4 それでもエラーが解除されない場合は、ブラザーコールセンターまでお問い合わせください。
長尺紙テープからプレカットラベルに変えて (⏻) FEED ボタンを押したらエラーになった。	電源オフ / オンでエラーを解除して、そのまま印刷してください。
プレカットラベルから長尺紙テープに変えて (✂) カットボタンを押したらエラーになった。	電源オフ / オンでエラーを解除して、(⏻) FEED ボタンを押してから (✂) カットボタンを押してください。

問題点	対処方法
本機をリセットしたい。	プリンター設定ツールを使用して、パソコンから本機をリセットすることができます。 詳細については、21 ページの「本体設定を変更する」を参照してください。
USB ケーブルを使用して印刷すると、本機が繰り返し一時停止して印刷を続ける。	・ 本機は連続印刷に設定されていますか？ その場合は、印刷モードをバッファ印刷に設定します。 Windows Server 2008 の場合： [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンター] からプリンターのプロパティを開き、対象のラベルプリンターをクリックして [印刷設定を選択] を選択します。 [その他] タブをクリックし、[1 ページのデータを受信した後] オプションを選択します。 Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合： [デバイスとプリンター] からプリンターのプロパティを開き、対象のラベルプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。[その他] タブをクリックし、[1 ページのデータを受信した後] オプションを選択します。 Windows 10 / Windows Server 2016 の場合： [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] からプリンターのプロパティを開き、対象のラベルプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。 [その他] タブをクリックし、[1 ページのデータを受信した後] オプションを選択します。 ・ または、USB 印刷が完了するまで LAN ケーブルを抜いてください。 

問題点	対処方法
印刷されたバーコードが読み取れない。	■ 以下のように、バーコードが印字ヘッドに揃うようにラベルを印刷してください。 1 印字ヘッド 2 バーコード 3 印刷方向 ■ バーコードを拡大 / 縮小すると読み取れないことがあります。 ■ 別のバーコードリーダーを使用してみてください。 ■ [印刷品質] オプションで [品質優先] を選択して、印刷してください。 Windows Server 2008 の場合 [印刷品質] オプションを表示するには、[スタート] ボタンから [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンター] をクリックし、設定したいラベルプリンターを右クリックして [印刷設定] をクリックして [印刷設定] 画面を開きます。 Windows 7 / Windows Server 2008 R2 の場合 [印刷品質] オプションを表示するには、[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックし、設定したいラベルプリンターを右クリックして [印刷設定] をクリックして [印刷設定] 画面を開きます。 Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合 [印刷品質] オプションを表示するには、[アプリ] 画面の [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックし、設定したいラベルプリンターを右クリックして [印刷設定] をクリックして [印刷設定] 画面を開きます。 Windows 10 / Windows Server 2016 の場合 [印刷品質] オプションを表示するには、[スタート] ボタンから [コントロールパネル] - [デバイスとプリンター] をクリックし、設定したいラベルプリンターを右クリックして [印刷設定] をクリックして [印刷設定] 画面を開きます。

問題点	対処方法
P-touch Editor 以外のアプリから印刷したバーコードが読み取れない	印刷するデータが横長の場合は、プリンタードライバーの基本設定タブの用紙方向を横方向に設定してお試しください。 

ネットワーク設定の問題

問題点	対処方法
セキュリティソフトウェアを使用している。	■ インストールダイアログボックスの設定を確認してください。 ■ 本機のインストール中に、セキュリティの許可を促す画面が表示されたら、許可をしてください。
セキュリティの設定（SSID/ ネットワークキー）が正しくない。	正しいセキュリティ設定を再確認し、選択してください。 ■ 無線 LAN アクセスポイント/ ルーターのセキュリティ設定は、初期値として製造メーカー名や機種名が使われている場合があります。 ■ セキュリティ設定の確認方法については、無線 LAN アクセスポイント/ ルーターの取扱説明書をご覧ください。 ■ 上記の方法でセキュリティ情報がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイント/ ルーターの製造メーカー、インターネットプロバイダー、またはネットワーク管理者にお問い合わせください。
本機が無線 LAN または Bluetooth を使用してホストデバイスに接続できない。	■ 無線 LAN ネットワーク設定を構成するときに、接続先デバイスの約 3.3 フィート（1 メートル）以内に本機を置いてください。 ■ 障害物のない場所に本機を置いてください。 ■ ワイヤレスパソコン、Bluetooth 搭載デバイス、電子レンジ、デジタルコードレス電話、またはその他のデバイスが本機または無線 LAN アクセスポイント/ ルーターの近くにある場合は、デバイスを離してください。
本機が無線 LAN または Bluetooth を使用して印刷できない。	
本機と接続先デバイスの間に障害物（壁や家具など）がある場合	障害物のない場所に本機を置いてください。
ワイヤレスパソコン、Bluetooth 対応デバイス、電子レンジ、またはデジタルコードレス電話が、本機または無線 LAN アクセスポイント/ ルーターの近くにある場合	他のデバイスを本機から離します。
MAC アドレスフィルタリングを使用している	プリンター設定レポートを印刷すると、MAC アドレスを確認できます。 詳細については、59 ページの「本体設定を確認する」を参照してください。
無線 LAN アクセスポイント/ ルーターがステルスモードになっている（SSID をブロードキャストしていない）	■ インストール中またはプリンター設定ツール使用中は、正しい SSID 名を入力する必要があります。 ■ 無線 LAN アクセスポイント/ ルーターの取扱説明書での SSID 名を確認し、無線 LAN 設定を再構成してください。

問題点	対処方法
本機がネットワークに正常に接続しない	■ 本機が接続先のモードになっていることを確認してください。 ■ それでも本機が接続されていない場合は、次の手順を試してください。 ・ 無線 LAN 接続の場合  (3 秒ごとに点滅) : ネットワークが正常に接続されておらず、Wi-Fi 設定を再度やり直してください。 ・ Wireless Direct の場合 接続するデバイスから本機を検索してください。 ・ 有線 LAN の場合 LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・ Bluetooth の場合  Bluetooth 表示ランプが点灯している場合は、接続するデバイスから本機を検索してください。
上記のすべてをチェックして試したが、無線 LAN/Bluetooth の設定を完了できない。	本機の電源を切り、再び電源を入れてください。次に、無線 LAN と Bluetooth 設定をもう一度設定してください。
iOS 端末との Bluetooth 接続ができない場合、ラベルプリンターは接続されていません。	自動再接続機能をオンにしてください。 プリンター設定ツールから設定できます。詳細については、21 ページの「本体設定を変更する」を参照してください。

本機がネットワーク経由で印刷できない 正常にインストールした後もネットワーク上に本機が見つからない

問題点	対処方法
セキュリティソフトウェアを使用している。	130 ページの「セキュリティソフトウェアの問題」を参照してください。
本機に使用可能な IP アドレスが割り当てられていない。	■ IP アドレスとサブネットマスクを確認してください。 パソコンと本機の IP アドレスとサブネットマスクが正しく、同じネットワーク上にあることを確認してください。 IP アドレスとサブネットマスクを確認する方法の詳細については、ネットワーク管理者に確認してください。 ■ プリンター設定ツールを使用して、IP アドレス、サブネットマスク、その他のネットワーク設定を確認してください。 詳細については、21 ページの「本体設定を変更する」を参照してください。
以前の印刷ジョブが失敗した。	■ 失敗した印刷ジョブがパソコンの印刷キューに残っている場合は、削除してください。 例：Windows 7 を使用している場合： 、[デバイスとプリンター] を選択し、[プリンターと FAX] から本機を選択します。本機のアイコンをダブルクリックし、[プリンター] メニューの [すべてのドキュメントの取り消し] を選択します。
上記のすべてをチェックして試したが、本機で印刷できない。	プリンタードライバーとソフトウェアをアンインストールし、再インストールしてください。

セキュリティソフトウェアの問題

問題点	対処方法
標準インストール、BRAdmin Light インストール、または印刷中に [セキュリティ警告] ダイアログボックスが表示されたときにアクセスの許可を選択しなかった。	[セキュリティ警告] ダイアログボックスが表示されたときにアクセスの許可を選択しなかった場合、セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能によってアクセスがブロックされている可能性があります。一部のセキュリティソフトウェアでは、[セキュリティ警告] ダイアログボックスを表示せずにアクセスをブロックすることがあります。アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアの取扱説明書をご覧になるか、製造メーカーに確認してください。
弊社のネットワーク機能に不正なポート番号が使用されている。	弊社のネットワーク機能には、次のポート番号が使用されています。 ■ BRAdmin Light→ ポート番号は 161、プロトコルは UDP ポートを開く方法の詳細については、セキュリティソフトウェアの取扱説明書をご覧になるか、製造メーカーに確認してください。

ネットワーク機器の動作確認

問題点	対処方法
本機と無線 LAN アクセスポイント / ルーターがオンにならない。	120 ページにあるすべての手順を実行したことを確認してください。
本機のネットワーク設定、たとえば、IP アドレスなどがわからない。	プリンター設定ツールを確認してください。詳細については、21 ページの「本体設定を変更する」を参照してください。

バージョン情報

問題点	対処方法
本機のファームウェアのバージョン番号を知らない。	次の手順を実施してください。 1 本機の電源を入れます。 2 (⌂) カットボタンを 2 秒以上長押ししてレポートを印刷します。
ソフトウェアの最新バージョンを使用しているかどうかを確認したい。	P-touch Update Software を使用して今のバージョンが最新かどうかを確認してください。 P-touch Update Software の詳細については、103 ページの「P-touch ソフトウェアの更新方法」を参照してください。

16 製品仕様

本機の仕様

サイズ	
寸法	約 170 (W) × 151 (H) × 222 (D) mm
重量	約 1.74 kg (ロールを除く)
表示ランプ	
ステータス表示ランプ、Wi-Fi 表示ランプ、Bluetooth 表示ランプ	
ボタン	
電源ボタン、Feed ボタン、カットボタン、Bluetooth ボタン、Wi-Fi ボタン、WPS ボタン	
印刷	
印刷方式	感熱方式
印字ヘッド	300 dpi / 1296 ドット
印刷解像度	300 dpi × 300 dpi
印刷速度	最高 110 mm/ 秒 実際の印刷速度は条件により異なります。
最大印刷幅	DT ロール : 98.6 mm DK ロール : 98.6 mm 環境 (使用するソフトウェア) に依存します。詳細については弊社サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (http://www.brother.co.jp/support/) をご覧ください。 用紙が斜行すると印字切れになる可能性がありますので、マージンを持ってデータを作成ください。
最小印字長	DT ロール : 25.4 mm DK ロール : 25.4 mm

インターフェース		
USB ポート	Version 2.0 Full Speed B タイプ ペリフェラル	
USB ホスト	HID クラス	
Wi-Fi	・ Wireless Direct : IEEE 802.11g/n ・ インフラストラクチャモード : IEEE 802.11b/g/n ・ WPS 2.0	
LAN ポート	10BASE-T/100BASE-TX	
Bluetooth	バージョン 2.1 + EDR 対応プロファイル : SPP、OPP、BIP、HCRP 対応プロトコル : iAP	
電源		
電源	AC100 V 50/60 Hz 1.8 A	
オートパワーオフ	オフ /1/2/4/8/12 時間 (オートパワーオフ設定を変更するには、21 ページの「本体設定を変更する」を参照してください。)	
その他		
カッター	高耐久性オートカッター	
環境	動作温度 / 湿度	10 °C ~ 35 °C /20% ~ 80% 最大湿球温度 : 27°C
	保存温度 / 湿度	-20 °C ~ 60 °C /5% ~ 95% 最大湿球温度 : 45°C
対応オペレーティングシステム		
すべてのソフトウェアの最新のリストについては、 http://www.brother.co.jp/support/ を参照してください。		

- 「開発者ツール」サイト：<http://www.brother.co.jp/dev/>
- よくあるご質問（Q&A）、製品サポート／テクニカルサポート、ドライバーのアップデート／ユーティリティ：<http://www.brother.co.jp/support/>

本機では使えない機能もあるため、P-touch Editor でテンプレートデータを作成するときは以下の点に注意してください。

作成したテンプレートデータを本機に転送する前に、どのように印刷されるかをプレビューで確認することができます。詳細については、78 ページの「P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する」を参照してください。

テンプレートデータ作成時の注意事項

- 転送されたテンプレートデータの文字によっては、本機に搭載された似たフォントとサイズに置き換わって印刷されることがあります。そのため、印字ラベルが P-touch Editor で作成したイメージとは異なる可能性があります。
- テキストオブジェクトの設定によっては、文字のサイズが自動的に縮小されたり、一部印字されなかったりすることがあります。この場合は、テキストオブジェクトの設定を変更してください。
- P-touch Editor で個々の文字に別々の書式を設定しても、本機ではブロックごとに同じ書式が設定されます。さらに、本機では対応していない文字書式もあります。
- P-touch Editor で背景の設定をしても、本機では対応していません。
- P-touch Editor でスプリット印刷機能（複数のラベルを並べると大きな文字のラベルになるように印刷する機能）を使って作成したレイアウトは、本機に転送できません。
- 印刷可能範囲内のラベルだけ印刷されます。
- 印刷範囲からはみ出した部分は印刷されない場合があります。

テンプレートデータ転送時の注意事項

- 印字ラベルは、P-touch Transfer Manager のプレビューで確認したイメージとは異なる可能性があります。
- 本機が対応していないバーコードを転送した場合、二次元コードは画像に変換されます。画像に変換されたバーコードは編集できません。
- 本機で編集できないオブジェクトが転送されると、すべて画像に変換されます。
- グループ化されたオブジェクトは 1 つの bitmap データとして変換されます。

テンプレートデータ以外のデータを転送する際の注意事項

- データベースのフィールドの数や順序を変更して、その更新をするためにデータベース（*.csv ファイル）だけを転送すると、テンプレートデータと正しくリンクされない場合があります。さらに、本機に認識させるため、転送ファイルの 1 行目のデータは「フィールド名」にする必要があります。
- 本機にダウンロードされたロゴ、シンボル、画像データは、すでに本機に保存されているフォントやシンボルのように自動的にサイズ調整されます。

19 ネットワーク関連の用語と説明

サポートされるプロトコルとセキュリティ機能

インターフェース	無線 LAN	IEEE 802.11b/g/n (インフラストラクチャモード) IEEE 802.11g/n (Wireless Direct モード)
	有線 LAN (イーサネット)	Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX Auto Negotiation
	ネットワーク (共通)	プロトコル (IPv4)
	プロトコル (IPv6)	ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA (Auto IP), mDNS, WINS, NetBIOS name resolution, DNS Resolver, LPR/LPD, Custom Raw Port/Port9100, FTP Server, TFTP client and server, SNTP client, ICMP, LLMNR responder, SNMPv1/v2c
ネットワーク (セキュリティ)	無線 LAN	NDP, RA, DNS Resolver, LPR/LPD, mDNS, Custom Raw Port/Port9100, FTP Server, TFTP client and server, ICMP, LLMNR responder, SNMPv1/v2c
	無線 LAN	WEP 64/128 bit, WPA/WPA2-PSK, LEAP, EAP-FAST, PEAP, EAP-TTLS, EAP-TLS

ネットワーク接続およびプロトコルの種類

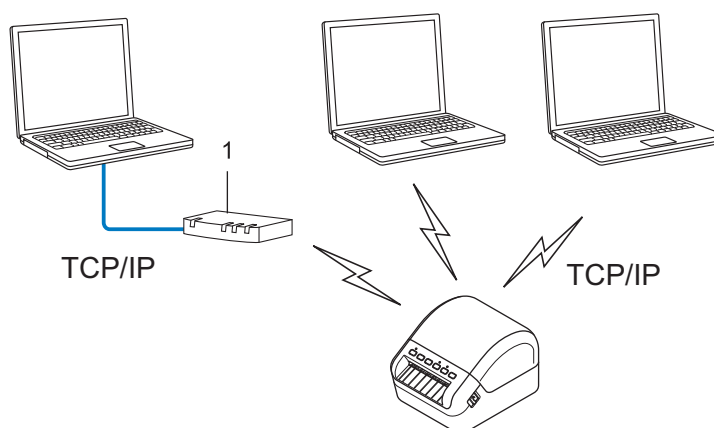
一般的なネットワーク構築および共通用語に加え、ブラザー製ラベルプリンターの高度なネットワーク機能について基本情報を提供します。

サポートされるプロトコルとネットワーク機能は、使用する機種によって異なります。

ネットワーク接続方法について

TCP/IP を使用したピアツーピア印刷

ピアツーピア接続では、各パソコンがお使いのラベルプリンターと直接データを送受信します。ファイルの送受信を操作するサーバーやプリントサーバーなどは必要ありません。

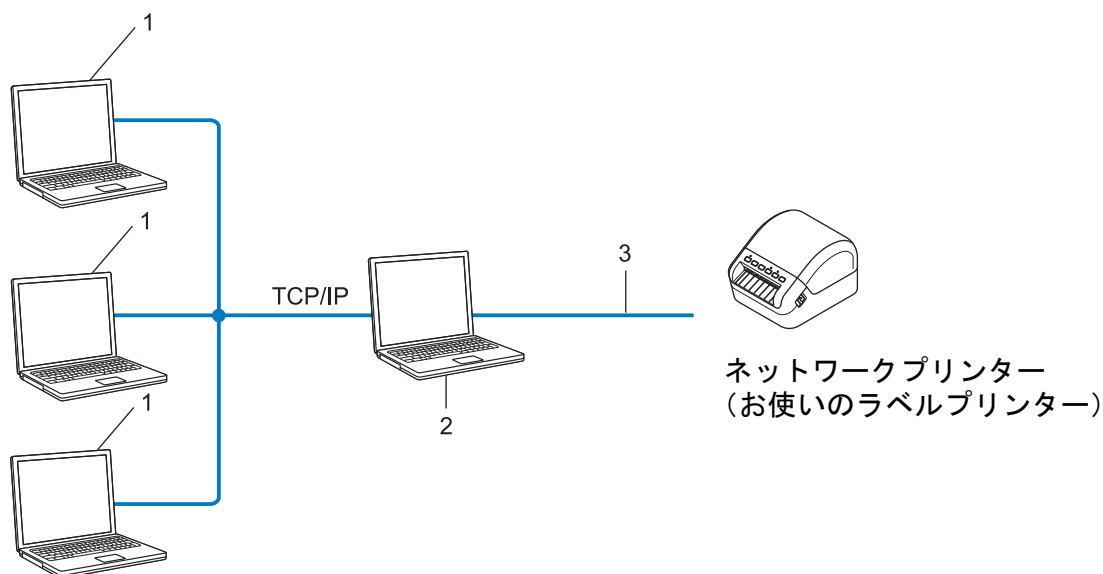


1 ルーター

- パソコン 2、3 台程度の小規模ネットワーク環境では、ネットワーク共有印刷よりも簡単に設定できるピアツーピア印刷をお勧めします。139 ページの「ネットワーク共有印刷」を参照してください。
- 各パソコンに TCP/IP プロトコルの設定を行います。
- お使いのラベルプリンターにも IP アドレスを設定する必要があります。
- ルーターをご使用の場合は、パソコンとラベルプリンターにゲートウェイアドレスの設定が必要です。

ネットワーク共有印刷

ネットワーク共有環境では、各パソコンは中央制御されたパソコンを介してデータを送信します。この種類のパソコンは、通常「サーバー」または「プリントサーバー」と呼ばれます。すべての印刷ジョブの印刷を管理します。



- 1 クライアントパソコン
- 2 「サーバー」または「プリントサーバー」とも言われます。
- 3 TCP/IP または USB

- 大規模ネットワークには、ネットワーク共有型の印刷環境を推奨します。
- 「サーバー」または「プリントサーバー」は TCP/IP 印刷プロトコルを使用する必要があります。
- サーバーまたはプリントサーバーに USB を経由して接続する場合以外は、お使いのラベルプリンターに適切な IP アドレスを設定する必要があります。

ネットワークの設定について

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイについて

ネットワーク型 TCP/IP 環境でラベルプリンターを使用するには、IP アドレスとサブネットマスクを設定する必要があります。プリントサーバーに割り当てる IP アドレスは、ホストコンピュータと同じネットワーク上にあることが必要です。同じ論理ネットワークにない場合は、サブネットマスクおよびゲートウェイアドレスを正しく設定する必要があります。

IP アドレスとは

IP アドレスとは、ネットワークに接続している各機器の住所に当たるものです。IP アドレスは、「.（ピリオド）」で区切った 4 つの数字（0 ～ 254）で表現されます。

■ 例えばローカルネットワークでは、通常は最後の数字を変更します。

- ・ 192.168.1.1
- ・ 192.168.1.2
- ・ 192.168.1.3

IP アドレスをプリントサーバーに割り当てる方法

ネットワークに DHCP/BOOTP/RARP サーバーがある場合は、プリントサーバーはそのサーバーから自動的に IP アドレスを取得します。



メモ

小規模ネットワークでは、DHCP サーバーはルーターも兼ねる場合もあります。

DHCP/BOOTP/RARP サーバーがない場合は、Automatic Private IP Addressing（APIPA）プロトコルが 169.254.0.1 から 169.254.254.254 までの範囲で IP アドレスを自動的に割り当てます。サブネットマスクは自動的に 255.255.0.0 に設定され、ゲートウェイアドレスは 0.0.0.0 に設定されます。

デフォルトでは、APIPA プロトコルが有効になっています。APIPA プロトコルを無効にする場合は、BRAdmin Light または Web Based Management（ウェブブラウザ）を使用して無効化できます。

サブネットマスクとは

サブネットマスクはネットワーク通信を制限します。

■ 例) パソコン 1 はパソコン 2 と通信できます。

・ パソコン 1

IP アドレス : 192.168.1.2

サブネットマスク : 255.255.255.0

・ パソコン 2

IP アドレス : 192.168.1.3

サブネットマスク : 255.255.255.0

サブネットマスクに 0 が含まれている場合、アドレスのその部分に関しては、通信する機器を制限しないことを意味します。上記の例では、192.168.1.x の IP アドレスが割り当てられたすべての機器と通信できることを表しています（192.168.1.x の x は、0 ~ 254 の数字です）。

ゲートウェイ（ルーター）とは

ゲートウェイは、他のネットワークへの入口として動作し、ネットワークを介して伝送されたデータを正確な宛先に送信するネットワークポイントです。ルーターはゲートウェイに到着したデータの宛先を識別します。宛先が外部ネットワークにある場合、ルーターはデータを外部ネットワークに伝送します。ネットワークが他のネットワークと通信する場合、ゲートウェイ IP アドレスを設定する必要があります。ゲートウェイ IP アドレスが不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

無線ネットワークの用語と概念

セキュリティ用語

認証と暗号化

ほとんどの無線ネットワークはある種のセキュリティ設定を使用しています。これらのセキュリティ設定は認証（装置が自らをネットワークに特定する方法）と暗号化（データがネットワークで伝送されたとき暗号化する方法）を定義します。**ブラザー製の無線 LAN 対応ラベルプリンターを構成する場合、これらのオプションを正しく指定しないと、無線ネットワークに接続できなくなります。**そのため、これらのオプションを構成する場合は注意が必要です。

個人無線ネットワーク用の認証と暗号化の方式

個人無線ネットワークは、例えば、自宅で IEEE 802.1x をサポートしない無線ネットワークでラベルプリンターを使用する小規模ネットワークです。

IEEE 802.1x をサポートする無線ネットワークでラベルプリンターを使用する場合は、144 ページの「エンタープライズ用無線ネットワークの認証と暗号化の方式」をご覧ください。

認証方式

■ オープンシステム

無線装置は認証なしにネットワークにアクセスできます。

■ 共有キー

無線ネットワークにアクセスするすべての装置が、既定の未公開キーを共有しています。

ブラザー製の無線 LAN 対応ラベルプリンターは WEP キーを既定キーとして使用します。

■ WPA-PSK

Wi-Fi Protected Access Pre-shared キー（WPA-PSK）を有効にします。WPA-PSK は、WPA-PSK 用の TKIP を使用してブラザー製の無線 LAN 対応ラベルプリンターをアクセスポイントに関連付けることができます。

■ WPA2-PSK

Wi-Fi Protected Access Pre-shared キー（WPA2-PSK）を有効にします。WPA2-PSK は、WPA2-PSK（WPA-Personal）用の AES を使用してブラザー製の無線 LAN 対応ラベルプリンターをアクセスポイントに関連付けることができます。

■ WPA/WPA2-PSK

Wi-Fi Protected Access Pre-shared キー（WPA-PSK/WPA2-PSK）を有効にします。WPA-PSK/WPA2-PSK は、WPA-PSK 用の TKIP または WPA-PSK および WPA2-PSK（WPA-Personal）用の AES を使用してブラザー製の無線 LAN 対応ラベルプリンターをアクセスポイントに関連付けることができます。

暗号化方式

■ なし

暗号化方式は使用しません。

■ WEP

WEP (Wired Equivalent Privacy) を使用すると、データをセキュアキーで送受信します。

■ TKIP

TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) はパケットごとにキーミキシング、メッセージ完全性チェック、およびリキーイング機構を提供します。

■ AES

Advanced Encryption Standard (AES) は、対称キー暗号化を使用して強力なデータ保護を提供します。

[接続モード] を [アドホック] に設定した場合

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし
	WEP

[接続モード] を [インフラストラクチャ] に設定した場合

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし
	WEP
公開キー認証	WEP
WPA/WPA2-PSK	TKIP+AES

ネットワークキー

■ オープンシステム / 共有キー (WEP)

このキーは 64 ビットまたは 128 ビットの値で、ASCII または 16 進形式で入力する必要があります。

- ・ 64 (40) ビット ASCII :

5 文字のテキスト文字を使用します。例) 「WSLAN」 など (大文字と小文字を区別)

- ・ 64 (40) ビット 16 進数 :

10 桁の 16 進数データを使用します。例) 「71f2234aba」 など

- ・ 128 (104) ビット ASCII :

13 文字のテキスト文字を使用します。例) 「Wirelesscomms」 など (大文字と小文字を区別)

- ・ 128 (104) ビット 16 進数 :

26 桁の 16 進数データを使用します。例) 「71f2234ab56cd709e5412aa2ba」 など

■ WPA/WPA2-PSK と TKIP (AES)

長さが 8 文字以上 63 文字までの Pre-Shared Key (PSK) を使用します。

エンタープライズ用無線ネットワークの認証と暗号化の方式

エンタープライズ用無線ネットワークは、IEEE802.1x をサポートしている大規模ネットワークです。IEEE802.1x 認証方式をサポートしている無線ネットワークで本機を使用する場合は、次の認証方式と暗号化方式を使用することができます。

認証方式

■ LEAP（無線ネットワーク用）

Cisco LEAP（Light Extensible Authentication Protocol）は Cisco Systems 社が開発しました。認証にユーザー ID とパスワードを使用します。

■ EAP-FAST

EAP-FAST（Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secured Tunnel）は Cisco Systems 社が開発しました。認証にユーザー ID とパスワードを使用し、対称キーアルゴリズムによりトンネル型の認証処理を実行します。

本機は次の内部認証方式をサポートします。

- ・ EAP-FAST/NONE
- ・ EAP-FAST/MS-CHAPv2
- ・ EAP-FAST/GTC

■ PEAP

PEAP（Protected Extensible Authentication Protocol）は、Microsoft Corporation、Cisco Systems と RSA Security が開発しました。PEAP は、ユーザー ID とパスワードを送信するためにクライアントと認証サーバー間に、暗号化した SSL（Secure Sockets Layer）/TLS（Transport Layer Security）トンネルを作成します。PEAP はサーバーとクライアント間に相互認証を提供します。

本機は次の内部認証方式をサポートします。

- ・ PEAP/MS-CHAPv2
- ・ PEAP/GTC

■ EAP-TTLS

EAP-TTLS（Extensible Authentication Protocol Tunnelled Transport Layer Security）は Funk Software と Certicom が開発しました。EAP-TTLS は、ユーザー ID とパスワードを送信するために、クライアントと認証サーバー間に PEAP と同様の暗号化 SSL トンネルを作成します。EAP-TTLS はサーバーとクライアント間に相互認証を提供します。

本機は次の内部認証方式をサポートします。

- ・ EAP-TTLS/CHAP
- ・ EAP-TTLS/MS-CHAP
- ・ EAP-TTLS/MS-CHAPv2
- ・ EAP-TTLS/PAP

■ EAP-TLS

EAP-TLS（Extensible Authentication Protocol Transport Layer Security）では、クライアントと認証サーバーの両方でデジタル証明書の認証が必要です。

暗号化方式

■ TKIP

TKIP（Temporal Key Integrity Protocol）はパケットごとにキーミキシング、メッセージ完全性チェック、およびリキーイング機構を提供します。

■ AES

Advanced Encryption Standard（AES）は、対称キー暗号化を使用して強力なデータ保護を提供します。

■ CKIP

Cisco Systems 社の LEAP 用のオリジナル Key Integrity Protocol。

【接続モード】を【インフラストラクチャ】に設定した場合

認証方式	暗号化方式
LEAP	CKIP
EAP-FAST/NONE	TKIP+AES / AES
EAP-FAST/MS-CHAPv2	TKIP+AES / AES
EAP-FAST/GTC	TKIP+AES / AES
PEAP/MS-CHAPv2	TKIP+AES / AES
PEAP/GTC	TKIP+AES / AES
EAP-TTLS/CHAP	TKIP+AES / AES
EAP-TTLS/MS-CHAP	TKIP+AES / AES
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	TKIP+AES / AES
EAP-TTLS/PAP	TKIP+AES / AES
EAP-TLS	TKIP+AES / AES

ユーザー ID およびパスワード

次のセキュリティ方式は長さが 64 文字以下のユーザー ID と 32 文字以下のパスワードをサポートします。

■ LEAP

■ EAP-FAST

■ PEAP

■ EAP-TTLS

■ EAP-TLS（ユーザー ID 用）

P-touch Template 機能の基本的な手順

P-touch Template 機能を使用する際の基本的な流れを説明します。

各設定の詳しい手順については、44 ページの「P-touch Template を使用してラベルを印刷する」をご覧ください。

本機にバーコードリーダーを接続する前に、事前準備として P-touch Template 設定ツールとバーコードリーダーの設定が一致していることを確認してください。詳細については、45 ページの「事前準備」を参照してください。

- ① P-touch Editor を使用して、テンプレートデータを作成し、本機へ登録します。
- ② 本機とバーコードリーダーを接続します。
- ③ 新しい設定の開始をするためもしくは以前の設定を消去するために、「P-touch テンプレートコマンド」バーコードを読み取ります。
- ④ 「基本設定」バーコードを読み取り、必要な設定を行います。
- ⑤ 各機能別の設定を行ないます（A、B、または C）。

A. 標準テンプレート印刷

- 1 「定型テンプレート番号」バーコードを読み取ります。

B. 拡張テンプレート印刷

- 1 「テンプレート選択」と「テンキー入力」バーコードのバーコードを読み取ります。
- 2 作成、または複製したいバーコードを読み取ります。
- 3 「印刷開始」バーコードを読み取ります。

C. データベース検索印刷

- 1 「テンプレート選択」と「テンキー入力」バーコードのバーコードを読み取ります。
- 2 データベースファイルのデータに置き換えるためにキーワードのバーコードを読み取ります。
- 3 「デリミタ」バーコードを読み取ります。
- 4 「印刷開始」バーコードを読み取ります。

- ⑥ 指定したラベルが印刷されます。

設定用バーコード一覧

本機の設定を行なうバーコードの使用法に関しては、44 ページの「P-touch Template を使用してラベルを印刷する」をご覧ください。



メモ

- ・ この一覧のバーコードを普通紙に印刷して使用するときは、P-touch Template 設定の初期設定として「P-touch Template 印刷の制御」と「プレフィクス文字コマンド」を設定してください。
- ・ バーコードリーダーが正しく読み取り、目的のラベルを印刷できるように、この一覧のバーコードは高解像度で普通紙に印刷してください。

■ P-touch Template コマンド（初期設定 + 設定開始）



Esc ia 3 ^ II

■ 基本設定

オートカットあり（1 枚ごとにカット）
+ 最後をカットあり



^C01011

オートカットあり（2 枚ごとにカット）
+ 最後をカットあり



^C01021

オートカットなし + 最後をカットあり



^C00001

オートカットなし + 最後をカットなし



^C00000

速度優先



^QS0

品質優先



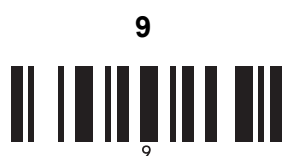
^QS1

印刷枚数



^CN

■ テンキー入力 ¹



■ 定型テンプレート番号

定型テンプレート 1



定型テンプレート 2



定型テンプレート 3



定型テンプレート 4



定型テンプレート 5



定型テンプレート 7



定型テンプレート 9



定型テンプレート 6



定型テンプレート 8



定型テンプレート 10



20

■ テンプレート選択



■ ナンバリング印刷枚数



■ デリミタ



■ テンプレートデータ初期化



■ 印刷開始



¹ 印刷枚数設定、テンプレート番号選択時に使用します。
[0] [0] [7]、[0] [1] [5] のように 3 桁になるように読み取ってください。3 桁の数字が指定されると自動的に設定が適用されます。
設定を変更するには、印刷枚数の場合は「印刷枚数」、テンプレート番号の場合は「テンプレート選択」を読み取ってから、もう一度、3 桁の数字を読み取ってください。

専用のバーコードリーダー (別売品：PA-BR-001) を使用する

P-touch Template モードでは、本機に接続されたバーコードリーダーからのデータを、ダウンロードしたテキストオブジェクトやバーコードオブジェクトに挿入する機能を提供します。

専用のバーコードリーダー（別売品：PA-BR-001）は、プリンター設定ツールの [P-touch Template Settings] の設定に合わせてあるので、バーコードリーダーの設定を変更しなくても使用することができます。

専用のバーコードリーダーの使用方法について詳しくは、バーコードリーダーに付属の取扱説明書をご覧ください。

brother